

## II. 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

### 1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北海道)		コンビニ（エリア担当）	・人の動きが戻ってくるとみられることから、今後の景気は良くなる。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えつつ下向きになっていけば、景気は徐々に良くなる。
		商店街（代表者）	・全国旅行支援の影響は大きく、北海道の閑散期に向かっていくなかで多くの来客があるなど、助かっている。今まで見かけなかった高齢の旅行者も多く、客層の拡大に寄与していることは明らかである。一方、インバウンドは北海道ではまだ少なく、目立った効果はみられない。関東や関西では円安の影響で消費額が拡大しているようであるが、そうした恩恵は北海道ではまだみられない。全体的には、今後の景気はやや良くなる。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・中期的には景気は回復基調にあり、売上も改善していくものと捉えている。
		百貨店（販売促進担当）	・行動制限が緩和され、全国旅行支援などの様々な支援策が打ち出されていることで、道内への観光目的の人流は確実に増えている。今後もこうした傾向が続けば、年末年始に向けて身の回り消費だけでなく、旅行者の土産需要の拡大なども期待できるため、景気はやや良くなる。
		百貨店（営業販促担当）	・プロパーが活発に動かない分、セール期はその反動で盛り上がりるとみられる。
		百貨店（マネージャー）	・前年と違い、イベントなどの企画も新型コロナウイルス感染症発生前に近い形で実施する予定となっている。新型コロナウイルスの新規感染者数の急増がないことが条件ではあるが、今後の集客増が見込める。特に年末年始にその効果が発揮できるとみられる。
		家電量販店（店員）	・例年、朝晩の冷え込みが厳しくなる季節であり、冬物家電、暖房機が活発に動くことを期待している。
		乗用車販売店（経営者）	・燃料価格の高騰が深刻ではあるものの、今後、数か月は国の対策による効果を期待できる。新型コロナウイルス感染症の影響はいまだにあるものの、人流増加に伴う景気回復が進むことで、観光業を中心とした購買行動が景気の下支えになる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス感染症の影響について、以前よりも先行きへの不透明感が薄れてきたことから、今後の景気はやや良くなる。新車の納期が長期化していることも認知されるようになったことで、早めの購入を検討する客も多い。
		高級レストラン（スタッフ）	・全国旅行支援の影響で旅行者が増えていることから、今後の景気はやや良くなる。ただ、補助金を活用した鉄道会社の割引きっぷが早々に売り切れるなど、観光客の増加がいつまで続くか分からない面もある。また、新型コロナウイルスの新規感染者数が増え始めると、売上が突然下がるため、従業員を増やすことにはためらいもある。
		高級レストラン（スタッフ）	・全国旅行支援が始まり、観光客の増加と併せてクーポン券の利用が見込まれるため、閑散期ではあるが、来客数の増加が見込まれる。
		旅行代理店（従業員）	・全国旅行支援による国内旅行の盛り上がりや北海道の冬季観光シーズンまで継続することを期待している。また、国際空港における海外渡航者への水際対策が10月11日から緩和されたこともプラスである。アジア路線を中心に冬季スケジュールからの復便を予定している国際線が多数あることから、インバウンドがようやく回復傾向に転じると期待している。
	旅行代理店（従業員）	・経済活動が再開し始めていることから、今後の景気はやや良くなる。	
	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は増えているものの、行動制限が行われない限り、業界の景気はやや良くなる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・各種イベントが数年ぶりに開催される予定となっていること、夜間の来客数が戻ってくることが期待できるため、来客数が徐々に回復することになる。
		タクシー運転手	・ウィズコロナ政策により人流が戻りつつあり、収入も安定化していることから、今後の景気はやや良くなる。ただ、夜間の人出はまだまだ戻っておらず、コロナ禍前のような収入状況までは期待できない。
		タクシー運転手	・雪の降ってくる時期であるため、少しは客に動きが出てくることになる。
		観光名所（従業員）	・全国旅行支援による国内観光客の入込は今後も勢いを増しつつ継続することになる。さらに、インバウンドの入込も徐々に回復していることから、今後の景気は上向きになると期待している。
		観光名所（職員）	・全国旅行支援、海外からの入国制限緩和などの追い風があり、来客数が増加している。今後はインバウンドの本格的な回復も期待できるため、新型コロナウイルス感染症第8波への備えをしつつ、一層の景気回復に期待したい。
		美容室（経営者）	・年末に向けて繁忙になる時期であること、近隣の繁華街において観光客なども増加していることから、今後の景気が多少は良くなると希望を持っている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・全国旅行支援の効果で国内旅行が下支えされていることから、今後しばらくは来客数も売上も増えていく。来月又は再来月には海外からの航空便も増えてくるため、北海道観光に訪れる外国人客も増えることになる。国内客と外国人客の両輪が回り始めるため、今後の北海道観光は明るい動きが出てくることになる。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢など、景気を不安定にさせるような事象が長期化しており、景気は低空飛行状態のまま横ばいで推移していることから、今後についても微減微増を繰り返しながら、良くも悪くもない状況で推移する。
		コンビニ（エリア担当）	・客の動きはこれまでよりも活発になるとみられるが、年内は円安が続くと見込まれるため、今後も景気は変わらない。恐らく来年の春までは、良くはない状況が続くことになる。
		コンビニ（エリア担当）	・商品単価は上がっているが、来店頻度の低下やより安い商材にシフトする動きが強まることで、客単価が上がらないことが懸念される。光熱費、人件費などの運営コストも上がるため、今後の景気が良くなることは考えにくく、良くて現状維持である。
		コンビニ（エリア担当）	・家計において、物価高騰による影響が強まるとみられることから、今後も景気は変わらない。
		家電量販店（経営者）	・仕入価格の高騰に伴う販売価格引上げの影響で、売上が鈍化することが懸念される。先行き不透明な状況にある。
		乗用車販売店（経営者）	・メーカーの納期改善が進まない限り、販売会社や関連する企業の経営は安定的にはならない。中古車の販売状況にも影響がみられるようになっている。
		乗用車販売店（従業員）	・今後も大きな変化はないまま推移する。冬季ボーナスの支給額を上乗せするような話もなく、物価上昇が続くなか、明るい話題が出てこない。
		自動車備品販売店（店長）	・円安、物価高、光熱費の価格高騰がいつまで続くのかにもよるが、今後も景気は変わらないまま推移する。
		その他専門店〔造花〕（店長）	・年末を迎えるに当たって、客の動向が上向く可能性もあるが、3か月程度ではそれほど大きな変化はみられない。
		観光型ホテル（経営者）	・インバウンドの予約は徐々に増加しているが、新型コロナウイルス感染症の第8波も予想されることもあって、先行予約の出足が鈍い。また、航空便の海外路線もまだ十分に回復していないことから、今後も景気は変わらない。
		観光型ホテル（スタッフ）	・全国旅行支援の販売期間が延長されるかどうかにもよるが、これまでのキャンペーンの動きから、予測や噂が先行し、正式な発表があるまで買い控えが発生すると考えられる。仮に、延長されなかった場合は、予約数に大きな影響が出ることになる。一方、インバウンドによる予約や問合せが多少戻っていることから、予約の下支えになると期待している。
		旅行代理店（従業員）	・現在は旅行需要も旺盛で人が動いているが、今後、新型コロナウイルスの新規感染者が増えてくると、需要が再び停滞すると考えられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・乗務員の高齢化に伴い、これから乗務員の退職が続くことになる。一方、新規採用が思うようにできないため、乗務員不足は今後も続くと思われる。そのため、タクシーの売上はこれからも新型コロナウイルス感染症発生前のマイナス30%からマイナス40%の水準で推移するとみられる。
		タクシー運転手	・毎年このことだが、北海道はこれから寒くなる季節となり、観光のオフシーズンとなる。人の流れも減ることになるため、今後も景気は変わらない。今後の動向を注視してみたい。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が相当悪い状態にならない限り、今後も同じような来客数、売上が続くことになる。
		美容室（経営者）	・景気が悪くなるとは考えにくい。諸物価の上昇が家計や美容系支出にどの程度の影響を与えることになるのか心配している。
		百貨店（売場主任）	・インバウンドが徐々に増えていることはプラスであるが、それよりも物価高に伴うマイナスの影響が大きい。今後の景気はやや悪くなる。
		スーパー（店長）	・値上げの影響で、数量ベースでの落ち込みが顕著に表れていることから、今後の景気はやや悪くなる。
		スーパー（店長）	・物価高、新型コロナウイルス感染症、ウクライナ情勢などのマイナス要因があり、景気が良くなるとは思えない。
		スーパー（店長）	・水道光熱費の上昇、円安など、先行きへの不透明感が強くなっている。年末年始にどうしても購入しなければならない商材もあるため、それに備えて余計な支出を控えるようになることが予測される。特にし好み、趣味の品などでの苦戦が見込まれる。
		スーパー（企画担当）	・物価高騰の秋を迎えて、特にエネルギーコスト上昇の影響が大きくなる。さらに、除雪コストの大きい冬に向かうことで、消費の停滞が心配される。これらのことから、来客数と買上点数の両面で売上が厳しくなることが見込まれる。
		スーパー（企画担当）	・物価の上昇が消費者心理に悪影響を及ぼしている。これから冬を迎えるなか、エネルギーコストの上昇も不安要素である。
		スーパー（役員）	・円安の影響に加えて、鳥インフルエンザも発生していることから、今後、商材の値上げが一層進み、客の節約志向がますます強くなる。
		スーパー（従業員）	・10月に当社の主力商品である食料品を含めた様々な商材で値上げがあったことで、客単価は微増したものの、来客数の減少、買上点数の減少などの影響が顕著にみられる。そのため、今後もこうした傾向が継続することになる。
		コンビニ（エリア担当）	・最低賃金が引き上げられていることで、企業としては経費を抑えなければならない面があり、会社として景気が上向きになるとは考えにくい。
		衣料品専門店（エリア担当）	・今後、衣料品において、物価高騰の影響が出てくるとみられる。今は暖か商品が売れているが、その需要が一巡すると衣料品を買う客が減少することになる。
		乗用車販売店（従業員）	・北海道という土地柄もあって、冬になるにつれて客の財布のひもが固くなる傾向がある。今後、円安の影響が大きくなることも考えられるため、景気がどうなるか心配している。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・この3年間での生活の変化に対して、悪い意味での客の慣れを感じている。自宅での省在庫や客の目的買いが進むことを心配している。
		旅行代理店（従業員）	・全国旅行支援による効果の持続性に疑問がある。旅行シーズンとしてもオフの時期となるため、現状の良い状態が継続するとは考えにくい。
		通信会社（企画担当）	・大型商業施設などでの出張販売について、場所代や人件費の高騰から費用対効果が悪化し続けている。特に都市圏などでは出店を取りやめざるを得ないケースも増えていることから、今後の景気はやや悪くなる。
		通信会社（エリア担当）	・物価高騰の影響で、今後の景気はやや悪くなる。
		美容室（経営者）	・今後の景気がどうなるのか、事業者も消費者も不安しかない。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・冬のインバウンド需要に期待したいが、季節的に天候悪化に伴う海上のしげが避けられないため、今後の景気はやや悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住宅販売会社（経営者）	・円安の動きが止まらないため、今後、円安が一段と進み、資材価格がますます高騰することになる。人手不足の影響で人件費も高くなっているため、住宅の建築コストが下がることは期待できない。金利もそれほど下がらないとみられるため、今後の住宅の販売環境は厳しくなっていく。
		住宅販売会社（経営者）	・現在は低金利とマンション価格の先高観もあり、積極的に動いている客が想像以上に多いものの、これ以上のインフレが続く、マンションの建築価格が更に高騰すると、客の数がかなり減少することになる。
	×	商店街（代表者）	・11月以降も様々な商材で値上げが予定されていること、円安や全体的な物価高の動向が不透明なこと、定期的に観光客が減少する公算が大きいことなどから、10月よりも景気が良くなるとは考えられない。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・当地の観光地において外国人観光客の姿はほとんどみられない。また、これから冬を迎えて、気温もどんどん下がっていくことから、人も減ることになる。これらのことから、今後の売上も当然落ち込むことになる。
	×	衣料品専門店（店長）	・原価高騰に伴って販売価格を大幅に引き上げざるを得ない状況にある。食料、燃料以外の値上げに対して、客の理解を得ることは難しいと考えられるため、今後の景気は悪くなる。
	×	スナック（経営者）	・当店の客は年配の人が多くことから、新型コロナウイルスの新規感染者数が増えたと客足が鈍ることになる。そのため、今後の景気が良い方向に進むことはない。
	×	タクシー運転手	・前年比で厳しい状況が続いているなか、当地では新型コロナウイルス感染症の第8波とみられるような感染拡大が起きている。行動制限は出されていなくても、住民は自主的に行動制限を行っており、外出するような消費行動も抑制されている。そのため、今後の景気は悪くなる。
	×	通信会社（エリア担当）	・物価高騰に伴い携帯電話の買換えサイクルが長期化していることから、今後の景気は悪くなる。
企業 動向 関連  (北海道)		*	*
		農林水産業（経営者）	・円安の影響を受けての青果物の輸出に期待している。ただ、国内流通は停滞するとみられることから、予断を許さない状況にある。飽くまでも希望的観測である。
		通信業（営業担当）	・下期に入り、来期以降の投資案件の件数と金額に回復の兆しがみられることから、この先の景況感は今よりも上向きに転じることになる。
		司法書士	・景気を左右する主な要因が、これまでの新型コロナウイルス感染症から、円安に伴う物価変動や原油高などによる流通コストの上昇に置き換わっている。地方都市においては、今後も人口減少などの厳しい状況が続くとみられるが、世界情勢が大きく悪化しない限り、景気は多少上向きことになる。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染対策について、ウィズコロナへの転換が進んでいる。観光、飲食を始めとした経済活動において、政府主導の景気対策が行われていることから、今後しばらくは景気が上向きで推移することになる。
		建設業（従業員）	・景気について、これ以上悪くなりようがないとみている。ただ、物価高騰、原油価格高騰のような対外的な要因が、今後も生じることになれば、一層の悪化となる可能性もある。
		建設業（役員）	・民間建築の見積り引き合いが増えていること、次年度の公共土木工事受注へ向けた動きが本格化していることから、今後も好調なまま推移する見通しに変わりはない。ただ、原材料や燃料の価格高騰と急激な円安が一層の建設コストアップにつながり、工事の採算悪化や設備投資マインドの減退を招く懸念が大きくなりつつある。
		金融業（従業員）	・個人消費は消費者物価の上昇がおもしとなり、減速が見込まれる。引き続き観光関連による道内景気の押し上げが期待できるものの、全体的には今後の道内経済は横ばいでの推移にとどまることになる。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・今後について、良くなっていく部分もあるとみられるが、悪くなりそうな部分もあるため、全体的には余り変わらないまま推移する。
		金属製品製造業（従業員）	・新築住宅を取り巻く環境について、人口減少、カーボンニュートラル、円安、資材高騰など、良くなる要素が見当たらないことから、今後の景気はやや悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（経営者）	・今後については、来年度に向けての受注活動が本格化する時期であり、新規の受注は減ることになる。そのため、手持ち工事の施工が中心となり、人手不足への対応と資材価格の高騰に対する設計変更の手続が円滑に進むかが採算性のポイントとなるが、民間工事について厳しい状況が見込まれる。
		輸送業（従業員）	・商材の値上げを前にした荷動きもあり、10月初めの輸送量は若干多かったが、月半ば以降の輸送量が徐々に落ちてきている。今後についても、買い控えなどの影響で余り期待できないといった情報が既存荷主から数多く聞こえてくる。
		輸送業（支店長）	・円安、ウクライナ情勢などの影響がこれから徐々に出てくることが見込まれる。
		司法書士	・これから冬に向かい、日が沈むのが早くなり、夜明けの時間も遅くなるため、暖房のための灯油やガスの需要も、電気の需要も多くなり、出費が増えることになる。一方、国による負担軽減策は来年1月からとの話であり、景気を回復させるような要因が少ない状況にある。
		その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・今後の景気に不安があるためか、取引先では景気の動向をみながら、システム投資を判断しているようだ。投資の必要性は認識しているものの、今やるべきか判断を保留している取引先が増えていることから、今後の景気はやや悪くなる。
		その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・円安の影響で、海外から輸入している資材の価格高騰が今後も続くことになれば、多くの商材で影響が出てくるとみられる。市場の動きも悪くなると見込まれるため、今後の景気はやや悪くなる。
	×	食料品製造業（従業員）	・第1弾の値上げは何とか実施できたが、第2弾の値上げは苦戦している。その一方で、各種経費の高騰が引き続き進んでいることから、今後の景気は悪くなる。
雇用 関連 (北海道)		求人情報誌製作会社（編集者）	・これから北海道においてもインバウンドが増えてくるとみられる。新型コロナウイルスの新規感染者数が再び増加傾向にあるが、以前と比べれば、その影響は限定的だとみられることから、今後の景気はやや良くなる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・当地は冬の有名観光地であり、全国旅行支援が続くようであれば、観光やその周辺業界も含めて好影響が生じると期待している。
		職業安定所（職員）	・当地における月間有効求人数は1年6か月連続で前年を上回っており、全体としては回復の兆しがみられる。ただ、産業、業種によってその度合いが異なっており、今後の新型コロナウイルスの感染状況や経済活動、消費行動の状況によっては先を見通せない状態になることも懸念される。
		人材派遣会社（社員）	・原価率の上昇によって、利益率に影響が出ているとみられるが、企業から悲壮感を訴えるような声は聞こえてこない。今はとにかく売上の確保、拡大が先決のようであることから、今後も景気は変わらない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・インバウンドの入国制限緩和や全国旅行支援などにより、経済は活性化するとみられるが、円安や原油高、物価高が足かせとなり、売上が伸びたとしても、利益率が低下するとみられるため、今後も景気は変わらない。
		職業安定所（職員）	・原油価格や原材料価格の高騰、円安など、企業の事業環境の悪化を招く要因は多いものの、今のところは業況堅調な事業所からの求人もあって、新規求人数が増加している。新規求職者数も前年と比べて減少していることから、雇用環境は持ち直しの動きが続くことになる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・観光業にとって、全国旅行支援がカンフル剤として有効であるが、財源が限られていることから、今後については余り期待できない。ホテル業界ではコロナ禍において人手不足が深刻であるものの、補充採用などは期待できない状況にあり、今後も企業の慎重な姿勢に大きな変化はないとみられる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・夕方から営業するような飲食店やアパレル業種の人手不足には厳しいものがあり、今後、営業を縮小するおそれもあることから、景気はやや悪くなる。
		職業安定所（職員）	・円安の進行、物価上昇、賃金の停滞などが続いており、これらの要因が解消されるような気配もないことから、今後の景気はやや悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	*	*

## 2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (東北)		乗用車販売店（従業員）	・年末年始で販売量が増えることを見込んでいる。
		高級レストラン（支配人）	・来客数の増加が著しい。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況に収束感がある。インバウンドも増加するとみている。
		商店街（代表者）	・全国旅行支援が予想以上に利用されている。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	・インバウンド関連業界などは円安により景気は良くなるとみている。しかし、当業界では厳しい状況が続くとみている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・市の施策であるスタンプラリーが10月20日から始まっており、来年の2月末まで続くため、来客数が多くなることを期待している。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染症は落ち着いてきているが、終息する感じはないため、関連商品は動くともみている。また、通常のヘルスケア商品やビューティーケア商品も動いている。年末に向かってより良くなっていくともみている。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・年末年始にかけて人が動くようになれば状況も好転してくるのではないかと期待している。個人単位ではなく企業単位で、今まで自粛していた忘年会や新年会を開催するような風潮が出てくれば、一番苦しい飲食店に活気が出てくるとみている。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	・寒くなるにつれて仕立ての注文が多くなっているため、売上に繋がっている。冬物受注も増えることが予想される。
		百貨店（売場担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第なのは今までと変わらないが、人々の動きが活発になってきており、購買意欲は高まっている。しばらく衣料品の購入を控える傾向が続いていたため、反動が期待できる。
		コンビニ（経営者）	・これまでも客単価や購入点数が安定して継続しているところに、新型コロナウイルス感染防止対策の緩和でより人の動きが良くなってきており、売上は若干伸びるとみている。また、全国旅行支援のおかげで観光客が増加しており、引き続き近隣のホテルの客が来店するとみている。
		コンビニ（エリア担当）	・年末に向けて更なる人流回復が見込める。
		コンビニ（エリア担当）	・物価がどこまで上がるのかが不透明である。
		衣料品専門店（経営者）	・気温低下に伴い、防寒アウターニーズが一気に高まると予測する。
		衣料品専門店（総務担当）	・地方ではまだ影響が出ていないが、都心部ではインバウンドによる売上が少しずつ出てきている。イベント、旅行等の規制が解除され人流が活発化すれば期待できる。
		住関連専門店（経営者）	・受注生産をしている。今後、受注量が増加する見込みがあり生産量も増えるため、やや良くなるとみている。
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（経営者）	・これまで動けなかった人たちが一気に動き出すともみている。観光地はもちろん、地元の人々もようやく宴会などができるようになってくる。年末年始にかけて人の動きも消費も良くなることを期待している。
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・今年は秋が短く冬期間が長い予報もあり、配達灯油の需要増加があると期待している。	
	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルス感染症の第8波の懸念はあるが、今の来客数増加の状況が続くことで、今後、衣料品を中心とした冬物需要の増加も見込める。	
	一般レストラン（経営者）	・12月は少しずつ忘年会の予約が入ってきている。状況はこれまでよりは幾らか良くなってきたようである。	
	観光型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染状況も落ち着き、今まで自粛していた客も動き出すともみている。	
	旅行代理店（従業員）	・全国旅行支援の終了まではやや良くなるとみているが、その先は不透明である。海外は円安基調が悪影響を及ぼしており、伸びることはないともみている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（従業員）	・円安によりインバウンド関係は今後更に伸びるとみているが、コロナ禍が続いている現在、インバウンドへの依存には不安がある。国内旅行に関しては宿泊施設の物価高負担が大きくなっており、料金値上げによる販売の落ち込みを懸念している。
		観光名所（職員）	・募集型の団体客や団体客、個人客のいずれも予約状況は大変好調である。この好調さはしばらく続くとみている。
		競艇場（職員）	・年末年始は来場者が増えるため、売上は良くなる。それに合わせてイベント等で来場を促せば大きな効果があるを期待している。
		美容室（経営者）	・年末に向かってクリスマスなど季節的な催事によって景気も若干持ち直し、来客数も増えてくるとみている。ただし、底流部分は変わらない。
		商店街（代表者）	・全国旅行支援等により旅行者や帰省客の増加が見込まれる。新型コロナウイルス感染症の第8波により海外からの入国に影響が出たとしても、外国人観光客の少ない当地においては変化が少ないとみている。
		百貨店（催事担当）	・外出、旅行に伴う需要が拡大している一方、物価上昇により生活防衛感も高まっている。消費が新型コロナウイルス感染症発生前の水準まで回復するには時間が掛かるとみている。
		百貨店（計画担当）	・景気回復の起爆剤的なものがない。さらに、新型コロナウイルス感染症の第8波が来ることも予想もされている。
		スーパー（経営者）	・仕入価格や原材料価格の高騰などにより、販売価格を上げざるを得なくなっている。最近は客も価格訴求型になってきている。
		スーパー（店長）	・商品の値上げが続いており、客の財布のひもは相変わらず固い。冬になり暖房費を節約する家庭が増えている。この状況は続きそうである。
		スーパー（店長）	・コロナ禍の行動制限がなくなり、外食への来客数流動や食生活の変化が新型コロナウイルス感染症発生前へ戻りつつある。よって、食品スーパーマーケットへの来店頻度が減少していくものと予測している。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況も落ち着き始め、客の気は外に向いている。食品小売スーパーに関しては、新型コロナウイルス特需がなくなり、相次ぐ値上げで販売量が減ってきている。この先2～3か月はかなり厳しい状況が続くとみている。
		コンビニ（経営者）	・電気代の上昇と最低賃金の引上げによって店舗運営コストが上がり、売上総利益が上昇しても純利益は前年同等若しくは少し減少するとみている。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響が大きいと、変わらないとみている。
		コンビニ（エリア担当）	・人の動きが活発になり来客数は増加傾向にある。しかし、燃料費や原材料費の値上がりが進み、物価高により客の購買意欲が低下することが懸念される。経費の増加を考えると新型コロナウイルス感染症発生前の水準まで景気が回復することは難しいとみている。
		衣料品専門店（経営者）	・人の移動は制限されていないが、新型コロナウイルスの感染が収束していないため、買物客は慎重になっている。
		衣料品専門店（店長）	・前年のブラックフライデー盛りからは景気が良くなってきた認識がある。物販としては1年を通して購入品が一巡した感じがある。
		衣料品専門店（店長）	・物価上昇が続くなか、主婦を中心に財布のひもが固くなり、買物が慎重になることが予想される。
		家電量販店（店長）	・全国旅行支援などにより旅行や観光には金が流れているようだが、食品や家電製品、日用品といった家庭の消費は増えていない印象を受ける。ガソリン価格の高止まりや、電気料金の値上げも懸念されている。客の財布のひもは固いとみている。
		乗用車販売店（従業員）	・上半期の市場環境は前年から変わらず、新車売上も想定どおりで推移している。年内在庫もある程度予定していたとおりであり、減少傾向は変わらないとみている。
		乗用車販売店（従業員）	・納期が不安定であるため、別の収益確保を考えなくてはならないが、中古車、サービス共に苦戦している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（店長）	・冬支度が始まるため在庫増が見込まれるシーズンだが、冬タイヤの値上げなど物価高の影響を声に出す客が増えており、タイヤを新調する客は少ない。
		自動車備品販売店（経営者）	・観光に関しては人の流れが以前よりは良くなっている。しかし、電子デバイスの供給不足が様々な産業、業種に大きな影響を与えており、解消しない限り景気の底上げにはならない。
		住関連専門店（経営者）	・行動制限が解除され、社会が新型コロナウイルス感染症発生前の状況に戻り始めている。それが売上につながっているところもあるが、まだまだそこまで至っていないところもある。しばらくは現状維持が続くとみている。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・ウィズコロナへの移行により販売量の増加が期待できるものの、物価高による節約志向の強まりもあるため、今後も大きな変化は期待できない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が大分落ち着いてきていることは好材料だが、物価高により客の財布のひもが固くなっているため、今月と変わらないと予想している。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の第8波が来るのではないかという話が出ている。企業のなかでも大人数での会食は禁止しているところがまだあるようである。よって、景気が良くなることはないかとみている。
		観光型ホテル（スタッフ）	・宿泊業への支援がいつまで続くか次第である。
		観光型旅館（スタッフ）	・全国旅行支援が終了することと、物価高や円安のことを考えれば、良くなることはない。
		旅行代理店（従業員）	・国内旅行は全国旅行支援の割引予算額が底を突いている。海外旅行は新型コロナウイルスの規制緩和により復活したものの、物価高、燃油サーチャージの高騰、円安などの影響により回復できない状況が継続している。また、新型コロナウイルス感染症の第8波の懸念もあり、業界全体の景気は横ばいで推移するとみている。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染状況は落ち着いているが、それ以外の様々な問題がまだまだ解決されていない状況のため、心理的に上向くことは難しいとみている。
		通信会社（経営者）	・有料テレビは娯楽であり必需品ではないため、解約数の微増が続いている。インターネットは現在の生活においては優先順位が高くなっており、不景気のなかにあっても契約者数は微増で推移している。
		通信会社（営業担当）	・全国旅行支援も予算上限に達した自治体が多く、政府の景気対策の効果は一時的である。賃上げ対策も中小企業にとっては逆効果であり、人件費を更に圧迫することになるため、厳しい局面に向かうとみている。景気の悪い状況は変わらない。
		通信会社（営業担当）	・景気好転に向けた材料に乏しい。
		遊園地（経営者）	・シーズンオフで営業日数も少なくなるため、極端な影響はないとみているが、新型コロナウイルス感染症の第8波や物価上昇が懸念される。
		美容室（経営者）	・新規客が来ない。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・円安によって原材料の価格高騰に拍車がかかってきている。光熱費、油脂製品などの上昇が特にひどく、損益に及ぼす悪影響は大きい。
		住宅販売会社（経営者）	・戸建て住宅の受注は落ちているが一般建築が一定量あるため、前年並みで推移するとみている。
		その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・来場組数は10月までは増加傾向にあるが、11月から3月は現在と同数で推移すると予測している。
		商店街（代表者）	・これから年末にかけて、普通は消費が増えてくるため予約も増えてくるはずだが、全く変化がない状態である。このまま低迷した状況が続くとみている。
		商店街（代表者）	・生活様式が変わり、年末年始の需要が見込めない。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・ロシアのウクライナ侵攻の長期化と円安により、エネルギーや食料を始めあらゆるモノの価格が上昇し、客の生活が厳しくなるとみている。
		百貨店（経営者）	・ここまでけん引してきた高額商品の動きも鈍くなってきている。年末商戦では多少上向くが、モノ消費からコト消費への移行もあり、インバウンドが期待できないエリアでは、今後、苦戦を強いられるとみている。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店長）	・全国旅行支援の影響を大変懸念している。
		スーパー（営業担当）	・値上げラッシュが続く。特に東北地域は冬に向かい燃料費の高騰などで厳しい状況が続くとみている。
		スーパー（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しておらず、むしろ増えているため、買物の回数は増えない。まとめ買いは継続しているが、価格に対しては今まで以上に厳しくなってくるのではないかとみている。
		コンビニ（経営者）	・近くにバスターミナルができて来客数が増えている。しかし、これから寒くなり天候が崩れると、客の動きが読めなくなる。
		コンビニ（経営者）	・冬に入ることによって来客数の減少がより顕著になる。現状は販売量と単価でカバーしているが、それが厳しくなるとみている。
		コンビニ（店長）	・中小企業においては最低賃金の引上げと電気代の高騰が経営をかなり圧迫している。客は思ったよりも価格を気にする様子もなく、それほどひどい感じはない。しかし、暖房を使う時期に灯油価格が上がると家計の支出を抑えるのではないかと心配している。
		衣料品専門店（経営者）	・季節的に寒さや積雪により客が来店しなくなることが予想される。また、連日の円安や物価上昇などの報道により、客の行動に影響が出てくることが予想される。
		家電量販店（従業員）	・円安や物価高騰が改善されない限り、客の消費行動は変わらず、景気の停滞が続くとみている。
		乗用車販売店（従業員）	・販売できる車の減少や納期遅延のため、なかなか売上につながらなくなっている。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・年明けに今回値上げしなかったメーカーが価格改定する可能性がある。3月頃まで様々な業種が五月雨式に値上げをし、景況に影響を与えるとみている。
		その他専門店〔靴〕（従業員）	・冬季の灯油、電気代の値上げでし好品への支出が減ると予想する。
		高級レストラン（スタッフ）	・これから原材料の価格高騰による値上げがあり、消費の落ち込みが予想される。全国旅行支援などはあるが、安くなっているから来客数が伸びているわけで、それが終われば買い控えをする人が多くなるとみている。中小企業にとっては一層厳しくなる。
		観光型旅館（経営者）	・全国旅行支援の延長があれば良い状態は続くが、なければ今より動きは悪くなる。
		タクシー運転手	・秋の紅葉は観光客が局地的に訪れるが、12月から1月は人の行動範囲が全国に広がるため、落とされる金も全国に散らばる。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念される。また、限定的ににぎわっている観光業界も、補助事業の予算が頭打ちになることが考えられ、全体的に消費が縮小傾向になることは避けられないとみている。
		通信会社（営業担当）	・当面は物価の上昇が続くとみているため、景気はやや悪くなる。
		テーマパーク（職員）	・冬休み期間を除き、12月から2月は閑散期に入る。
		設計事務所（経営者）	・先行して設計作業をしているものの、価格高騰や工期が間に合わないなどの理由で決定に至らないため業務が完了せず、多くのケースで費用も取れないまま設計変更に応じる状態が続くと予想している。官庁案件についても同様である。年度末で納品した設計業務の工事発注は、議会承認を受け6月頃からになるが、設計変更となる案件の発生が予想される。その際の費用負担はこれまでの慣例から無償対応が基本であり、価格転嫁はできないとみている。
		その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・物価高の影響に伴い工事を先送りにすることが増えることとみている。また、部品の供給不足により工事遅れも続くとみている。
	x	スーパー（経営者）	・11月の消費環境は食品、電気料金、物流単価等の価格上昇が続く。さらに、今年は厳冬の予報が出ており、暖房費の負担が増加し、電気使用量が増え、家計の支出負担が増えることが予想される。商品等の販売価格は右肩上がりが続くとみられるが、可処分所得が増える話はないため、しばらくは消費支出が更に減少するとみている。家計に還元される超大型補正予算の早急な執行を期待したい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	スーパー（経営者）	・冬に入るが、灯油代が前年より値上がりしており、更に電力料金も上がる。国の補填があるとはいえ、食品を含めた物価高騰に歯止めが掛からないため、客の財布のひもが固くなる。
	×	コンビニ（経営者）	・ほとんどのモノが値上がりしているため、客の財布のひもが固くなっている。給料自体がそれほど上がっていないことが問題である。光熱費や食費、全てが上がっているため、この先もかなり厳しくなることが予想される。
	×	コンビニ（経営者）	・最低賃金の引上げ、冬は光熱費の高騰、除雪代の負担で地獄しかない。冬を越せるか心配している。
	×	衣料品専門店（店長）	・物価高の影響で消費に慎重になり、紳士服に対しても買い控えが進むことが予想される。
	×	一般レストラン（経営者）	・各エリアで新型コロナウイルス感染症に対する意識は異なる。規制をなくして経済が活性化するエリアもあるが、核家族が多いエリアでは新型コロナウイルスの新規感染者数が増加する。これでは新型コロナウイルス感染症に対する過度な警戒心はなくなる。
	×	通信会社（営業担当）	・物価高騰に対して各種経済対策が実施されているが、一時的かつ特定の人へのみ恩恵があるだけで景気向上効果は期待できない。消費税率を下げる等の全体的な施策を行わないと景気は上向かず、ますます悪化する。
企業 動向 関連  (東北)		食料品製造業（製造担当）	・店舗では予約キャンセルも発生しなくなっている。ギフト用品への採用もみえてきていることから、売上は今後も伸びる見通しである。スタッフの確保が急務である。
		建設業（企画担当）	・取引先との交渉経緯や取引結果からみると、景気は良くなっている。
		食料品製造業（経営者）	・売上面では明るさがみえてきているが、コスト面ではエネルギー価格の上昇や円安による原材料価格の高騰の影響が大きい。利益面でこのままやっていると不安がある。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・年度末に向けて需要が見込める。
		建設業（従業員）	・民間案件が事業中止や延期になる一方、公共工事は一定量コンスタントに出件する見通しのため、若干受注増加になるとみている。
		司法書士	・以前より住宅建築業者による土地の仕入量が増加しているようである。
		公認会計士	・全国旅行支援が12月まで実施されるため、円安による物価高を考慮してもサービス、小売関係は業績の回復傾向が続くとみている。また、部材不足等により建設、製造業で原価高騰が生じているが、一定の業績を確保するとみられるため、全体としては景気がやや良くなる。
		その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の全数把握の簡略化が、行動を自粛するような人々の心理面にも影響を与えており、新型コロナウイルスの感染を許容する世の中の風潮が形成されつつある。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の影響もさることながら、地方経済の疲弊、人口減少、高齢化の急激な進展など県特有の課題が多い。地方経済の回復がみえる形で実感できない現状では、中央との格差は拡大する一方である。
		一般機械器具製造業（経営者）	・電機部品関係はいまだに入手が困難で装置を受注しても納入できない状況が続いている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・設備投資の話が少しずつ出てきてはいるものの、材料価格の高騰や半導体不足による部品入手難は今後も続くため、劇的な変化は見込めない。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・客先からの情報でも良い内容は入ってこない。若干の動きはあるものの、全体の動きは鈍化傾向にある。
		建設業（従業員）	・原油価格はひと頃に比べて落ち着いており、現状は影響が少ないが、今後も価格動向を注視していく必要がある。
	輸送業（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数がまた増えてきた。円安等の影響もあり物価の上昇も収まらない。さらに、今後インフルエンザの流行も予想される。これらの要因が景気の上向き傾向に水を差すことになるのではないかと懸念している。	
	通信業（営業担当）	・客と厳しい現状を乗り越えるための相互理解を深めていく。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（広報担当）	・円安水準が現状程度を維持し、かつ新型コロナウイルス感染症の第8波がなければ、引き続き観光需要取り込みの拡大は期待できる。一方で当地においても、これまでコロナ禍のなか企業体力を削りながら耐えてきた製造業や小売業から、いよいよ再編や廃業、業態転換などの変化が出てきてもおかしくない。
		広告業協会（役員）	・ウィズコロナが浸透し、冬場に新型コロナウイルスの新規感染者数が増えても、経済活動は新型コロナウイルス感染症発生前に戻ることを期待している。しかし、各種値上げが消費活動を抑制に向かわせる懸念があり、先行きは不透明である。
		経営コンサルタント	・販売価格への転嫁の状況次第である。
		コピーサービス業（従業員）	・主力商品のIT機器の大幅な値上げの通知がきている。駆け込み受注があれば多少は改善が見込めるため期待している。
		その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経理担当）	・値上げが続くため、変わらないとみている。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・秋の行楽シーズンに続き、冬のスキー客にも期待したいが隣接県のスキー場と比べて宿泊客収容数などの競争力が今一つである。しかし、日帰りも含めれば一定の来客数は確保できるとみている。
		その他企業〔協同組合〕（職員）	・業種によって温度差がみられるようになってきた。電気料金、原材料価格等の高騰が続いており、これらを多く使う企業は、収益面で厳しくなっている。
		農林水産業（従業者）	・生産資材が軒並み値上がりしている。特に肥料の値上がりは3～4割程度と大きく、経済的に厳しくなっている。
		食料品製造業（営業担当）	・今年6月に続いて来年3月にも商品の値上げを予定しており、販売量の前年割れは継続するとみている。円安による原材料価格やエネルギー価格の上昇が続いており、利益面でも苦戦している。状況は厳しい方向に向かっていくとみている。
		窯業・土石製品製造業（役員）	・急速な円安や国際情勢の動向により、国内経済回復の兆しが全くみえてこない。
		金属製品製造業（経営者）	・客先との交渉により経費増加分の一部を負担してもらえそうだが、全てを負担してもらうことは難しそうである。経費の増加分は更に増える可能性もある。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・景気は悪くなると予想している。ただし、世界的な納期遅延が落ち着き、新型コロナウイルスの感染状況も落ち着けば、景気が上向くことが期待できる。
		通信業（営業担当）	・物価上昇の影響でスマートフォンなど通信デバイスの値段も上がっており、購入をためらう客が増えている。
		広告代理店（経営者）	・原材料高、物価高、円安などの社会不安によって需要が減るとみている。
	x	農林水産業（従業者）	・燃料や農業資材の価格高騰は当分続くとみている。
雇用 関連 (東北)		*	*
		人材派遣会社（経営者）	・消費活動がかなり戻ってきており、各企業とも仕事は大幅増えてきている。しかし、人材を採用しにくくなっており、時給など待遇面を見直す必要が出てきているため、人件費が高騰している。よって、やや上向くもののそれ以上にはならないとみている。
		人材派遣会社（社員）	・現在、東北の地場企業だけではなく、他エリア本社の東北求人も増加傾向にあり、少なくとも今期中は続くとみている。仮に円安により景気が悪化した場合も、人手が不足している業種や高スキル人材に関しては募集を継続するとみている。
		人材派遣会社（社員）	・全国旅行支援などによりサービス業に動きが出てきている。製造業も円安により拠点を国内に回帰させる動きがある。金融緩和は継続される公算が高く、直近の景気は押し上げられるとみている。
		新聞社〔求人広告〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きと感染防止対策の緩和、旅行喚起策により、多くの企業が前向きに動き出している。
		民間職業紹介機関（職員）	・人手が足りないと相談を受けている企業が増えている。
		人材派遣会社（社員）	・円安及び政権の不安定な状況により、景気が悪化する可能性もあるとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		新聞社〔求人広告〕 (経営者)	・新型コロナウイルス感染症の影響は弱まるが、円安傾向がいつまで続くのかに左右されるとみている。
		新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・物価上昇と円安が続き、消費の悪化による新聞広告への影響が懸念される。
		職業安定所(職員)	・受注が順調で労働力不足を訴える求人事業所は多い。しかし、一部の産業では、資材価格や燃料・電力価格の高騰や円安が収益を圧迫する等の理由から求人を絞り込んだり、様子見をしたりする動きもあり、それらが相殺されて変わらないとみている。
		職業安定所(職員)	・物価高による生活への影響は大きいですが、人手不足により求人数は増えており、政府の経済対策にもある程度期待が持てることから、景気は大きく変わらないとみている。
		職業安定所(職員)	・求人数が求職者数を上回っている状態が続いているものの、燃料価格高騰や物価高などが事業所や求職者に影響を与えることも想定され、状況を注視する必要がある。
		学校〔専門学校〕	・インフレの改善は余り期待できない。また、コロナ禍においてインバウンドの入国規制を緩和できるかも不透明である。
		その他雇用の動向を把握できる者	・原材料や燃料価格の高騰を懸念する企業が多い。
	x	アウトソーシング企業 (経営者)	・値上がりが続く限り、来年度の客との年間契約金額を上げることができなければ相当なダメージになる。

### 3. 北関東(地域別調査機関:株式会社日本経済研究所)

(- : 回答が存在しない、\* : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)		百貨店(店長)	・新型コロナウイルス感染症の状況が現状のままであれば、来客数、外出機会の増加等に支えられて、好況が続く。
		乗用車販売店(販売担当)	・人流の制限緩和を当社は歓迎している。これからの紅葉時期、年末、正月休みに向かって、観光事業が良くなることだが、当社にとって一番良いことである。多分、今がどん底なので、これからどんどん良くなるのではないが。
		一般レストラン〔居酒屋〕(経営者)	・今年の忘新年会シーズンは、団体の宴会や二次会などで動きがあると予想している。
		都市型ホテル(支配人)	・宿泊部門はこのままの推移で、年末年始に向けて料飲部門の会合等が動くことを願って、良くなるのではないが。
		コンビニ(経営者)	・11~12月の間は、全国旅行支援やその他割引があるので、やや良くなる。
		コンビニ(店長)	・全国旅行支援の開始もあり、来客数が増えてきている。
		衣料品専門店(統括)	・これから年末年始に向けた商材がいろいろ販売されるので期待している。例年のように、歳末の買物があるとよい。
		家電量販店(店員)	・商材価格の値上げが問題なく客に受け入れてもらえれば、単価が上昇した分は伸びが出るかもしれない。
		自動車備品販売店(経営者)	・現状、新型コロナウイルス感染症の影響もあって、経済活動、人の動きは鈍い。ただ、購買意欲はやや戻りつつあるので、特に、税金が上がるとか世の中のネガティブな情報がない限りは良くなる。
		その他専門店〔靴小売業〕(経営者)	・学校行事や景気刺激策となるイベントが、3年ぶりに開催されると耳にするようになってきている。人の動きが出てきて、このままこの状況は続くと考え。世界的な円安のため、仕入価格について、年内は維持できそうだが年明けの予測はできない。
		一般レストラン〔居酒屋〕(経営者)	・他県からの来客が増加傾向で、各種イベントも再開し始め、これまでとは人流のムードが違っていると感じている。客の表情も明るくなってきている。
		都市型ホテル(支配人)	・全国旅行支援の支援金がどこまで貰えるかで、売上は変わってくる。
		都市型ホテル(総支配人)	・年内は全国旅行支援の影響もあるので、好調を維持できそうな予約状況である。
		旅行代理店(従業員)	・良くはなるが国の施策に振り回されて、手間だけが掛かり、効率は悪い。
	タクシー(経営者)	・夜の動きは良くないが、昼の動きが良くなってきたので、この先も良くなるのではないが。	
	テーマパーク(職員)	・全国旅行支援の継続に合わせて、訪日外国人の増加も期待できることから、新型コロナウイルス感染症の発生前の水準に回復すると思われる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔精肉〕 (経営者)	・為替が円安から抜けられない。ウクライナ情勢が回復し、物価の高騰が落ち着いてくるのを待つより仕方がない。
		一般小売店〔土産〕 (経営者)	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いており、全国旅行支援も12月20日前後まで継続する見通しのため、2か月先まではやや良くなる。しかし、12月末から新型コロナウイルスの感染状況が厳しくなったり、補助金なしで旅行する方が増えてくれるのか等、不安要素はつきない。そのため、3か月後の景気は悪くなる方に振れると考え、2つの評価を相殺して、変わらない。
		百貨店(営業担当)	・外出機会の増加に伴う来客数増加は期待できるものの、物価高に伴う消費の停滞が懸念される。依然として、今後の新型コロナウイルス感染症の状況もリスクとして残っており、先行きが不透明であることに変わりはない。
		百貨店(店長)	・生鮮三品や医薬品等の生活必需品については、新型コロナウイルス感染症の発生前まで回復しつつある。ただし、ファッション等は厳しい状況が続いている。
		スーパー(総務担当)	・円安の影響もあり、大きくは変わらない。
		乗用車販売店(経営者)	・当地域の自動車メーカーは、生産台数が以前の90%前後で推移している。その内約50%が輸出である。円安のため為替差益は出るものの、海外サプライヤーからの部品調達では為替差損となるので、頭を悩ませている。
		乗用車販売店(従業員)	・各部材等の高騰で値上げが続いているなか、販売にも影響がみられる。受注状況の内容が変化しているようである。
		住関連専門店(仕入担当)	・各商材群の値上げのピークといわれている10月が過ぎ、消費者の購買実感として、今後は顕著に表れてくる。数年抑えてきた行楽レジャーへの支出は増え、それ以外の支出は当分下がる見込みで、計画している。
		その他専門店(総務担当)	・この先の見積依頼が少ない。
		旅行代理店(所長)	・全国旅行支援は、既に支援金が枯渇している自治体もあると聞いているので、いつまで続くのかにも左右されると考えるが、現状では12月下旬まで、何とか安定的な旅行支援の継続を求めたい。
		タクシー運転手	・今しばらくは、景気の悪い状態が続くそうである。
		通信会社(社員)	・やや悪くなる要素も少しあるが、変わらないのではないかと。今後、物価上昇に対応できる人とできない人が顕著に出るのではないかと考えている。企業の社員給与への反映には限界があるので、国としての対策を期待している。
		通信会社(営業担当)	・外国人観光客の増加により、一部では売上増加が見込めるものの、全体的な景気回復までには至らない。
		通信会社(総務担当)	・業界の縮小傾向は変わらない。
		通信会社(局長)	・地域のイベントや全国旅行支援等が展開されているが、諸物価高騰等の要因により、景気が良くなる兆しは見えない。
		ゴルフ練習場(経営者)	・全国旅行支援は一時的なもので、支援が終われば悪くなりそうである。
		競輪場(職員)	・物価高騰もあり、全国旅行支援等が始まったが、遊興費に回る支出が今後どうなるかは不透明である。
		その他サービス〔自動車整備業〕(経営者)	・年末に向けて、消費意識の向上に期待するものの、良くなる材料が見当たらない。
		その他サービス〔自動車整備業〕(従業員)	・何も変わらない。
		設計事務所(所長)	・一時的な景気回復はあるが、価格高騰や円安の影響等で好景気は続かないのではないかと。
		住宅販売会社(経営者)	・不動産は、良い立地条件の物件には引き合いがあるものの、最終的には価格の問題もあり、なかなか成約には結び付かない。
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕(営業)	・しばらくは積極的なアプローチをしても成果が見込めないのではないかと。生活に支障を来す恐れがない限り、リフォームは後回しになる。
		商店街(代表者)	・新商品の開発を試みてもイベントを企画しても、効果が薄い。物価の高騰を払拭しない限り、先行きは不透明である。
		一般小売店〔青果〕(店長)	・光熱費等やその他食品、ガソリン等、全てが値上げされ、家計がひっ迫しているため、余計な物は買わなくなる。
		百貨店(営業担当)	・経済状況や世界情勢の不透明さが解消される兆しはなく、消費者の不安心理が購買意欲をそいでいる状況は変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（商品部担当）	・値上げラッシュが落ち着かず、年末向けの商談を実施していても、良い話が聞こえてこない。生活必需品、燃料代等の需要が増える時期なので、食料品への支出は厳しくなりそうな感じがする。
		コンビニ（経営者）	・全国旅行支援が始まったが、コンビニには直接の効果はなく、景気回復を待つばかりである。新型コロナウイルスの感染第8波が起きて、外出が制限されないことを祈っている。円安による包材等の値上げと電気代の高騰で、今期決算は赤字計上となっている。来期も人手不足による人件費の高騰等が加わる。経営の厳しさを実感している。
		コンビニ（経営者）	・コンビニは夏より冬の方が売上は下がるため、やや悪くなる。
		コンビニ（店長）	・多くの商材で次々と価格が上がっているため、客の購入行動は、ますます大型店や割安店へ移動するだろう。
		住関連専門店（店長）	・賃金アップもなく、コスト削減しか対策がないため、売上増加は見込めない。
		一般レストラン（経営者）	・円安の影響等で更に物価が上昇すれば、単価も来客数も減っていく。ますます貧富の格差が広がるのではないかと懸念されている。
		一般レストラン（経営者）	・今後も値上がりはあると聞くが、当店のようない個人店では原材料が値上がりすることに値上げはできない。利益は減ってしまうが、顧客を減らすことは避けたいので仕方がない。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・食材費、経費、人件費の上昇はしばらく続き、更に収益面を圧迫するとみられる。取引条件見直しの進捗状況によっては、採算確保が難しくなり、撤退も視野に入れた交渉が必要になってくるのではないかと懸念される。
		都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染第8波が来るとか、ワクチン接種の4回目や5回目といった異常な状況では、良くなるはずがない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊は全国旅行支援の恩恵を受け、販売可能な1室当たりの収益が過去最高の9000円台を記録しそうではある。一方、人員不足によりレストランでは休業日を設けざるを得ず、機会損失が100万円程度ある。また、収入の柱である宴会需要は、前年は超えているものの、当地ではまだ戻りが鈍く、月3000万円程度での推移が年明けまで続くため、やや悪くなる。
		旅行代理店（経営者）	・全国旅行支援が終了するため、やや悪くなる。
		ゴルフ場（従業員）	・インフレの影響が、支払だけではなく売上にも出てきている。
		美容室（経営者）	・物価上昇が響いて、美容等への支出は真っ先に節約対象に挙がっている。売上は期待できない。
		美容室（経営者）	・「がんばろう！商店街事業」の取組が始まるが、急速にインフレが進む反面、デフレマインドは相変わらず根強いいため、経済効果は一時的なものだろう。給料に反映されぬまま国民1人当たりの労働分配率が低いことを、政府は認識しているのだろうか。
		住宅販売会社（経営者）	・円安傾向が収まらない限り、物価高感が拭えない。時系列で影響の出てくる可能性はあるので、悪くなる要因が多い。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・政府が思っている以上に、国民の生活は疲弊している。このままでは、中小企業はかなり厳しい状況になるのではないかと懸念されている。
	×	コンビニ（経営者）	・現状、客が全く来なくなってしまっているのが悪くなる理由である。
	×	衣料品専門店（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染第8波の兆しが見えるような状況で、ますます客が出てこない。当店の顧客が高齢者ということもあり、自己保身のために出てこなくなっている。将来的にも、安心安全を担保できるような具体的な政策を、早めに出してほしい。
	×	家電量販店（営業担当）	・海外情勢が不安定で半導体関連が入荷しないため、更に悪い影響になると予測する。
	×	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・今後2～3か月では米国の利幅が縮小しないと思われるので、円安が落ち着いて景気が良くなるとは考えられない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	通信会社（経営者）	・円安による仕入コスト高で、利益がますますひっ迫している。中小零細企業は、大手のように一方的に販売価格に転嫁できないのが現状である。この状況で、人件費を上げるとするのは人員整理をしると言っているのと同じで、失業者が増えて労働環境も悪化する。これでは日本経済は悪化の一途としか言いようがない。
企業 動向 関連  (北関東)		-	-
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・年末に向かって、多少良くなると見込まれる。
		社会保険労務士	・以前より人の動きは良くなっている。政府の経済対策に期待したい。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・納入件数は多く、生産量が増加傾向である。今後、収益も改善されると思われる。
		金属製品製造業（経営者）	・将来のことは分からないので、とても不安である。
		金属製品製造業（経営者）	・取引先の事業予測によると、変わらない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・年末からサプライチェーンの問題も徐々に解消され始め、顧客から内示どおりの納入を見込んでいるが、正直、信じられる情報なのかどうかは分からない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・正直なところ、全く予測ができない。取引先自体も受注量が読めていないと思うので、変わらないとしている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・10月は若干良くはなったが、2～3か月先は良くなるのが悪くなるのか、販売量、受注量、取引先の様子等からも、まるで分からない。
		その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくはまだ、新型コロナウイルス感染症の影響が残ると考える。
		輸送業（営業担当）	・今後、暖房家電や冬物寝具等の季節商材の物量が増える予定である。しかし、燃料コストの上昇も続いており、利益は薄くなりそうである。
		経営コンサルタント	・ウクライナ戦争とコロナ禍による様々な影響は、根本的に解決されていないので、地域経済の基本的な活動は今と変わらない。
		司法書士	・数字上に表れるほどの変動はないため、いつも変わらないというような回答になっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・12月の注文書が来たが、現状では11月の3分の1くらいに落ちている。これから先の見通しが暗くなるような気がする。来月に1月分の注文がどのくらい入るかによって変わるが、ちょっと厳しいかもしれない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・主力製品については、年内の生産計画は順調に推移する予定だが、年明けの第4四半期は、第2～3四半期と比較して生産数が落ち込む計画となっている。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・自動車のエンジン部品を製造しているが、EV化により受注減が見込まれる。
	×	建設業（開発担当）	・建設業を営んでいる企業である。公共工事主体で売上の95%を占めている。与党政権の下、公共工事は順調に推移してきたが、コロナ禍の影響で、今期の公共工事発注は前年比10%減である。当社受注も前期比10%減で、今期決算は厳しくなる。建設業は10年来の不況業種のため、新入社員が建設業を避けており、年々社員の高齢化が進んでいる。今後一番の問題は魅力ある企業作りである。
	×	建設業（総務担当）	・とにかく工事量が少なく、この先も増えてくる兆しが無い。
	×	不動産業（管理担当）	・今後も、継続取引先に値上げ交渉をしていき、利益確保を目指す。燃料や資材価格の値上げ、時給アップによる人件費や社会保険料などの増加額が大きい。長年の取引先でも、金額交渉で圧倒的に安い他社へ乗り換えられてしまう等、いまだ低価格を求める取引先もあるため、売上の増加には困難が予想される。
雇用 関連  (北関東)		-	-
		人材派遣会社（社員）	・今は紅葉の書き入れ時で、観光客なども大分動いているが、時期的には年末年始までで落ち着く。これまでと比べれば、新型コロナウイルス感染症の影響も減って、前年同月と比べても、2～3か月先は大分良くなっていくのではないかと。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（社員）	・派遣求人については、人材不足が改善していないため、依然として求職者が選択できる状況が続いている。ただし、近隣では新型コロナウイルス感染症拡大により自粛していたスポーツや音楽イベントの復活等、人が集うイベントが増えてきたため、観光産業の復活と合わせて期待したいところである。
		職業安定所（職員）	・新規求人は、コロナ禍前と比べても上回る状況がみられ、堅調に推移している。ただし、収束がみえない新型コロナウイルス感染症や、各種原材料、燃料、光熱費等の高騰や円安進行等、企業及び雇用者に与える影響が懸念される。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・物価上昇で厳しい状況だが、政府による総合経済対策もあるので、少しは好転することも考えられる。
		人材派遣会社（経営者）	・観光地関係では、秋なので動きは目立っていたようである。引き続き、観光地等は購買力が上がり、人も多くなるだろう。ただ、公共料金、電気料金、ガス、ガソリン等の値上がりがあるため、やや控えめなところも出てくると思うし、季節商材も定着しているようで、購買力はさほど伸びていないようである。
		人材派遣会社（経営者）	・人材を募集しても求職者が少ない。
		人材派遣会社（管理担当）	・製造派遣の現場では、部品調達が間に合わないため、生産計画が低くなっている。
		職業安定所（職員）	・政府の新型コロナウイルス感染症対策の継続や、米国一辺倒の政府の対応等の方針が変わらない限り、景気は悪くなる。
	x	*	*

#### 4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (南関東)		百貨店（企画宣伝担当）	・現状と同様の傾向が続く。
		その他専門店〔雑貨〕（営業担当）	・10月11日からの入国制限緩和に伴い、外国人の来店客が飛躍的に増加している。1月から9月は9.5%だった客層シェアが、10月は24.8%まで拡大し、売上全体の底上げにつながっている。円安の影響もあってか購買点数の多さも目立ち、今後も伸びが期待できる（東京都）。
		タクシー運転手	・飽くまで2～3か月先ということだが、年末を迎えて人の動きはもっと多くなる。再び新型コロナウイルスの新規感染者数が増えて、マスク等が必要以上に不安をおおると景気は悪くなると思うが、現状では世界的に見ても規制などはないので、経済は通常に戻りつつある（東京都）。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症の新しい波が来ない限り、上昇基調は続く。ただし、一度波が起こると、昔ほど引きずることはないと思うものの停滞は免れない（東京都）。
		一般小売店〔祭用品〕（経営者）	・いろいろな行事が復活していることから、11月も引き続き需要がある。
		一般小売店〔文房具〕（経営者）	・来街者数が増加してきており、特に外国人、日本人を問わず観光客が目立つようになってきているため、土産需要が見込めそうである。緩やかではあるものの、景気は上向きになっている（東京都）。
		一般小売店〔生花〕（店員）	・3か月先の正月には花が欠かせないのではないか。コロナ禍で花の需要は少なくなってしまったが、期待を込めてやや良くなる（東京都）。
		一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	・来月から経費の抑制策が始まる。今後、外務部で案件が結構あることと、店頭部では、近隣の書店が10月末で閉店したため、手帳等の需要が全部当店に流れてくることがある。売上の増加と経費の減少要因があるので、今後は上向く。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	・円安の影響が続き、販売量がより抑制される状況が続く（東京都）。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルス感染症対策、新規感染者数の推移にも影響されるが、年末に向けてイベントごとが多くなるため、集客を見込んだイベント企画など、対策を立てている（東京都）。
		百貨店（総務担当）	・年末の繁忙期に向けて客の動きが活発になることが予想される。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（広報担当）	・年末にかけてクリスマスや年末年始などのスペシャルオケーションが上半期より多く控えており、消費意欲の高さは引き続き堅調に推移していく（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・現状の顧客動向から、年末年始の消費行動の兆しが見える。気象庁の長期予報によると、気温も平年並みか低いとのことで、コート、ダウンなどの重衣料、防寒ファッションパーツ、足元ではブーツなどの動きに期待している。ホリデーシーズンとなり、宝飾、時計などのギフト需要も高くなると見込んでいる。個人旅行単位ではあるが、インバウンドも回復してきている（東京都）。
		百貨店（店長）	・外出機会が増加すると予測されるため、更なる人流増加が見込まれる。また、全国旅行支援等により新幹線利用など中長距離移動の増加も見込める（東京都）。
		百貨店（財務担当）	・物価高などが国内消費に与える影響を懸念するものの、インバウンドや水際対策の追加緩和、円安基調もあり、免税売上が改善すると想定している（東京都）。
		百貨店（管理担当）	・今後の新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、年末年始にかけて、前年と比べて外出機会が増えてくる（東京都）。
		スーパー（経営者）	・技術が進歩する。
		スーパー（店員）	・新型コロナウイルス感染症も落ち着いてきて、やや人の集まりが増えている。これから年末年始に向かって、料理等にチャンスがあると見込んでいる（東京都）。
		コンビニ（エリア担当）	・単価上昇が継続すること、新型コロナウイルス感染症の影響がなければ、このまま流動客が継続的に増えそうである（東京都）。
		コンビニ（商品開発担当）	・全国旅行支援が本格化してくるため、人の動きだけでなく、消費に結び付けてくれることを期待したい（東京都）。
		衣料品専門店（経営者）	・今は良い状況にあるが、値上げにより厳しくなる。
		家電量販店（店長）	・今後、中国人旅行客の増加により、爆買いまではいかないにしろ、多少の購買量の増加は見込める（東京都）。
		家電量販店（経営企画担当）	・10月の足元は前年割れの結果となったが、ウイズコロナ政策の成果が徐々に出てくるとみている。また、インバウンド需要は、現在の緩和が続く前提で考えると、良い雰囲気が必要期に入る（東京都）。
		高級レストラン（営業担当）	・当月より順次スタートする全国旅行支援のクーポン利用が、ホテル内店舗等を中心に目立ち始めている。また、順次再開するGo Toキャンペーン関連の問合せも多く、利用に期待できる（東京都）。
		高級レストラン（仕入担当）	・幸い、円安、インフレの影響は直接受けていないが、消費マインドに大きく影響するようになると、後退する可能性は否めない（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・2～3か月先は暮れが控えているので、今よりも少しは忙しくなる。来客数が増え、それに伴い売上も伸びていく。1月になるとやはり来客数が落ち込むので、完全に良くなるとは言いきれないが、少しは良くなる。
		一般レストラン（経営者）	・忘年会の予約などが少しずつ入ってきているが、やはり少人数であり、客もまだ半信半疑で宴会予約をしているようである。前年よりは少し増えるのではないかと予測している（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・このまま円安が続くと、外国人観光客が増え、市場の拡大も見えてくる。外食企業もこのインバウンド需要をうまく捉えて、売上を伸ばしていけることに期待する（東京都）。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・東京でGo To Eatが再開されるため、今後は飲食需要が更に伸びることが見込まれる（東京都）。
		その他飲食〔カフェ〕（経営者）	・飲食店は新型コロナウイルス感染症の影響で大きく変動する。感染状況が落ち着いてきているため、やや良くなる。インバウンドも戻ってきているので、良くなる（東京都）。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	・夕食、昼食に関しては需要が安定してきている。あとは宴会需要が復活するのを待つだけだが、依然として回復は弱い。年末需要に期待する（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	・基本的には新型コロナウイルス感染症がある程度収束していき、国の緩和政策が続けば当然良くなると思うが、マスクの報道により大きく左右されるので、報道の仕方次第である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		都市型ホテル(スタッフ)	・全国旅行支援が売上に良い影響を与えている(東京都)。
		旅行代理店(従業員)	・新型コロナウイルス感染症が落ち着いており、年末年始も通常どおりであることが前提である。また、全国旅行支援の延長が予想されている(東京都)。
		旅行代理店(従業員)	・全国旅行支援終了後も国内旅行の需要は戻る。海外旅行もハワイを中心に徐々に申込みがあるが、海外の物価高の影響で旅行単価が高騰している上、円安という不安材料があるため、完全回復にはまだ時間が掛かる(東京都)。
		旅行代理店(営業担当)	・12月までは好調だが、その後は微増とみている(東京都)。
		タクシー運転手	・少しずつ利用が増えている。昼間の利用が安定しているの で、安心して利用している。ロングの利用もあり、「今日客を乗せ 100キロメートル走った」と自慢するドライバーもいる。私 も別の日に80キロメートル走る客を乗せた。このような話で ドライバー仲間と盛り上がっている。最近も超ロングの客が あり、驚いている。
		通信会社(経営者)	・新型コロナウイルス感染症との共存が定着し、人の動きが 少しずつ活発化してくる(東京都)。
		通信会社(社員)	・前月から具体化したイベント企画が進んでいる。番組提供 も見えてきている(東京都)。
		観光名所(職員)	・乗客数がこのまま増加していけば、少しは期待できるの ではないかとみている(東京都)。
		その他レジャー施設 [複合文化施設](財務担当)	・ウクライナ情勢が決着すればやや良くなる(東京都)。
		設計事務所(経営者)	・当事務所では、このままでは駄目だということで、社員と 打合せをして営業の展開を少し変えてみたところ、今まで動 かなかった物件が少し動いてきている。もう新型コロナウイルス 感染症のせいにはできないというような雰囲気があり、 前年度よりは決算も大変好調な数字が得られる見込みであ る。ますます頑張らなければならない。
		設計事務所(経営者)	・現在相談のある新規物件がこのまま成約すれば、具体的に 動いていくことになる。
		住宅販売会社(経営者)	・新型コロナウイルス感染症が収束しない限り、また、ウク ライナ情勢が落ち着かない限り、基本的には景気は良くな らなと思うが、観光業に対しては、政府がいろいろな対策 を採ってくれているので、少し良くなると期待している。
		住宅販売会社(従業員)	・年始の新春キャンペーン展開や、年末年始の長期休暇によ り、注文住宅建築、分譲住宅を検討する時間がまとめて取 れるため、展示場への来場者数や商談数の増加が期待でき る。それに比例して販売量も増え、今月よりやや良くなる のではないかと。
		その他住宅[住宅資 材](営業)	・原材料価格の高騰に対して一服感が出る見込みから、一旦 は建材需要の回復に向かうとみている(東京都)。
		商店街(代表者)	・最近、飲食を含めて全ての物が値上がりしている。当店の 取扱商材はし好品になるが、やはり客はお金に対する感覚 がかなりシビアになっている。買物にはかなり慎重になっ ていと言わざるを得ない。
		一般小売店[家電] (経営者)	・新規客が増えてくれば別だが、根本的には既に底辺で、こ れ以上下がったらやっていけない状態が続いているので、 変わらない。とにかく、新規客の獲得につなげるため、問 合せをもらっている客に対応している(東京都)。
		一般小売店[家電] (経理担当)	・家電製品は、現在は新品から中古まで、いろいろなところ で販売されている。最近では価格が安ければ新品にはこだ わらない客も多くいる。販売する商材も変えなければいけ ないと思っている。
		一般小売店[家電] (経理担当)	・テレビの買換え需要などは増えてきているものの、動い ているのは価格の安い物で、仕事量は増えても月商を上げ るのは大変である。値上がり商材が増えているとはいえ、 買い換える前のテレビと比べれば、価格はずっと安い。
		一般小売店[家具] (経営者)	・これから先も現状のまま変わらない。物価も仕入価格も 上がっており、良くなる要素は見当たらない(東京都)。
		一般小売店[印章] (経営者)	・これから11月にかけては余り期待はできない。年賀はが きの印刷はあるが、郵便局等でも扱っているため、全然 変わらない。12月からは当地域のプレミアム付商品券が 取扱開始となるので、それに期待するほかない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔眼鏡〕 (経営者)	・米国のインフレが解消されない限り、株価は上がらず、円安が続き、景気に影響する。
		一般小売店〔茶〕(営業担当)	・早く世の中が通常に戻ることをただ祈るのみである。それまで会社も持ちこたえてほしい。今のままでは年末のボーナスも期待できない(東京都)。
		百貨店(総務担当)	・様々な要因の先行きがはっきりしないまま、消費活動に動きが見え始めた結果、身の回りの景気は上向いているように見える。しかし、物価高の影響などが目に見える形で現れてくると、消費マインドにマイナス影響が出る恐れもあり、不透明な状態が続く(東京都)。
		百貨店(総務担当)	・インバウンド客の入国制限は緩和されてきているが、新型コロナウイルスの感染状況は下げ止まっており、物価も上昇している。しばらくは消費に対して慎重な判断が続く(東京都)。
		百貨店(営業担当)	・前年は行動規制がない年末年始を迎えて売上が伸びたが、現在の動きから中心となる食品関連には不安がある。好調な高額品やインバウンド需要に期待する(東京都)。
		百貨店(営業担当)	・テナントから徴収する電気代や諸経費も上げざるを得ず、出店者側の負担が増えている。また、個人に置き換えても、収入が増えないため、コロナ禍の反動による売上好調も長くは続かないのではないかと(東京都)。
		百貨店(販売促進担当)	・人の動きや消費意欲は確実に改善されてきているが、物価の上昇による生活防衛意識の高まりや、年末に向けて予想される新型コロナウイルスの感染第8波など、不安要素は多い(東京都)。
		百貨店(販売促進担当)	・全国旅行支援の開始により、旅行など外出機会の増加に合わせた需要増も一部にはみられる。しかし、物価高に対する消費者の意識は引き続き非常に厳しいため、景況は今後も変わらない。
		百貨店(販売促進担当)	・コロナ禍の直接的な影響は落ち着いたが、物価上昇に伴い食料品売場を中心に購買動向に抑制傾向がみられる(東京都)。
		百貨店(経営企画担当)	・ウクライナ情勢は終結が見通せず、長期化すると予想している。原油価格高騰に伴う電気料金の値上げは当面継続する。政策による価格上昇を抑える動きがある一方で、円安傾向はそのまま続くため、現状から悪化するリスクは依然として残っており、改善する見通しはほぼない。ただし、外国人観光客の流入や、日本人の海外旅行が抑えられると思われるため、その動向に注視していくことが必要である(東京都)。
		百貨店(店長)	・オケージョンニーズが増える時期のため上向くと期待したいが、値上げや新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ流行のピーク等の脅威を考えると、今以上に上向くような特段のプラス要素はない。
		スーパー(経営者)	・現在が余り良くないので、2~3か月先も変わらないと思うが、それよりも電気代の大幅値上げなどコストの増加が経営を圧迫している。販促をいろいろ頑張っているのに、売上の的には悪くないが、景気が良いとはいえないし、最終的な利益が非常に厳しくなっている。
		スーパー(店長)	・やはりこれだけ物価が上がっているのに、客はなるべく安い店を買い回っている。世の中の状況に鑑みて、3か月後も今と変わらず推移していくと予測している(東京都)。
		スーパー(店長)	・値上げにより買上点数に影響が出てくる可能性がある。光熱費等の支出増加により、食品類の購入にも影響が及ぶ可能性がある。
		スーパー(店長)	・消費者には節約志向が依然として根付いており、この先食料品の値上げも控えているなかでは、同様の状態がまだしばらく続く(東京都)。
		スーパー(営業担当)	・1品当たりの単価は更に上昇する見込みが十分にあるが、それに伴い家庭における生活防衛意識も更に強まる可能性が考えられる(東京都)。
		スーパー(販売担当)	・今後も新型コロナウイルス感染症を気にしながらの生活が続くこと、物価上昇が収まる気配が感じられないことなどから、積極的な消費が起こるとは考えにくく、しばらく出口の見えない状態が継続する。
		コンビニ(経営者)	・これから年末を迎え、クリスマスやお歳暮等があるので、客単価が上がり、多少は上向く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（従業員）	・ 2～3か月では特別大きく変わらない。今年の前半に比べて良くなってはきている。このまま少しずつでも良くなっていけば良いが、来年初頭では今と同程度ではないか。大きな環境の変化がなければ、今の水準を保っていく。
		衣料品専門店（経営者）	・ 若干良い兆しが見えるものの、やはりこのところの急激な円安により、繊維系の産業としては輸入価格が上がってきてしまい、再度の値上げを考えなければいけなくなっている。良い兆しはあるものの、この先はまだ読めない。
		衣料品専門店（統括）	・ 物価高に伴い、衣料品に対する消費が大きく見込めないと予想される。
		衣料品専門店（役員）	・ やはり衣料品業界には物価高騰の影響がかなり大きい。ウクライナ情勢や円安等の問題が大きく変わらなければ、まだまだ厳しさが続く。
		家電量販店（店長）	・ 物価上昇が落ち着かないとなかなか厳しい。年末の動向に期待している。
		乗用車販売店（経営者）	・ 自動車の整備は順調に入っているが、販売が余り芳しくない。メーカーの生産ラインでの半導体不足の影響で、納車まで3か月くらい掛かっているため、客が余り積極的でないことが原因である。
		乗用車販売店（経営者）	・ 新車の受注量は前年並みだが、整備部門は順調に推移している。
		乗用車販売店（営業担当）	・ 年末に向けて買い控えを感じる。
		乗用車販売店（販売担当）	・ ウクライナ情勢、原油高、何十年かぶりの円安というなかで、明るい見通しが一切ないため、この先も今の悪い状況が数か月は続くのではないが、ただし、内需についてはまだまだ潜在的なものがあるので、内需拡大の方策があれば、良くなる（東京都）。
		乗用車販売店（渉外担当）	・ 生産正常化の見込みが立たない。
		乗用車販売店（営業担当）	・ 関係するような情報がない（東京都）。
		住関連専門店（店員）	・ 一般的な買物などに対する経済対策がない（東京都）。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・ 周りを見ても、どうも景気が良いとか物が売れているとは感じられないので、変わらない。
		その他専門店〔貴金属〕（統括）	・ 商材値上げの影響が発生する。しかし、来客数の増加を見る限り、売上にさほど変化はないとみている（東京都）。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（団体役員）	・ 激変緩和措置により燃料油価格はほぼ落ち着いており、需要が大きく変化することはない（東京都）。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・ 新型コロナウイルスの感染第8波の報道も聞こえてくるなかで、同じことの繰り返し起きると想定している（東京都）。
		その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・ 政府にこれといった景気対策がなく、むしろ悪い方向にカジを切っている気がする。本当に何とかしようという気がするのだろうか（東京都）。
		高級レストラン（経営者）	・ 新型コロナウイルス感染症の流行状況に左右される。
		高級レストラン（役員）	・ 新型コロナウイルスの感染状況が現状のまま推移すれば、年末に向かって来客数はこのまま増加基調かと思われるが、物価や仕入状況により、利益や景況感は必ずしも連動せず、現状と変わらない（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・ 客足の戻りが早かったランチに加え、客足が遠のいていた夜の営業もややにぎわってきている（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・ 当社は飲食サービス業で、中高年層の客がメインである。したがって、新型コロナウイルス感染症や収入の影響が大きく、厳しい状況が長く続いている。その上、円安やロシアのウクライナ侵攻の影響で光熱費や仕入原価が高騰し、2年以上赤字が続いている。いつまで持ちこたえられるか心配である（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・ 例年ならこの時期だと12月はほぼ予約で一杯になっている。40～50人用の大きい部屋があるのは当店だけなので、そうした宴会予約は入ってくるが、15～30名くらいまでの宴会はほとんど入っておらず、予約ノートは真っ白である。この状態が続くような感じがしている（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（経営者）	・景気は悪いままで変わらない。このまま年末に入ってしまうと、どれだけ忘年会などが開かれるか、クリスマスなどでも人出があるのか分からない。商業施設で人出が増え、新型コロナウイルス感染症が更に広まった場合、政府はどのような対策を打つのだろうか。
		都市型ホテル（経営者）	・このまま新型コロナウイルス感染症が収束すれば、売上自体は伸びていくと思うが、原価や水道光熱費の高騰により経費が増大しており、売上が増えても最終的な営業利益は逆に減ってしまうという大変厳しい状況にある。政府には、特に水道光熱費について、個人だけでなく企業に対する補助もお願いしたい。また、新型コロナウイルス感染症の分類を2類から5類に早々に変えてほしい。
		旅行代理店（経営者）	・やはり新型コロナウイルス感染症が収束しないと、特に旅行に関しては遊興費なので、なかなか余裕がない。諸物価が上昇しているの、生活していく上で非常に大変だということである。
		旅行代理店（経営者）	・全国旅行支援で仕事は復活したが、煩雑な作業量が従来の数倍となっている上、支援値引きの立替えなど利益なき繁忙となっている。支援終了後の反動が心配である。
		旅行代理店（従業員）	・例年のように、冬から春にかけて新型コロナウイルス感染症の新たな変異株が発生、まん延することを危惧している。
		旅行代理店（営業担当）	・値上がりの影響はしばらく続くものとみられる。収入が上がらない限り、景気が良くなっているとの判断はできない。
		タクシー運転手	・やはり今は物の値上がりが一番苦しい。全ての物が値上がりしているの、消費者は敏感になっており、年末にかけて慎重にならざるを得ないという気持ちが見て取れる。
		タクシー運転手	・良くなる勢いは全く感じられないが、悪くなるとも感じられない。繁華街辺りは欧米系の外国人客がやや増えているものの、以前多かった中国系、韓国系の観光客はほとんどいない（東京都）。
		タクシー（団体役員）	・新型コロナウイルス感染症が完全に終息するまでは、なかなか景気回復は期待できないのではないかと。また、終息しても、すぐには以前の状態まで回復しない。
		通信会社（経営者）	・機器等が順調に入荷されれば景気は良くなるが、まだその段階ではない（東京都）。
		通信会社（社員）	・特にイベントがない（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着いてきており、回復の兆しを感じるものの、物価が上昇してきているため、本格的な回復にはまだ時間が掛かる。
		通信会社（営業担当）	・インターネットを軸に競合他社との価格競争は引き続き激しく、客が安価なサービスに流れる傾向は続く。
		通信会社（局長）	・物価高の影響もあり、娯楽に値する多チャンネルの契約数の伸びと年末のテレビコンテンツの充実がきつ抗して、今と余り変わらない（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・良くなると思える材料がない。
		通信会社（経営企画担当）	・例年、年末年始に向かって案件数が減少する傾向にあり、現状から余り変化はないと予想している（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・社会情勢が変わらない限り、変化はない（東京都）。
		通信会社（局長）	・為替相場が不透明なところ、世界情勢の影響で半導体も含めて需要が安定していない。
		パチンコ店（経営者）	・物価上昇に対する政府の対策が望まれる。それまでは横ばいとみている。
		競輪場（職員）	・新型コロナウイルス感染症は落ち着いてきたが、実際の勝負は来春4月と考えている。また、小手先の戦略では消費者に届くまで時間が掛かると予測している。
		その他レジャー施設 [ボウリング場]（支配人）	・円安による輸入品等の値上げ、物価上昇で、レジャー費等は削られ、非常に厳しい（東京都）。
		その他レジャー施設 [総合]（広報担当）	・国内、海外客の増加は好材料である反面、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行による懸念がある（東京都）。
		その他サービス[福祉 輸送]（経営者）	・楽観的な予想も含め、このまま行くような気がする（東京都）。
		その他サービス[立体 駐車場]（経営者）	・新型コロナウイルス感染症が終息するまでは悪いままである。
		その他サービス[保険 代理店]（経営者）	・急な売上増加は期待できないので、やや変わらないか、少し減少する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス 〔フィットネスクラブ〕（エリア統括）	・円安、賃金の低迷等、個人消費につながるプラス要素が見当たらない（東京都）。
		設計事務所（経営者）	・新年度になり、官庁案件の入札が始まるまでは、現状の景況感で推移する。民間は閉塞感から抜け出すのが難しい状況が続いている。
		設計事務所（所長）	・近隣の状況を見ても新しい工事は非常に少なく、空地に関してはコインパーキング等での利用が多い。様子見の状態が続いているのではないかと。当社も、土地の有効性、有効利用の話があっても建築工事で採算が合わず、前には進まない（東京都）。
		住宅販売会社（従業員）	・客の動きが少し良くなっている。
		一般小売店〔和菓子〕（経営者）	・まだまだ商材の値上げが続きそうである。また、新型コロナウイルスの感染第8波が心配されており、年末年始にかけて感染が広がるのではないかと。
		一般小売店〔米穀〕（経営者）	・消費者にとっては、収入が伸びないまま物価が上がっているため、非常に財布のひもが固くなっている。そのため、厳しくなる（東京都）。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・物価上昇と収入のアンバランスにより、改善の兆しがみられない。
		一般小売店〔傘〕（店長）	・今後も仕入価格の上昇が続く。
		百貨店（営業担当）	・燃料費、原材料費などの高騰による物価上昇がどこまで影響してくるか依然として不透明ではあるが、現時点よりは消費の伸長度合いは鈍化する（東京都）。
		スーパー（総務担当）	・現状、新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着きを見せ始めており、政府による全国旅行支援等の影響で客に動きがある。しかし、これから冬に向かい、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症が再び流行すると、客の行動が制限され、商材の値上がりもあって、買い控えが生じるとみている。賃金がそれほど上がっていないなかで、買い控えが想定されるので、景気は下向きになっていくのではないかと。
		スーパー（総務担当）	・物価高に賃上げが追い付いていない。最低賃金が上がったので、人件費削減のためにパートのシフトも減らしている。
		スーパー（仕入担当）	・消費者物価が3%上昇しており、家計への影響が増大しているため、消費の低迷は続いていく。
		スーパー（ネット宅配担当）	・今後、電気料金などの負担増が商品価格に更に反映されると考えられる。節約志向などが一層高まり、厳しくなる。
		コンビニ（経営者）	・量販店への客の流出が加速し、宅配サービス業者との競争もますます厳しくなる。
		コンビニ（経営者）	・商材の値上げが買上点数の減少につながり、売上に影響が出てくる可能性がある。
		コンビニ（経営者）	・店の周りが高齢者が増えている。年金も実質的に下がるのと同じような状態になるのだと思うが、商材自体は本当にその日その時間に食べる物しか買わなくなっている。この先、給料が上がるとか年金が上がるといったような明るい材料でもない限りは無理である。
		コンビニ（経営者）	・光熱費や商材の値上げが多く、景気は悪い方向に向かう。そのようななか、賃金アップも望めず、景気が上向く要素がない。
		衣料品専門店（店長）	・急速な円安に伴い、輸入コストの上昇が利益に影響を与えつつある（東京都）。
		家電量販店（店長）	・商品単価が大きく上がってきていることが懸念される。減税や補助金の投入が必要になっている（東京都）。
		乗用車販売店（総務担当）	・サービス需要の低下、新車の生産遅れにより、損益状況が厳しくなると見込んでいる。
		住関連専門店（営業担当）	・今秋の各メーカーの値上げが一巡し、懸念されたほどの落ち込みはないものの、今後も円安が続くなど、良い材料はなく、厳しくなると覚悟している（東京都）。
		住関連専門店（統括）	・全ては新型コロナウイルス感染症が収束する、若しくは同等の状態に戻らなければ、景気は回復しない。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・物価高の影響は年末商戦にも影響する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（経営者）	・コロナ禍が落ち着いてきたこと、旅行費用の助成などにより忙しくなっているが、円安による原材料費、諸経費、人件費の高騰スピードの方が速く、収益はマイナス方向である。円安の影響ももちろん大きく、今後は更にその影響が強くなるのではないかと。
		都市型ホテル（スタッフ）	・年明けはローシーズンとなるため、全国旅行支援が継続したとしても需要は低下すると予測している。
		旅行代理店（営業担当）	・大幅な円安により物価が上がっており、買い控えのサイクルに入っている感じがある（東京都）。
		タクシー運転手	・15年ぶりに都区内のタクシー運賃が改定され、値上げすることに正式に決まった。業界としてはコロナ禍で悪化した経営を埋め戻したいと思っているかもしれないが、なかなか現実的には難しい。しばらくは利用を敬遠されることになると思うので、景気はやや悪くなる（東京都）。
		通信会社（経理担当）	・電力やガスなどの料金値上げがまだ続いており、節約モードがじわじわと響いてくる。
		通信会社（経営企画担当）	・客の購買動向に改善がみられない（東京都）。
		通信会社（管理担当）	・営業の状況は変わらず、しばらく好転しないとみているが、電気料金等、原価や販売管理費の上昇による影響は継続、又は悪化すると想定している（東京都）。
		通信会社（管理担当）	・新型コロナウイルス感染症の新たな変異株が発生しており、感染力の高さから、感染第8波が到来する可能性がある。インフルエンザの流行や、海外からの観光客の入国制限緩和も伴って感染が再拡大した場合、活動人員の減少という点からも影響を受ける可能性がある（東京都）。
		ゴルフ場（経営者）	・寒さが厳しくなるとの長期予報が出ているので、客が外出を控える気がする。
		その他レジャー施設 [映画]（営業担当）	・円安が進み、経済の先行き不透明感が増していることと、食品を中心に身近な物の値段が上がってきている（東京都）。
		設計事務所（職員）	・国が主導して効果的な景気対策を打たない限り、上向くことはない（東京都）。
		住宅販売会社（従業員）	・本当に先が読めない。客に購入の動きはあるが、金融機関の融資が若干厳しくなっているようである。今の新築アパート物件の利回りも下がってきているので、今後金利が上昇すると、かなり厳しい状況になる。
		住宅販売会社（総務担当）	・資材高騰の傾向がしばらく続く。
	×	一般小売店 [食料雑貨]（経営者）	・原材料費、燃料費、人件費いずれも高騰している。
	×	スーパー（経営者）	・インフレ傾向が強くなっている。商品単価は少々上昇しているが、来客数、売上共に減少している。この先更なる値上げが見込まれるので不安である。エネルギー価格の上昇により電気代がかなり上がっており、経営が厳しくなっている。
	×	コンビニ（経営者）	・物価と経費が高騰している（東京都）。
	×	コンビニ（経営者）	・季節的な要因で、やはり冬はコンビニは弱いので、これからは少し弱くなっていく。それと同時に、この物価高により人々が財布のひもをかなり締めており、無駄なお金は使わなくなっているため、商売人にとっては厳しい季節が始まる。円安やエネルギー価格の上昇も含めて、物価高が少しずつ収まってくると良い。
	×	衣料品専門店（店長）	・急激な円安により輸入商材の価格が急上昇しており、小売価格にも影響が出てきている。
	×	衣料品専門店（従業員）	・これから先も物価上昇により購買意欲が低下し、売上が悪くなる。最近では来客数も減っている。
	×	家電量販店（店長）	・消費者は今まで我慢していた旅行や飲食店へ足を運ぶ機会を増やし、無駄な消費を減らすようになっている。消費行動的に買換え需要以外の大きな波は来ないので、売上面で見ると厳しい冬になる。
	×	乗用車販売店（営業担当）	・良くなる要素が1つも見当たらない（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染第8波が懸念されており、ここ2年間の傾向から新規感染者数が増えることが予想される。新規の引き合いの減少や、現在入っている予約のキャンセルについても懸念されるところである。今までも新規感染者数の増加に伴って延期やキャンセルが続発しているため、景気はやや悪くなる。
	×	タクシー運転手	・景気は新型コロナウイルス感染症の発生前の状況には全然戻っていないことは明らかである。短距離の客は確かに増加しており、繁華街の人出も増えている。しかしながら、タクシー事業者にとって最も売上に重大な影響がある長距離の客はまだまだ少ない。そこが回復すれば、コロナ禍以前の状況に戻る（東京都）。
	×	通信会社（管理担当）	・引き続き物価高の影響が大きい。
	×	ゴルフ場（経営者）	・コストプッシュ型のインフレが持続する。また、値上げができない状況下での賃金上昇が経営の足かせになっている。
	×	ゴルフ場（経営者）	・相変わらず続く原料不足と値上がりの影響により、不安感から消費を抑えることが続く。また、ゴルフにとってシーズンオフに向かっていく時期であり、売上の確保が厳しい。
	×	ゴルフ場（従業員）	・Go To Eatなどが再開されているが、結局は国や自治体のお金で経済を回している。国や自治体の財産を減らして、景気が良くなるとは思えず、その方法が得策とは思えない。
	×	ゴルフ場（経理担当）	・円安による物価高は固定費を圧迫し、著しく収益性を悪化に導いている。日本の金融政策に変更がない限りはこの動向は続くだろうし、現下の不透明要素からは足元の物価上昇を一時的な動きと評価することはできず、社内の収支構造改革にまで踏み込む必要性が指摘されている。半導体などの資材不足の影響は残っており、設備投資の一部は年度内の施工が見通せない状況になっている。
	×	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・生徒数が減少している。親からも、物価高になり生計が立たないので辞めるという声が出ている。景気はどんどん悪くなる。
	×	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・客からの問合せ件数の減少が著しい。
	×	設計事務所（所長）	・資材等の高騰から、なかなか仕事が決まらない。特に、民間は深刻である。
企業動向関連 (南関東)		その他サービス業〔ディスプレイ〕（経営者）	・どの業界もウィズコロナにシフトし始めているようである（東京都）。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	・受注量が増えている。インフレ手当の支給も行う。
		食料品製造業（経営者）	・人が少しずつ動くようになっているので、この傾向はしばらく続く（東京都）。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・店頭受けが主になる個人客は低い水準でほとんど変わらないが、法人客は今月特需のあった得意先以外にも問合せが多く、受注件数も僅かながら上向いていると感じるので、少し上向くのではないかと（東京都）。
		一般機械器具製造業（経営者）	・月末にかけての好調は短期間ながら持続するとみている。ただし、来年については不透明である。
		輸送業（経営者）	・前年に比べ、年末年始を始め、業界の会合等でも宴会を伴うものが増えてきている。少し活気が出て、景気に明るさが出てくることを期待したい（東京都）。
		金融業（従業員）	・政府が新型コロナウイルス感染症対策で経済活動を制限せず、むしろ活性化に方針転換し、旅行等の動きも活発化しているため、マインドが向上している。
		不動産業（総務担当）	・空室の埋め戻しが期待できる状況になってきている。また、店舗の客足も伸びており、売上も若干ではあるものの、改善されつつある（東京都）。
		広告代理店（経営者）	・インバウンドなど観光需要の回復により、飲食店などでは売上が期待できそうだと聞いている（東京都）。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	・少しずつでも人を増やし、売上の増加につなげていきたい。
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・年末商戦やGo To Eatなどの施策に良くなると期待も込めての回答である。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染第8波次第である。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・12月までは今くらいの受注量が続くだろうが、年明け後はまた景気が悪くなる（東京都）。
		出版・印刷・同関連産業（所長）	・販促費の予算は最初に削られる傾向にあり、少量少額の案件を格安業者と比較されて受注に至らないことが増えてきているので、非常に厳しい。
		化学工業（従業員）	・値上げの告知を行っているが、受注状況は思っていたよりも良くはなっていない。
		化学工業（総務担当）	・原燃料費の高騰が続き、好転は望めないが、行動制限のない状態が続いているため、インバウンド需要も回復すると期待している。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・向こう3か月の景気動向については、やはり政府の経済政策や値上げの状況が分かるまでは余り大きく好転することはない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・化粧品容器の受注回復はまだ先が見えないが、医療品容器に関しては、円安の影響もあり、少しではあるが明かりが見え始めている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・今の政治が続いて、新型コロナウイルス感染症の問題もそのまま残れば、当社の業績も大きくぶれることはない（東京都）。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・自動車メーカーは多くの受注を抱えているが、半導体不足の影響で大幅な増産には至らない。この状態はしばらく続くのではないかと。
		その他製造業〔靴〕（経営者）	・今は新型コロナウイルス感染症が大分収まってきており、以前の様子に戻ってきたと感じている。得意先も来客数が増えた大変喜んでいて。こうした状態が少しでも続けば良い。
		その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・今月はここ数か月と比較すると良い数字になっているが、現場からは、物価高による客の支出削減が進んでおり、まだまだ楽観視はできないという声が多い（東京都）。
		建設業（経営者）	・実際に有効な中小企業対策が打たれているかどうか分からない。
		輸送業（総務担当）	・荷主の国内出荷量が低迷している。輸出に関しては全くない状況である。今後も現状が続く予想をしている。
		通信業（広報担当）	・物価上昇の影響もあり、以前ほどの伸びは見込めない（東京都）。
		金融業（従業員）	・旅行や飲食の割引キャンペーンが開始され、小売業、サービスの事業者は売上増加に期待を寄せている。ただし、急速な円安進行によるコストの増加で利益確保は厳しさを増しており、サービス内容の見直しや価格引き上げは避けられないとの声が聞かれる（東京都）。
		金融業（総務担当）	・全国旅行支援やGo To Eatキャンペーンの恩恵も出てくるが、あらゆる物が値上がりしており、それほど景気は戻らない。円安傾向はまだまだ続くこととみられ、ガソリン価格の高騰や食品関係の値上げと、今後も不安感は拭えない。ただし、年末商戦では今まで抑えてきた消費も少し緩むのではないかとみている。全体的には景気が上向く材料が不足しているので、今後も厳しい状況が続く（東京都）。
		不動産業（従業員）	・コロナ禍の収束は良い点であるが、円安による原材料価格の上昇は懸念材料である（東京都）。
		不動産業（従業員）	・建設費等の物価上昇については、すぐに改善されることはないかと予想している（東京都）。
		税理士	・以前から米中の景気が国内景気に影響すると言ってきたが、現状はインフレやエネルギー価格の上昇等があり、飲食店などはまだ全然以前の活気がある状況には戻っていない。これが解消されない限り、ずっと現状が続くのではないかと。円安、インフレ、エネルギー価格の高騰が市民生活にも大きく影響している（東京都）。
		社会保険労務士	・良くなる要因が見当たらない（東京都）。
		税理士	・電気料金等の値上げに対する措置は有り難いが、この先のことを考えると、景気回復を図らない限り、緊急措置ばかりでは購買意欲は湧いてこないし、先々の不安が募るばかりである。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・経済活動が活発になってきているとは感じるが、原材料、資材等の値上げがあり、厳しい状況が続く。
		金属製品製造業（経営者）	・例年なら年末にかけての仕事の話が出る頃だが、まだ出ていない。仕事の確保に努力する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		電気機械器具製造業（企画担当）	・半導体製品の大口受注価格には、それほど落ち込みはないが、品薄状態が改善され、販売数は伸び悩むと想像する。	
		精密機械器具製造業（経営者）	・世界的なインフレ傾向と有事のため、非常に不安定である。	
		輸送業（経営者）	・円安、ロシアのウクライナ侵攻、新型コロナウイルスの感染第8波、原油高、生活周辺価格の上昇がある（東京都）。	
		金融業（従業員）	・寒くなるにつれて、インフルエンザや新型コロナウイルスの新規感染者数の増加が懸念される。また、ロシアのウクライナ侵攻の長期化も影響し、物価高や円安の悪影響もあることから、今後は景気が低迷する。	
		不動産業（経営者）	・新型コロナウイルス感染症が長引くなか、これに対応しながら進むより生きる道はない。当事務所も当初から換気設備が悪く、賃料の交渉をしたが、なかなかである。それぞれが生きていくために頑張っている。新型コロナウイルス感染症に気を付けて頑張りたい（東京都）。	
		不動産業（経営者）	・客足が戻り、売上増加を期待できるが、諸物価の上昇が続き、収益の悪化をカバーしきれない。	
		広告代理店（経営者）	・物価高に加え、円安の影響がある（東京都）。	
		広告代理店（従業員）	・当社の取引事情による（東京都）。	
		経営コンサルタント	・円安の影響などの厳しい状況が多く予想される。	
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・円安がどのくらい進むのかが見えないが、中小企業は輸入価格上昇分と人件費の増加分を価格に転嫁できていない。そのため、どちらを取るかと考えると、人件費を据え置くか減額するしかないの、財布のひもは締まる一方になる（東京都）。	
		×	金属製品製造業（経営者）	・ウクライナ情勢とエネルギー価格が落ち着かないと、景気は悪くなっていく。
		×	建設業（経営者）	・企業の設備投資が少ない。また、消費意欲も高まらない。
		×	建設業（経営者）	・設備投資を控える企業が増えている。
		×	建設業（営業担当）	・資材関係の価格高騰が止まらず、納期遅延も改善しない状況下、円安で更に状況が悪化し、受注が減ると予測している。
		×	広告代理店（営業担当）	・ここきて、燃料費、原材料費の高騰を理由に、各社が宣伝費を出し渋る傾向にある（東京都）。
	×	経営コンサルタント	・輸入品の価格上昇は、原材料から電気、ガス等の製造維持に重要な経費の上昇に大きく影響し、もはや20%程度の原価高になりつつあり、中小製造業の利益を圧迫している（東京都）。	
雇用 関連  (南関東)		人材派遣会社（営業担当）	・募集は拡大傾向にあり、採用数は今後も伸びる（東京都）。	
		人材派遣会社（経理担当）	・通常、秋以降は派遣市場全体として求人、求職共に増加傾向になる。現状でも微増の状況で、現時点で特に障害要因も思い当たらないため、このまま数か月先も同様に増加傾向で推移する（東京都）。	
		求人情報誌制作会社（営業）	・12月はさすがに求人が減るが、今の勢いで来年を迎え、1月以降も同水準で推移するならば、景気は良くなっていると感じられる。仕事や経済が回っているのか、明らかに前年とは違う。特に大きな行動制限のない時期が続いており、全国旅行支援などの施策も増えてくるようならば、更に経済が回っていく。経済が回っていくと求人数が伸び、雇用も生まれる。その繰り返しは景気の良さへとつながっていくのではないかと。	
		求人情報誌制作会社（広報担当）	・各企業で採用人数が増えている。繁華街や観光地でも人出が増えており、緩やかではあるが景気は回復しつつあるように感じる（東京都）。	
		職業安定所（職員）	・直近の求人数、就職者数からみて、雇用情勢は回復傾向にあるものと推察されるが、これが継続するか否かは今冬の新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの感染状況に左右される。	
		人材派遣会社（社員）	・引き続き一部の企業では円安の影響による受注減少が続く。	
		人材派遣会社（社員）	・3か月の短期間では変化はない（東京都）。	
		人材派遣会社（社員）	・求職者が大幅に増える見込みがない（東京都）。	
		人材派遣会社（社員）	・求人数は安定して増加しているが、募集や採用活動が厳しくなっていることもあり、採用コストが増えている。長期派遣契約数も緩やかに増加していることから、当面、業績は安定していく（東京都）。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（社員）	・求人数に対して人材の供給が追い付いていない。時間とともに人材不足が顕著になってきている（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・求人数は例年と変わらず、特に大きな動きはない。2～3年前から各地で大型倉庫の新設が継続しているので、来年以降も求人が見込める。
		人材派遣会社（支店長）	・特にITリテラシーの部分で、求人企業が求める経験やスキルと、求職者が保有する経験やスキルとのギャップが年々大きくなってきている印象がある。ミスマッチが生じていることから成約の障害となる度合いが高くなってきている（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	・企業におけるDX推進を中心に要員不足の状況に変化はなく、今後も派遣ニーズが落ち込む様子は見受けられない（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	・新たな経済政策に伴い、どこまで人材ニーズが高まるかによるのではない。
		求人情報製作会社（経営者）	・根本的な景気対策がなされていないなか、事業者は新型コロナウイルス感染症の影響で疲弊したキャッシュ状況から抜け出せず、元本の返済期間を迎え、ますます弱体化していくような気がしている。このような状況下で、賃金アップなどの政府要望にこたえられない中小事業者は多い（東京都）。
		職業安定所（職員）	・有効求人数が前月比で2.5%、前年比で11.7%増加しており、10か月連続して前年同月を上回っている。新規求人数は前年比15.8%の増加だが、新規求職申込件数が14.4%増加であるため、有効求人倍率は1.12倍と0.03ポイントの上昇にとどまっている。
		民間職業紹介機関（経営者）	・新卒採用マーケットは景気変動に対して1～2年くらい遅れて変化が現れる。しばらくは静かな推移が続くのではないかと（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	・市場に新たな魅力のある求人はなく、大きな変化は望めない（東京都）。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・年末にかけて予約や計画などがほとんどない。年明けに関しては新たな事業展開などの話がいろいろ持ち上がっているが、年内一杯はかなり絶望的である。
		職業安定所（職員）	・円安による物価上昇に伴い、今後が不安視される。
		職業安定所（職員）	・求人数全体の伸びが鈍化している。飲食、宿泊業が増加している一方で、製造業、卸売、小売、医療、介護分野は減少に転じている。特に、製造業では原材料高で業績が落ち込んでいるとの声が多く聞かれる（東京都）。
		学校〔大学〕（就職担当）	・円安、物価高がどこまで続くのかにより変動する（東京都）。
	x	求人情報誌製作会社（所長）	・ロシアのウクライナ侵攻が終結しないと難しい。

## 5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (甲信越)		コンビニ（エリア担当）	・金融緩和が続いている間は問題ないと感じている。
		高級レストラン（経営者）	・各種クーポン券の効果もあり、忘新年会も小規模ではあるが、確実に増えてくる。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・今月相談に来た方は、当社で葬儀を行った客から話を聞いてきたという人がほとんどである。また、近隣市町村からの葬儀依頼も増えている。
		商店街（代表者）	・来月から新年度の採寸が始まる。1月からは新入生向けの販売も始まるので期待している。
		商店街（代表者）	・年内は全国旅行支援による人出増加で、期待ができる。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・今後、プレミアム付商品券の発行により、客の消費が少しずつ上がっていくのではないかと期待できる。
		百貨店（店長）	・地方でも普通の生活が戻ってきて、観光客も増えており、売上も少しずつ回復してきている。ただし、重要な顧客である高齢者層の戻りは鈍い。今後の物価動向や新型コロナウイルス感染症の状況も読めないため、3か月後を予想するのは難しい。
		コンビニ（経営者）	・クリスマス等もあるので、売上は上がってくると思う。光熱費などの上昇で、経費の増加も懸念している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（経営者）	・新型車効果もあり、新車受注は堅調に推移すると思われる。新車供給の急激な回復は見込めないものの、受注残が徐々に売上につながると見込んでいる。
		自動車備品販売店（従業員）	・全国旅行支援等が始まり、外出機会が増え、来客数等も前年を超えるものと予想される。
		その他専門店〔酒〕（店長）	・人出が良くなっている。飲食店も徐々に動き始めた様子である。全体的に人の流れが良くなり、忘年会等は3年間できなかったのが、今年こそ今より良くなるのではないかと。
		一般レストラン（経営者）	・この分だと新型コロナウイルス感染症に関する行動制限は緩くなると思うが、円安の影響や全ての物の値上がりは小さな飲食店にとって、非常に大きな打撃となっている。
		スナック（経営者）	・以前の新型コロナウイルスの感染の波と同じような動きなので、同程度かと思っている。新型コロナウイルスオミクロン株用のワクチン接種効果が出てくれることを祈って、希望的な予想をしている。
		スナック（経営者）	・これから年末に向かって忘年会シーズンになるので、飲みに出掛けるケースが増える。ただし、例年とは違い、スタッフ不足やいろいろな問題があるので、客が来てくれても、なかなか全部を受け入れることが難しいなかで、何とか売上を立てなければならない。新型コロナウイルス感染症の影響で、スタッフがかなり抜けてしまっており、現段階では補充が難しい。厳しい状況がしばらくは続く。
		都市型ホテル（スタッフ）	・全国旅行支援が続けば、落ち込むことなく推移していく。しかし、材料費等の価格高騰による消費マインド低下がどこまで影響するかは分からない。支援策の延長等による消費マインド向上に期待したい。
		都市型ホテル（スタッフ）	・来月以降も、外国人のグループを含め、宿泊はかなり増えると予想している。また、官公庁からの忘新年会のリクエストも出始めている。これから、更に良くなっていくと思うが、懸念しているのは電気代、原材料等の価格高騰で、バランスが非常に難しいと思っている。
		遊園地（職員）	・引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されるが、感染対策を徹底し万全な受入体制を整えたとともに、積極的な集客施策の実施や情報発信を行うことで、多くの来園客を期待する。
		百貨店（経理担当）	・価格改定の影響で、購買意欲は上向いている気配がない。
		百貨店（営業担当）	・このところ物価が高騰し、食品、ガソリン、燃料等が軒並み値上がりしている。政府の経済対策に即効性があるのかどうか何ともいえないので、当分景気はそれほど良くならない。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの感染第8波がやってくるらしく、新規感染者数も増えてきているようである。イベントが増えてきているので、前年を超えられるよう頑張りたい。
		コンビニ（経営者）	・いろいろな物の値段が上がっており、客は比較的単価の安い商材に向かっているようで、コンビニ業界はやや厳しい面がある。それでも、来客数はそれほど変わらないので、売上自体は横ばいである。
		コンビニ（店長）	・季節ごとの上下は3か月後となると多少はあると思うが、動きとしては余り変わらないような気がする。
		衣料品専門店（経営者）	・従来、冬季や年明けの1～2月は良くない。
		家電量販店（店長）	・世論に好材料がない。
		一般レストラン（経営者）	・現状のような不安定感が否めない状況が続くそうである。新型コロナウイルスのワクチン接種の状況次第では、良くなるような雰囲気はある。
		スナック（経営者）	・変わらないと回答したが、悪くなるような気がする。これ以上悪くなったらどうしようもないと思っているが、いろいろな問題で、現状ようになったのは初めての経験である。本当に地方は困っている。
		旅行代理店（副支店長）	・全国旅行支援の影響で、需要が増加していることは確かである。ただし、為替相場の不安定さにより、先行きが不透明なこともあり、このまますんなり年末の旅行需要や予約が回復することは難しい。全ての物価が上昇しているため、消費減退となる。現状のまま年末を迎えたとしたら、余り変わりがない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		タクシー運転手	・マスクを外して、新型コロナウイルス感染症の発生前の状況に戻らない限り、今のまま平行線になっていくのではないが。	
		通信会社（社員）	・カタルで開催されるサッカーワールドカップの効果で、4Kテレビの需要は多少高まると思うが、大きな動きにはつながらなさそうである。年度末に向けた刺激策が必要になる。	
		観光名所（職員）	・全国旅行支援は観光事業にとっては有り難い施策だが、いつまでも続くものではなく、中長期的な景気回復への期待は持てない。原材料や光熱費の値上がりによる支出の増加に対して、収入は変わらないのでつらい。	
		その他サービス〔クリーニング〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の影響で消費が減った上に、原油価格高騰がいまだに続いているので、ここ3年は、余り変わらない。	
		設計事務所（職員）	・このまましばらく、人手不足の状況が続くそうである。	
		住宅販売会社（経営者）	・燃料、電気代、原材料価格の高騰等の影響により、経費増加は続いている。	
		商店街（代表者）	・年末に向けての盛り上がり期待したいが、今の雰囲気からは全く期待できない。	
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・ほとんどの物が値上がりしていくなか、買いために、先買いは見られず、消費意欲はますます低下している。半導体不足等の影響で、販売する製品も限られ、価格も都度照会しないとまらない状況で、小売業には厳しいものがある。	
		スーパー（経営者）	・電気料金の上昇や商材価格の値上げに、家計がどこまで耐えられるか疑問である。	
		スーパー（副店長）	・新型コロナウイルス感染症、円安、物価上昇、ロシアや北朝鮮問題等、将来に不安しかない。	
		コンビニ（経営者）	・これから冬場に入るので、今よりは少し悪くなると思うが、前年よりは良くなるのではないが。	
		コンビニ（経営者）	・相次ぐ商材の値上げで、やや悪くなる。	
		観光型旅館（経営者）	・10月は全国旅行支援の開始と行楽シーズンが重なったため、ほぼ新型コロナウイルス感染症の発生前の売上に戻っている。しかし、3か月先の冬の需要を考えると、新型コロナウイルス感染症の発生前は新年会等の団体やインバウンドが多かったが、これらはまだ以前のように回復しないと予想している。また、全国旅行支援に変わる対策等がまだ不明なため、やや悪くなる。	
		都市型ホテル（スタッフ）	・全国旅行支援が終了するので、やや悪くなる。	
	x		その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・今後、光熱費の上昇や物価高騰等、マイナス要因が減れば期待はできるが、そうもいかない状況が続く。
			設計事務所（経営者）	・資材の値上げの影響で、新設物件の計画が停滞している。
		一般小売店〔薬〕（経営者）	・現状では、新型コロナウイルス感染症対策の助成金は今年度で廃止予定になっている。円安対策、日本の競争力、物価高騰を抑制するような補助金等も余り考えられず、政府で徹底的な経済政策をしてもらいたい。そうしないと本当に日本は沈んでしまう。このまま商売が続けられるかどうか、本当に疑問に思う。よろしく願いたい。	
企業 動向 関連  (甲信越)		食料品製造業（営業統括）	・円安に伴い、今年のボジョレーヌーヴォーの価格は、1.5～2倍に高騰しており、酒販店では比較的安価な国産ワインの仕入れを増やす動きがみられる。このような状況を踏まえて、多くの県内ワインメーカーでは、例年の約2倍の製造量を計画している。	
		金属製品製造業（総務担当）	・半導体業界は好調である。	
		食料品製造業（総務担当）	・為替相場の影響次第である。	
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・クリスマス商戦に向かい、ワークショップ等の動きには期待できるものの、商材受注の予測は立たない。いろいろと試行錯誤してできることは進めているが、気掛かりなことばかりである。	
		電気機械器具製造業（営業担当）	・生産量は確保されているものの、部品の不足や遅延が続く、計画どおりには進まない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（経営者）	・しばらくは現在の景気が続くのではないが、今後は、雇用に注意し、一部の資材在庫を増やすように心掛けていく予定である。
		金融業（調査担当）	・製造業は半導体や部材調達難の状況が続くものの、電子部品や生産用機械の受注は、年内は底堅く推移する見通しである。非製造業は観光面で全国旅行支援による需要増加が期待されるが、人手不足感が強まっており、急な需要増加に対応できず、人件費や材料コストの増加が収益面を下押しすることも予想される。
		金融業（経営企画担当）	・全国旅行支援や経済対策による一時的な景況回復はあっても、原材料価格高騰等の構造的な要因が解消されなければ、景況の回復は難しい。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・円安や海外の政情不安等、物価高につながる要素が多く、今後も現状の傾向が続くと予想される。
		食料品製造業（製造担当）	・値上げしたタイミングで、翌月にまた主原料の値上げの話が来ている。せっかく動き始めたところに、水を差された感じではあるが、更なる円安も含め、原材料の天井価格が幾らになっていくのか、いつごろまで続くのか、不安しかない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・値上げの影響で、消費者の購買行動が変化しており、耐久消費財の買換えを控える等の影響が懸念される。
		電気機械器具製造業（経営者）	・製造原価が上がっているため、売上があっても利益が出ない状態が続くそうである。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・11～12月は催事も多く、売上自体は回復してくると思われるが、金、ダイヤモンド等の材料価格高騰や円安で商材の調達が難しくなっている。今後は、1年前の商材と比べて30%から50%近く値上がりしている新商材の価格差から、収益は大きく減少する。
		×	出版・印刷・同関連産業（経営者）
雇用関連 (甲信越)			
		求人情報製作会社（総務担当）	・これだけ社会的に動きが活発になってきているので、普通なら良くなっていく。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着き、経済が動いているものの、国際情勢の動向や物価高騰等が雇用に与える影響に、引き続き十分注意する必要があるため、状況は変わらない。
		職業安定所（職員）	・コロナ禍による行動規制の緩和から、宿泊、飲食業関連の求人は増加が見込まれるが、原材料の高騰や円安等の不安要素もあり、全体としては大きな変化はない。
		民間職業紹介機関（経営者）	・目先の忙しさはあるものの、円安、原材料価格、諸物価高騰等から、来年への不安が高まっている。
		人材派遣会社（営業担当）	・賃金格差が拡大し、貧富の格差がもっと出てくるのではないが、当然、購買意欲も湧かない。旅行に特化した政策だけでは何も役に立たない。
		職業安定所（職員）	・原材料や燃料等の価格高騰や物価高による影響が、生産活動や日常生活において深刻化する。
	×		

## 6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (東海)		一般小売店〔土産〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染症関連の暗い情報は、経済回復を阻害する。しかし、最近は明るい情報が中心になっているため、回復の希望が大きい。
		スーパー（販売担当）	・11月に改装オープンし、客に支持される売場になる。来客数、売上アップを狙う。
		都市型ホテル（経営者）	・一棟貸しの借上げが終了すると痛い。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数はやや増えているものの、行動制限もなく通常に近い生活に戻りつつある。また、全国旅行支援などを活用する消費者の姿が頻繁にマスクで取り上げられ消費行動も以前より活発になっている。具体的には高額品やイエナカ商材、食料品に加えて、婦人、紳士共にファッション関連に動きが出始めている。第8波への懸念や円安、インフレなどのネガティブ要素も多々あるが、新型コロナウイルス感染症発生前に戻った生活や行動への期待感が、景気を後押ししている。
		百貨店（経理担当）	・今後も新型コロナウイルス感染症の影響は見込まれるが、全体的には景気は上向き。ただし、過度の影響は考慮していない。
		百貨店（販売促進担当）	・インバウンドが更に増加し、国内の景況感も上昇すると期待している。
		百貨店（営業企画担当）	・全国旅行支援等の観光喚起策で観光業が潤い、旅行を楽しむ旅行者をテレビや新聞でみることで、消費が上向きになることを願う。
		百貨店（販売担当）	・入国制限が緩和されたため、外国人観光客が増えていけばインバウンド需要の伸びが期待できる。
		スーパー（経営者）	・年末年始を迎え、近隣神社の参拝者増加に伴う来客を期待している。
		スーパー（店員）	・寒くなり、鍋の季節で牛肉や豚肉が順調に売れ始めている。買い控えの様子は余り見受けられないため、値上げの影響は限定的になる。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの大規模な感染拡大がない限り、客の動きは変わらない。ウィズコロナが一般化してマスクをしていない人も増えてきているため、政府が注意喚起をしても、人の動きは変わらない。
		コンビニ（店員）	・年末に入りクリスマスモードとなり、チキンやケーキを買う客が増える。
		コンビニ（商品企画担当）	・依然として新型コロナウイルスの新規感染者数は高止まりしているが、行楽・旅行需要の増加による景気回復を想定する。
		衣料品専門店（売場担当）	・紳士服のスーツ販売は、正月前後の成人式や就活に向けてスーツを購入する客がかなり増えている。今年は女性の方が、早めに下見や購入をする人が多い。
		乗用車販売店（経営者）	・来年に向けて更なる納期改善が予想されるため、購買意欲も高まりそうである。
		乗用車販売店（従業員）	・このままロシアの戦争、中国や北朝鮮の問題などが順調に解決に向かい、突発的に戦争が起こることがなく、新型コロナウイルス感染症が第8波など大きく流行しなければ、年末に向かって良い方向に進む。
		乗用車販売店（営業担当）	・生産状況が改善しない分、先を見越した購入を考える人が増えてきている。納期の影響で商談が流れることが少なくなってきた。
		住関連専門店（営業担当）	・ここ2、3年は新型コロナウイルス感染症の影響で設備投資、住宅などのリフォームを保留又は延期していた現場が動き始めた。大規模改修についても同様に動き始めてきた。
		高級レストラン（経営企画）	・新型コロナウイルス感染症に関する制限が徐々に緩和されるなか、政府や自治体の消費、行動促進施策への期待から、来客数、予約数が10月中旬から伸びている。また、インバウンドも地域によっては大きく増加しており、今後も期待できる。ただし、円安、需給バランスによる物価高が収益に及ぼす影響が計れない。
		観光型ホテル（支配人）	・全国旅行支援の開始に伴い個人の宿泊利用が増加し、宿泊部門は回復傾向にあるが、法人の忘年会予約が新型コロナウイルス感染症発生前と比べ非常に少なく、事業全体で見るとやや良くなる程度にとどまる。
		都市型ホテル（従業員）	・当地域では大型集客施設のオープンや国際的な自動車レースの開催があるため、来客数が増える。
		旅行代理店（営業担当）	・全国旅行支援が続く限りは旅行業の業績は上向きと考える。ただし、今発生している旅行案件も、新型コロナウイルス感染症の第8波が襲来すると半分は取消しが見込まれるため、今後の新型コロナウイルスの感染状況、第8波の動向に注視していかななくてはならない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（営業担当）	・観光関連事業者では、全国旅行支援等による旅行需要の急拡大に合わせて費用を掛けて受入体制の整備を行ってきた。そこへの補助も大事であり、雇用の問題などキャンペーンが終わってからのことも、制度設計としてよく考えてほしい。
		タクシー運転手	・給料が上がらない状況であるが、12月はボーナス時期となる。今の状況から、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言は発出されないと思われるため、忘年会シーズンに入る12月はかなり期待できる。
		テーマパーク（職員）	・インバウンドが増えている。
		美容室（経営者）	・暮れから正月にかけては来客数も増える。
		美顔美容室（経営者）	・キャンペーンセールを12月末まで行っているため、11月から12月に、もう1セットの追加購入を見込む。
		商店街（代表者）	・電気代等を含めて生活に非常に金が掛かるため、なかなか当社の商品にまで予算が回ってこない状況が続く。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数がまた増加傾向になってきたため、先行きが読めない。ホテル関係も、宴会部門が戻ってきているが新型コロナウイルス感染症発生前とは程遠い状況で、上向き始めたがそこからまた停滞しているようである。
		商店街（代表者）	・まだまだコロナ禍の状況次第で景気は左右されるため、分からない。
		商店街（代表者）	・これからウクライナ情勢が悪化に向かう気がして、先行きが不安である。
		商店街（代表者）	・戦争とコロナ禍が終息しないと変わらない。
		一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	・この先がよくみえない。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・飲食店の営業制限が解除されても、客の飲食店利用が大幅に増えるなど新型コロナウイルス感染症発生前に戻ることはない。飲食店に対する客のコロナ禍に伴う行動変容は、定着した様子である。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・足元からは余り変わらずこのままの状態が続く。企業間でのやりとりも活発化し、それに伴い個人にも動きがある。新型コロナウイルスの感染状況が大きく変わらない限り、今の状態が3か月後も続いて変化しないと予想する。
		一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
		一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	・何もかも値上がりが続き、小売店に厳しい状況は変わらない。
		一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・新型コロナウイルス感染症、安全保障上の問題、円安などの不安定要素が多過ぎて、先行きが読めない。
		百貨店（売場主任）	・来月売場がリニューアルオープンするが、売場自体が少し縮小し取扱ブランドも減るため、リピーター客が少し減る。商品内容も少し若者向けになるため、年配客の来店が減り、その分売上也落ちると考える。
		百貨店（総務担当）	・電気ガス等の値下げ対策が発表されたが、食料品を中心とする値上げにより、生活防衛的な消費行動に移ると想定している。衣料品を中心に不要不急の購入などが控えられており、売上は日に日に厳しい状況にある。
		百貨店（営業担当）	・ウィズコロナの生活様式にも慣れて消費マインドは改善しつつあるが、物価高の影響が不透明である。
		百貨店（計画担当）	・コロナ禍についてはまだ一進一退の状況が続いていくと考える。物価高の影響も出始めているため、現状での推移にとどまる。
		スーパー（店長）	・節約志向はまだまだ続くと見込む。
		スーパー（店員）	・まだまだ値上がりが続いているため、客は最低限の物しか購入せず、やはり高い物や必需品以外の物は買いが薄くなってきて、非常に売行きが悪い。
		スーパー（総務）	・新型コロナウイルスの感染状況が消費者の行動に余り関係しなくなってきた。また、物価上昇等がテレビやメディアで報道されているが、客の買上点数は前年と余り変わらず、この状態が続くと考える。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況がこのまま落ち着けばよいが、新型コロナウイルスの新規感染者数が多少なりとも増える傾向にあるため、それが心理的に客の消費に影響を及ぼす。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（商品開発担当）	・新型コロナウイルス感染症対策による自粛は一段落したことで、人流は回復の傾向にあるが、物価の上昇はまだ収まらず、水道光熱費の高騰など生活にまつわるものが伸び掛かる。落ち着いている新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向になってくるとも懸念され安心は全くできないため、変わらないと予想する。
		コンビニ（本部管理担当）	・売上は好調であるが、原価率の高騰で利益の捻出に苦しむ。世間にはぎわいを取り戻し、小売業界は活気が戻り復調気配であるが、手元に残る利益次第では、景気の後退を予見させる。
		衣料品専門店（経営者）	・なじみ客にいかに来店してもらうかを大事にするしかない。
		衣料品専門店（店長）	・世の中では値上げラッシュの影響により消費の冷え込みが続く。極力余分な物は買わず吟味する傾向が客の購買行動に出ている。
		衣料品専門店（売場担当）	・例年であれば、年末商戦ということもあり個人消費が上向き景気も上昇する。しかし、現在の社会動向等をみると、物価上昇による家計負担が大きく、個人消費が現状より拡大するとは思えない。
		家電量販店（営業担当）	・円安と物価高の状況が継続しているため、即座には回復しない。
		乗用車販売店（経営者）	・新車の受注状況は良いが、メーカーからの供給は改善の兆しがみえない。この状況は2年くらい続くと予想する。
		乗用車販売店（経営者）	・景気に大きく影響するような要因が見受けられない。
		乗用車販売店（従業員）	・このままどこまでも景気が上昇するイメージは持てず、具体的な要因も感じられない。しかし、不安はなく問合せもあるので、変わらずいくのではないかと。
		乗用車販売店（従業員）	・全国旅行支援などで自動車が動く場面が増えれば、車の買換え、点検、修理等も増えると期待するが、ガソリン価格は補助が出ているとはいえ高止まりのままであり、楽観はできない状況である。
		乗用車販売店（販売担当）	・本来であれば年末にかけて販売量が増える予定であるが、相変わらず在庫不足が続いており、今後どうなるかわからない。
		その他専門店〔雑貨〕（店長）	・郊外に集客施設が増える限り、中心市街地の地盤沈下は否めない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・原価、燃料等の高騰で、先行きは不透明である。
		一般レストラン（従業員）	・周りの状況を見て少しずつ値上げをしていくが、追い付くかどうか不安である。
		バー（経営者）	・先が読めない。生活様式が変わったので、それに慣れてしまっている。また、地域差もある。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・戦争や円安による物価高の影響がどこまで響いてくるかによって、流れが変わる。
		観光型ホテル（経営者）	・12月から1月もまだ全国旅行支援が続くことが十分考えられる。ただし、本格的に良くなるかは分からない。戦争は長引いており、物価上昇が企業業績に影響してボーナスや消費が冷え込めば相殺されてしまい、完全に良くはならず同じような状況が続く。全国旅行支援の有無、戦争、円安による輸入物価の上昇で経済は冷え込まないかなど、複合的な要素によって今後の景気が決まる。
		旅行代理店（経営者）	・円安、燃油高でアウトバウンドには向かい風、インバウンドには追い風であるが、企業における状況が悪化した場合には、需要停滞が見込まれる。
		旅行代理店（経営者）	・海外旅行や社員旅行など団体旅行が動かないと経営は厳しい。円安、燃油料の高騰、ウクライナの戦争問題などで海外旅行には行きたいが少しちゅうちょしている面がある。地域発の安定した定期便の運航が戻れば、客も海外旅行を視野に入れてくれる。あと一歩のところまできているため、準備をしていきたい。全国旅行支援も、予算が余るなら3月まで継続してほしい。県民割ではメリットはない。
		旅行代理店（経営者）	・大手外食チェーン店のスクラップアンドビルドが進むなかで飲食店では2極化が進む。人口減少による消費の長期減少傾向をいかに乗り切るのかが不透明である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（企画担当）	・物価高、為替、ガソリン価格、エネルギー価格、年金問題など、小手先の対応ではなく明るい将来を見通せる社会、政治を真剣に考える時期にきているのではないか。今のままで、閉塞感から景気回復とはならない。
		通信会社（営業担当）	・半導体不足の影響で、端末がなかなか入ってこない。
		通信会社（営業担当）	・止まらない値上げや在庫不足が解消されない現状から、2、3か月後の安定供給が見込めない。
		通信会社（営業担当）	・特に変わる理由が見つからない。
		通信会社（営業担当）	・現状が続くと考える。
		通信会社（サービス担当）	・新規申込みが増加しても、安い会社への乗換えのため、解約も増えると考え。
		テーマパーク職員（総務担当）	・国が経済対策を行っていても、それ以上に物価上昇が進んでいる。
		ゴルフ場（支配人）	・12月の入場者予約数は前年同日並みに推移している。冬場に入ると降雪の影響が大きいですが、年内はこのまま順調に推移すると見込む。
		住宅販売会社（従業員）	・当分この状況が続くと見込む。
		その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・企業の設備投資と併せて今月は一般住宅のリフォーム工事依頼が増えたため、2、3か月先に着工できる見込みである。
		その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・単価が安定しない限り、なかなか景気が良くなるとは考えにくい。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・これだけ物価が上がると、なかなか花に金を掛けてもらえない。生活は更に厳しくなり、景気は良くならない。
		百貨店（経理担当）	・インバウンドを呼び込む円安のプラス効果は、資源価格の高騰・物価高がもたらす企業業績の悪化や消費マインドの低下によって打ち消され、全体として景気は後退に向かう。
		百貨店（販売担当）	・加湿器の売れ始めが遅かった。来客数は上がっているが販売量は控えめな様子である。
		スーパー（店長）	・買上点数の増加が見込める状況にない。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は、減ったと思ったらまた徐々に増えそうである。外出する機会が多くなると新型コロナウイルスの新規感染者数が増えることを警戒して、皆余り外出しなくなる。
		スーパー（支店長）	・円安が進み続けることであらゆる物が値上げされ、消費者の支出は生活必需品優先となり、嗜好品やぜいたく品への支出がかなり抑えられる。ロシア情勢から始まり、国内の政策や景気対策が芳しくないことで、まだまだ今後も厳しい環境になる。
		スーパー（営業企画）	・商品価格の上昇がまだ続いており、消費も停滞すると見込む。
		スーパー（販売担当）	・電気、ガス、灯油の値段が高止まりで、消費が拡大する要因が見当たらない。新型コロナウイルス感染症の新たな流行やインフルエンザの懸念があり、行動が抑えられるおそれもある。寒波の到来による季節商材の上昇に期待する営業が続くそうである。
		コンビニ（企画担当）	・今後、更に商品値上げの影響が出てくることが予想される。
		コンビニ（エリア担当）	・今月が、新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着き全国旅行支援などの影響も手伝い、来客数のピークに近い状況と思われる。冬季に入り新型コロナウイルスの新規感染者数が増えていく時期になるため、来客数は落ち込むと想定する。
		コンビニ（店長）	・もろもろの商品の値上げによる節約志向で、消費が落ち込んでいる。
		衣料品専門店（販売企画担当）	・単価の上昇で必需品には駆け込み購入が少しみられるが、総じて弱い。
		家電量販店（店員）	・商品の購入を検討する客が減っている。
		家電量販店（フランチャイズ経営者）	・今までは在宅需要で家電が売れたが、新型コロナウイルス感染症の第7波も少し落ち着き、外食や観光の方に人が流れている。周りでも新型コロナウイルス感染者が増え、感染したことを言えるほどにコロナ慣れしている。需要の先食いや値上げの影響もあり、家電は売れなさそうである。
		乗用車販売店（営業担当）	・円安の影響もあり値上げの嵐で支出が大きく増えるなか、収入は増えない状況で、徐々に消費が落ち込むのではないかと。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（従業員）	・新型車種が導入されても発売されて1か月で半年待ちになってしまい、さらに、高額な人気車種の多くは納期が掛かるため受注停止になっており、欲しくても車を買えない状況である。このままでは、車を売りたいとしても売ることができない。
		乗用車販売店（従業員）	・これから更に電気・ガス料金の引上げ、燃料価格の高止まり等、生活に密着した費用が目に見えてかさんでくる。年末に向けていろいろと考えられる必要経費もあり、客の財布のひもは更に固くなる。
		その他専門店〔貴金属〕（経営者）	・海外からの流入で新型コロナウイルス感染症第8波の発生や円安による物価高騰など、年末に向けて不安材料が満載である。消費者の外出意欲や購買意欲が再びそがれることが懸念される。
		一般レストラン（経営者）	・マスコミ等による諸物価上昇の報道の影響が分からないが、消費者が余り金を使わないようになってきた。冬に向けてできる対応を考えて、営業をしていきたい。
		一般レストラン（経営者）	・周囲の雰囲気は少しだけ良いようにも見受けられるが、諸物価の上昇と給与の目減りはどうしようもない。短期的には何とかなくても、長期的にはどのようになるか不安で一杯である。
		その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・光熱費や様々な物の値上げが相次ぎ、購入数や予算を減らしたいという客が増えている。
		都市型ホテル（営業担当）	・不透明な状況が続くが、新型コロナウイルス感染症が拡大しそうな気配である。
		都市型ホテル（総支配人）	・全国旅行支援は12月20日までのため、その後新たな支援がないと新型コロナウイルスの感染状況に大きく左右される。また、光熱費を始め様々な購買品が10%以上値上げされている一方で価格転嫁ができず、先行きは読めない。
		旅行代理店（経営者）	・全国旅行支援が12月20日で一旦終了し、その後の状況が不明である。
		タクシー運転手	・経済政策の効果のみていると、やや悪くなる。
		タクシー運転手	・大企業の年末年始の休みが長く、ビジネスでの利用が少なくなるため1月から2月は悪くなる。
		レジャーランド（職員）	・新型コロナウイルス感染症は過去3回冬の時期に感染拡大をしていることから、今冬においても第8波の到来は不可避と考えている。また、ラニーニャ現象により厳しい冬が予想されることから、外出意欲の低下も想定している。
		観光名所（案内係）	・円安に物価上昇はいずれも大変な問題である。良くなることは考えられない。
		パチンコ店（経営者）	・コロナ禍の収束が進むが、業界全体が以前と比べて沈下しているため客足が鈍っている。いろいろな販促努力が実らなくなっている。
		理美容室（経営者）	・客との話から、物価が段々と上がり生活が厳しくなる。
		美容室（経営者）	・まだまだ物価上昇が続く、光熱費などはもっと家計に負担が掛かってくるため、客の財布のひもは今後ますます固くなっていく。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの影響がある。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・何もしなければ下落する一方である。サービスが他社より劣ってきたのか、あるいは、制度ビジネスなので利用者の判断基準が変わってきたのか分析中である。
		住宅販売会社（従業員）	・本来は、円安が進むなら高くなる前に建てるというマインドも起こるはずだが、物価上昇の話しか聞かないため、買い控えになっている。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・以前よりは打合せが増えてきたため期待しているが、まだまだ時間が掛かる。物価高がブレーキを掛けている。
	×	商店街（代表者）	・商店街立地の地域専門電機店であるが、商店街は完全にシャッター街となり、イベント等を開催するが、日に日に来客数が減ってきている。この流れは続くと考える。
	×	一般小売店〔書店〕（営業担当）	・引き続き為替の影響を受ける可能性が高い。
	×	スーパー（店員）	・11月より担当のカテゴリーで大きな値上げがあり、かなりの影響が出ると見込んでいる。
	×	コンビニ（店長）	・食品の値上げラッシュ、仕入先の廃業や輸送コストの増大などで良くなる要素が見いだせない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	コンビニ（店長）	・前月同様であるが、良くなる要因が全く見つからない。あえて景気に良い変化をもたらす要因を絞り出すと、大型集客施設オープンによる人流増加だろうか。それも一時的、限定的であるならば、悪くなる要因しか見つからない。
	×	一般レストラン（経営者）	・消費者は物価高に振り回されており、外食に使用する予算が減っている。景気は悪くなる。
	×	その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・円安の進行や海外との賃金格差拡大に対して政府は何も手が打てていないように見えるため、当面は消費マインドも下がり続け、景気が好転する気配はみえてこない。
	×	設計事務所（経営者）	・計画から実施設計までは順調にいった3か月ほど期間を要するため、現時点で新規案件がないことは、望みがない。
	×	住宅販売会社（経営者）	・新築住宅が値上がりし、売行きが悪い。
	×	住宅販売会社（従業員）	・金利の動向次第で、少しでも貸付金利が上がれば、すぐに消費マインドが下がる。
企業動向関連 (東海)		-	-
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・航空関連はそれほど回復していないが、航空関連の人材が誘導機器関連の方へ戻ってきている。
		金融業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況が若干収まりつつあること、旅行がしやすくなっていることなど、これまでの規制が緩んで一般国民が以前の生活に戻りつつあるため、今後の景気は良くなる。
		行政書士	・貨物量が少し増加する。
		会計事務所（職員）	・なかなか客足が戻らなかった飲食店も、少しずつ来店者が増えてきている。現在決算を迎えている法人顧問先も、業績が伸びてきている。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・円安で世情は騒がしいが、円安は我が国にとって好都合であり、再び我が国が輝くチャンスが訪れていると考える。どんどん新しく人々の利便となるものを考案していく。日本銀行には、低金利の状態を続けてほしい。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・年末年始は例年なら荷動きが活発な時期となるが、今年は2回目の原材料価格の値上げがあり、製品価格への転嫁は非常に難しく収益面で圧迫を受ける。景気は今と変わらず、悪い状況が続く。
		化学工業（営業担当）	・引き続き半導体向けは生産調整が続く見通しであり、状況は変わらない。2023年春先から需要回復を見込む。
		化学工業（総務秘書）	・アフターコロナの1年目を満喫したい雰囲気があり、当面は人々が活動をおう歌する。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・部品の安定供給が短期的には望めず、現在の生産調整はしばらく続きそうである。
		金属製品製造業（経営者）	・原材料価格が高止まりであるため、利益の確保が難しい状況が続く。
		金属製品製造業（従業員）	・原材料等の価格高騰に対して価格転嫁などが進むかが、収益の鍵になる。一方では仕事量確保のためか安値受注競争もあって、良くなる見通しもない。
		一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売量の見込みから変わらない。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・北米の客からは、金利上昇により設備購入の資金調達が難しく発注できないという情報が入ってくるようになった。円安で価格競争力は高まっているが、設備投資需要が弱まっているため、状況は変わらないと判断する。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・変化は余り見込めない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・年度末に向けてある程度は期待できるが、なかなか難しい状況になっているため、悪い状態が続く。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・株式市場はさもなく全体的な停滞感がある。国内旅行の活発化は進むが、それだけでこの停滞感を打破できるとは思えない。
		建設業（経営者）	・内閣も安定してきていたが、新型コロナウイルス感染症に続いて政治と宗教の問題など、次から次へと問題が発生しており、それに対する対応が遅過ぎる。もう少しスピーディーでないと経済も心配になる。安全策を取るのではなく、スピーディーな対応を求める。
		輸送業（経営者）	・メーカーや大手流通業は原料や仕入コスト高による値上げへの対応に手一杯で、物流業の値上げ要請には消極姿勢が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		輸送業（従業員）	・世間全体が既に新型コロナウイルス感染症発生前に戻りつつあるようだが、一方で様々な経費も上がっている。業種や企業によっては、経費増加の部分が大きい場合もあり、今後注意が必要と考える。
		通信業（法人営業担当）	・円安が続くと庶民の懐にボディーブローのように効いて、財布のひもが固くなる。
		金融業（企画担当）	・個人消費が増えてこない、景気は上向いていかない。ある程度の物価高はやむを得ないとしても、給与の上昇が追い付いてこないと景気は上向かない。給与の上昇には時間を要するため、当面現状の景気が続く。
		不動産業（経営者）	・今後は新型コロナウイルスの新規感染者数が横ばいで推移すると見込まれ、外出や遠出をする人は徐々に増加していくと予測している。今後の売上は徐々に増加していき、前年を上回る状況は継続していく。
		不動産業（経営者）	・様子見の状況は変わらない。
		不動産業（開発担当）	・工事費、分譲価格、売行きに大きな変化が起きそうな心配がない。
		広告代理店（制作担当）	・年末年始に向けてのいろいろなイベントも、大規模なものは控えて予定している企業がみられる。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いても、現状での新聞購読者数の減少と折込チラシが少ない状況は、好転しないと考える。
		公認会計士	・物価高騰に対する政府の経済対策も始まり、主に水道光熱費やガソリン代の負担軽減など一時的には企業のコストも抑えられる。また、円安によるインバウンド需要も年末に向けて効果が出てくる。しかし、例年どおりであれば冬になると新型コロナウイルスの新規感染者数も増えてくる懸念され、良くなる部分とそうでない部分がある。業種によって、観光業、飲食業など景気が良くなる業種と貿易業、不動産業など悪くなる業種とでは大きな差が出てくる。
		食料品製造業（営業担当）	・消費が伸びてこない。嗜好品よりも必需品をそろえる傾向が強く、消費につながらない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・鉄鋼価格だけでなくこん包資材、電気料金やいろいろな経費が増加し、鉄鋼価格分の価格転嫁のみでは吸収し切れず、今後受注量が減る。販売価格に価格転嫁された分、価格高騰が見込まれ、その状況で需要そのものが減少すると考える。
		輸送用機械器具製造業（管理担当）	・いつまで続くかわからない円安と物価高で不安しかない。
		輸送業（エリア担当）	・現場が営業できていない。低単価の大口荷主に頼り切り、忙しいだけになってしまっている。
		輸送業（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、緊急性の高い航空便から船便へ徐々に変更する可能性がある。
		通信業（法人営業担当）	・リモートワークの普及で、人が外に出ず家で過ごす習慣が定着している。これまでのような飲食サービスへの消費行動の減少は必然である。代わりに何か別の消費行動が増えるわけでもなく、将来不安から貯蓄へ向かうと推測する。
		金融業（従業員）	・光熱費の値上げや物価の上昇により、日常生活は支出が増えている。特に冬は光熱費が多く掛かるため、景気は悪くなっていく。
		会計事務所（職員）	・物価高の影響が1件当たりの客単価が下がってきている。明らかに財布のひもが固くなっている。新型コロナウイルス感染症対策の自粛が続いていたときは来客数が少なかったが、現在は、来客数は元に戻りつつある一方で、売上単価が下落しており、利益が出ない構造となっている。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・燃料費、電気、ガス等の値上がりで収益が圧迫されるが、簡単に値上げできない。
	×	鉄鋼業（経営者）	・基本的に製造業全体の生産や設備投資が回復しないと、我々の業界は非常に厳しい。
	×	輸送用機械器具製造業（経営者）	・更に半導体の入荷が悪くなり、生産コストでも電力、油、素材価格、切削工具などの値上がりが見込まれている。機械の値段も軒並み上昇し、見積りと購入価格に高額な差異が出ている。
	×	建設業（役員）	・大手自動車メーカーの減産や物価高による景気の冷え込みの影響が出てくる。客が活発に動く要素がない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	輸送業（エリア担当）	・スーパーの客がセール品や割引品を買い求めるという話から、家計は著しく冷え込んでいることが読み取れる。物価が上がって給料が伸びない状況のなか、自衛手段として消費を控える傾向が顕著に表れており、先行きの景気は上がる余地が丸切りないことを意味している。
	x	通信業（総務担当）	・輸入品のコスト上昇で欲しい物が手に入らないため、物価高の傾向はこれからも継続すると実感している。
雇用 関連  (東海)		-	-
		求人情報誌（営業担当）	・1月、4月入社を見越した転職活動の活発化が予想される。
		職業安定所（職員）	・海外からの入国規制緩和で、外国人労働者の入国が進み、人手不足感の緩和が徐々に進んでいる。
		民間職業紹介機関（窓口担当）	・新型コロナウイルス感染症の影響が少しずつ落ち着いてきており、サービス業等からの求人数も増加している。一方で物価高騰等から求職者の動きも活発になってきており、成約につながるが見込まれる。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・12月ボーナスをもらった上で1月又は新年度入社を目指して転職を考えている潜在層が、そろそろ動き出すトレンドになる。
		人材派遣会社（経営企画）	・特に変化の兆しはない。
		人材派遣会社（社員）	・まだ静観の状況になっており、変化は期待できない。
		人材派遣会社（企画統括）	・行動規制緩和で観光業などは回復の兆しがみられるものの、海外情勢不安や原材料費の高騰、円安、物価高などから引き続き不透明な状況が続いている。
		人材派遣会社（営業担当）	・エンジニア稼働率が高い水準で推移しているため、これ以上プラス方向へ大きく振れることはないと考える。
		人材派遣会社（営業担当）	・円安、物価高はしばらく継続すると見込む。
		人材派遣会社（営業担当）	・円安の影響か、各メーカーが材料や原料のコストを気にしており、派遣活用にシビアになっている。円安は更に進む様相で、メーカーの派遣活用は様子見が続くと見込む。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・半導体、部品供給不足で工場の稼働停止が続き、雇用調整助成金で雇用の維持はできているが、残業時間数が減少し自動車製造業以外の業種へ転職する傾向がみられる。
		職業安定所（所長）	・部品の供給制約、原材料等の価格高騰、円安の影響など、不安材料も多い。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症の影響、原材料の価格高騰、人手不足、10月からの最低賃金の上昇により、先行きが不透明である。
		職業安定所（職員）	・一部の製造業では減産や供給制約がまだ解消されず、事業回復に至っていない事業所もある。長引く原材料やエネルギー価格の高騰は、今後の企業利益に影響をもたらす。
		職業安定所（職員）	・当面の間、円安の影響を受けて物価上昇が続く。エネルギー価格も高止まりしている。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・卒業予定者全員の内定が決まったのが、前年と比較して1か月以上早かった。また、採用機会としての試験回数も期間も、前年と比べ増加している。
		人材派遣業（営業担当）	・円安、原油高、新型コロナウイルス感染症等で景気回復の兆しがみえない。
		人材派遣会社（営業担当）	・求人・求職のアンマッチが多くなっており、採用数が減少していく。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・政府の景気対策はあっても局所的である。ここ最近のマイナス要素は改善されず、全体を浮揚させるまではいかない。人材不足感はあるが、採用についてもコストについても非常にシビアになっている。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・原材料の価格高騰の影響を受ける。
		職業安定所（職員）	・海外情勢の不安定化による資源価格の高騰や円安による輸入品の価格高騰等の影響もあり、景気の先行きには厳しい局面が見込まれる。
		職業安定所（職員）	・原材料の価格高騰、円安等により、ますます経営環境が厳しくなり、企業の採用意欲が鈍くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	-	-

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北陸)		コンビニ（営業）	・全国旅行支援やインバウンド需要により、良くなるとみている。
		一般レストラン（統括）	・前年、前々年と同様に、北陸では11月から海の幸が豊富となり、カニの解禁など外食市場が1年で最もにぎわう時期になる。物価上昇により外食の回数は減ると考えるが、11～12月には県内外から多くの観光客が来るとみている。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症の影響も一段落し、当地の有名な祭りや街めぐり、大規模なマラソン大会などのイベントも予定されており人出も期待できることから、前年より良くなるとみている。
		商店街（代表者）	・物価上昇に伴う商品の値上げが止まらない。また、売れ筋商品を生産する取引先に注文が集中しているため、商品の確保が難しくなっている。その一方で、当地の空港を発着する海外直行便がまだ再開しないこともあり、富裕層が多い台湾や中国からのインバウンド需要が全くない状態である。
		百貨店（販売担当）	・外出や旅行需要に対する支援策次第ではあるが、しばらくは数年ぶりに需要が拡大するとみている。止まっていた衣料品や旅行バッグなどに動きが出ていることに加えて、今年は気温の低下も早く極寒と大雪の予測も出ているため、防寒衣料品も堅調である。インバウンド需要が戻ると更にこの動きが拡大すると考える。しかし、商品価格の高騰に加え各メーカーの製造調整により商品が欠品するおそれがあり、この冬は商材確保の可否による売上の変動を懸念している。
		衣料品専門店（経営者）	・政府の経済対策で人の動きが出てきていると同時に中心市街地回帰の動きも出てきている。
		衣料品専門店（経営者）	・社会が落ち着きを取り戻すにつれ、景気も回復してくると考える。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・地方では回復が遅れ気味だが、都市部ではイベントや外出、外食が回復してきており、地方もやがて同じ状況になるとみている。また、今後も継続的に旅行関連の利用者が増えるようであれば物販の回復が期待できる。一方で、原材料費の上昇に起因した各種値上げに対する生活防衛は一層厳しくなると考える。日常の消費は必要最低限となる懸念があり、急激な回復は期待できない。
		一般レストラン（店長）	・ようやく外国人が来店する姿も見え始め、良くなることを期待している。
		観光型旅館（スタッフ）	・全国旅行支援が開始された影響で予約が大幅に増加しているが、個人客が主で団体客がまだ少ないため、宿泊人数が増加しない状況が続いている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染症の第8波が心配だが、今の予約状況からは回復傾向が継続するとみている。ただし、新型コロナウイルス感染症が拡大すれば、また予約のキャンセルが発生するとみられ、心配している。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの新規感染者数が余り増加しなければ、年末年始は利用客が増加すると考える。
		タクシー運転手	・貸切りなどの予約が来月も順調に入ってきている。
		通信会社（営業担当）	・新生活の準備期間に入り、需要が増加するとみている。
		通信会社（役員）	・円安により地元製造業の業績が好調であり、ボーナス商戦時期には新規契約者数の増加が期待できる。
	競輪場（職員）	・毎年、売上が年末に向けて良くなる傾向がある。	
	一般小売店〔精肉〕（店長）	・外ではぜいたくをして家では質素というわけではないと思うが、数か月前から豚肉の売行きが良く牛肉の売行きが悪くなっており、売上が伸びない状態が続いている。今後予定されているプレミアム付商品券などの発行に期待したいが、前年とは異なり外食の動きが出ていることから、3か月前と変わらない動きになると考える。	
	一般小売店〔鮮魚〕（役員）	・売上は新型コロナウイルス感染症発生前に戻りつつあるが、仕入原価が高騰しており、利益が増加しない。	
	スーパー（店長）	・物価高騰はまだ続くとみている。また、これ以上円安が進むと、経営が厳しくなる企業が更に増えてくると考える。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（仕入担当）	・一時的な販促による効果は見込めるが、継続的なものではない。ただし、物価高が続くなかで食品の買上単価の上昇により、来客数や買上点数のマイナスをカバーできるとみている。
		コンビニ（店長）	・2～3か月では、現状とそれほど変化はないと考える。しかし、今後更なる値上げによってこれまで同様に単価上昇が続いた場合、来客数が一気に激減しないか不安である。現在も週末や祝祭日、イベント時の売上は数年前と比べ減少している。イベント時の昼食購入先がコンビニから他へシフトしているようで、実際に近辺のイベント主催者の話によると、飲料などはスーパーでまとめ買いをしているということである。
		コンビニ（店舗管理）	・コロナ禍で各種経済対策やキャンペーンが維持されるため、この状況が続くとみている。
		家電量販店（本部）	・新型コロナウイルス感染症の影響はほぼなくなってきている。ただし、食品や日用品等の値上げの影響が大きくなりそうである。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車販売においては新車の納期遅れが依然として続いており、しばらくは変わらないとみている。
		乗用車販売店（役員）	・政府による為替介入も影響は限定的であり、国内景気が良くなる要素が全くない。
		自動車備品販売店（役員）	・新車の納車台数が回復していない状況では見通しは暗い。車の乗換えをやめてメンテナンスに金を使う客もいるが、売上をカバーするには至っておらず期待が持てない。
		住関連専門店（役員）	・記録的な円安や経済不安、新型コロナウイルス感染症の第8波への懸念、消費が家の中より外に向いているなど、売上が回復傾向に向かう材料が見当たらない。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・これ以上悪くなってほしくないという思いだが、10月に入って朝晩の冷え込みが厳しくなっており、当店の売上も冷え込んでいる。
		高級レストラン（スタッフ）	・物価高で生活コストが掛かるなか、当店は単価の高い店舗であるため、勢いが付かない状況が続くと考える。
		スナック（経営者）	・新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどのニュースが流れたり、国内外でいろいろな情勢変化が起こったりしており、先の見通しが立たない。
		観光型旅館（経営者）	・12月20日に旅行支援が終了するまでは良い状態が続くが、それ以降は年末年始以外の空室が目立っている。
		通信会社（営業担当）	・物価が上昇し消費者の財布の状況が厳しいように見える。高い機種は余り好まず、手頃で購入可能な機種を選択する客の姿が見受けられる。
		テーマパーク（役員）	・個人旅行者については徐々に動き出しているものの、全国旅行支援の補助額上限に達し、利用のピークが落ち着いている。海外や団体客の予約は依然として動きが鈍く、全体としては今と変わらない状況で推移すると考える。
		美容室（経営者）	・年末商戦を控えて、新型コロナウイルス感染症の第8波とインフルエンザの流行が心配である。
		住宅販売会社（従業員）	・個人住宅の受注はまだ様子見で進行が遅く、リフォームの受注で売上をカバーする状況が続くとみている。
		住宅販売会社（従業員）	・土地を探す客が動き始めている。
		住宅販売会社（営業）	・良くなる要素が全く見当たらない。
		商店街（代表者）	・全国旅行支援で人の動きがあると、当然新型コロナウイルスの新規感染者数も増加して人出が減少する。値上げをできる企業は良いが、立場の弱い小売店などは自社の利益を減らして対応するしかない。冬のボーナスも期待できず、景気回復にはまだ程遠いと考え。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	・来月以降も各種値上げは続き、当社の取扱品については、今のところ良くなる兆しがみえない。
		百貨店（売場主任）	・原材料価格や電気料金の高騰でインフレとなり、消費者の生活防衛意識が強まるため景気は後退すると考える。
		百貨店（販売促進担当）	・年末に向けて帰省や年越し準備などで来客数は増加するだろうが、物価高や光熱費の上昇など家計に影響する情報が多く、節約志向になるとみている。食品や住関連といった商材は価格志向になり、買上単価の低下による影響が出ると考える。
		スーパー（総務担当）	・最低賃金が上昇したことで固定費が増えたことや、水道光熱費も上がっていることから景気は悪くなると考える。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（経営者）	・物価の上昇が続いているなか、もう一つの不安材料である新型コロナウイルスの感染拡大とインフルエンザの流行により、消費が途切れないことを望んでいる。
		家電量販店（店長）	・電気料金の高騰などで出費が多いことから、必要品以外の購入にはつながらないと考える。
		家電量販店（店長）	・値上げされた商品が多く物価が上昇していることで、買上点数が前年と比べて下がっており、必要な物しか購入しない傾向が出てきている。
		都市型ホテル（役員）	・12月に全国旅行支援が終了するとともに、国内の物価高による消費抑制があいまって、国内宿泊客の反動減があるとみている。インバウンド客は増加傾向にあるが、高級路線のホテルに集中しており、国内宿泊客の減少を補うことは難しいと考える。
		旅行代理店（従業員）	・各種支援策が打ち切られれば、一旦静かになると考える。
		通信会社（職員）	・円安による物価高など、経済不安がある。
		通信会社（役員）	・半導体不足が解消されていないほか、今後更に物価が上昇すると見込んでいる。
		パチンコ店（経理）	・円安や物価高騰により、パチンコ業界に対する消費が減少するとみている。
		その他レジャー施設 [スポーツクラブ] (総支配人)	・会員の増加がほぼ期待できない。何とか売上を現状維持しているところに、電気料金や燃料費などの上昇による経費の増加が確実に進んできており、下半期は期待できない。また、新型コロナウイルス感染症でスタッフの戦力ダウンはまだまだ続きそうであり、会社への悪影響は避けられないと考える。
		住宅販売会社（従業員）	・新規の見込み客がなかなか現れない状況であり、今後の新規契約者数及び契約金額が目標に届かない状態が続くとみている。また、新規の土地販売にも供給に時間が掛かるため、厳しい環境が続きそうである。
	×	一般小売店[事務用品]（店長）	・円安による物価上昇の影響で、生活に必要な最小限の商材しか購入しないことが増え、業界によってはかなり厳しくなると考える。
	×	スーパー（店舗管理）	・可処分所得の増加は見込めず、経費のみ増加している。高齢化と人口減少が起こっている地方では、買上点数を増強させようにも頭打ちの状態である。
	×	乗用車販売店（従業員）	・身近な物の価格高騰により、買い控えが続くとみている。
企業 動向 関連 (北陸)		-	-
		化学工業（総務担当）	・来月以降の受注高は増加する予定である。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・国内産業用の関連部品や海外向けのオートバイ用部品は、依然として堅調な受注状況で推移している。足元の急速な円安は輸出面で大きくプラスに働いているが、各種購入品等の値上げ傾向が利益を押し下げており、価格転嫁がどこまでできるかが課題である。当面はこの状況が続くとみている。
		精密機械器具製造業（財務担当）	・海外からの入国制限が緩和されたことで、消費がやや上向いてくると考える。
		輸送業（管理会計担当）	・行動制限の緩和や外国人観光客の増加を含む人流の増加により、物量の回復が期待できると考える。
		通信業（営業）	・全国旅行支援の開始により、低迷していた飲食業やホテル等の宿泊施設における積極的な投資を期待したい。
		税理士（所長）	・製造業や建設業では、強気な需要を予測している中小企業経営者が多い。しかし、依然として半導体不足の影響で原材料が十分に入らず、売上にブレーキが掛かっている。今後その状況が改善すれば円安の影響もあり、輸出関連を中心に売上は上がっていくと考える。ただし、賃金が上がらなければ一般消費が落ち込んでしまうため、賃金が上がるかどうか最大の心配事である。
		食料品製造業（経営企画）	・年末年始の需要期を迎えることで、景気は若干上向くだろうが、コストの上昇傾向が収まるわけではなく、プラスマイナスゼロくらいとみている。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・食品からエネルギーに至るまで、製品値上げの動きが相次いでおり、消費の落ち込みを懸念している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（融資担当）	・コロナ禍の反動と円安進行を背景に、工作機械メーカーの海外受注が増加している。輸入部材の価格上昇を、受注の増加が補っている状態である。全国旅行支援により観光業、飲食業は増収傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症発生前までには回復していない。円安や原燃料価格の高騰が続いており、価格転嫁が進まず採算が悪化する企業が出ている。
		繊維工業（総括）	・世界的な景況悪化による消費の冷え込みにより、受注の減少を懸念している。
		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の受注状況のみで、やや悪くになると考える。
		建設業（経営者）	・円安や電気料金の値上げ、食料品や原材料費の値上がりなど、景気はますます低空飛行に移行すると考える。
		建設業（役員）	・円安基調など先行きの景気動向が不透明であり、業界全体を含めて設備投資が抑制されることを懸念している。
		輸送業（役員）	・円安による物価上昇が、当社や当社荷主の経営状況を悪化させると考える。
		金融業（融資担当）	・円安の傾向は1ドル150円を挟んでしばらく続くと思われる、原材料価格の高止まりを見込んでいる。それに伴って取引先の破産や廃業等が増加しており、しばらく続くのではないかと考える。
		不動産業（経営者）	・急な物価上昇により、一般客の購買力が減少している。
		司法書士	・助成金等で持ちこたえてきた会社や個人商店が事業廃止を決めたため、加入していた商店街振興組合や事業協同組合の解散が多くなっている。
	x	-	-
雇用 関連 (北陸)			
		新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・クリスマスシーズンや年末年始など、消費活動が活発になる時期を迎えて各企業の営業活動も活性化する。前年よりもクリスマスイベントなどが増加傾向にあり、季節要因もあいまって、景気は上昇傾向になると考える。
		民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の収束後に備えて、人材確保の動きが出てきたとみている。
		求人情報誌製作会社 (編集者)	・大きな雇用の話が出てきていない。
		職業安定所（職員）	・人が動くようになり金も回るようになったが、年末に何が起きるか分からないため、変わらないとみている。
		職業安定所（職員）	・物価や光熱費等は高騰しているが賃金の上昇はなく、家計にゆとりが無くになると考える。
		職業安定所（職員）	・製造業では原材料の物流が回復したことによる求人数の増加がみられたが、全体としては慢性的な人手不足や、会社の人員構成で高齢者の比率が高いことによる求人を出している事業所が多いことから、景況が好転に転じるとは言い難い。
		学校〔大学〕（就職担当）	・円安傾向が続き、求人数については状況が変わる要素や気配が見受けられない。
		人材派遣会社（役員）	・物価高や円安が派遣先企業の業績に影響を与え、派遣スタッフの賃金アップに圧力が掛かることにより、利益が減少する可能性がある。
		人材派遣会社（社員）	・全国旅行支援のスタートや、それに伴う新型コロナウイルス感染症の第8波、インフルエンザの流行などにより、求職者数が減少するとみている。求職者はよほどの好条件でない限り、求人に歩み寄らないのではないかと考える。
	x	-	-

## 8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)		一般小売店〔野菜〕 (店長)	・コロナ禍が続いているが、収束に近づいていることを含めて、今後に期待できる。全国旅行支援で人が動き始めており、後は飲食店も通常の動きに戻ってくる。
		百貨店（企画担当）	・年末年始や1月の春節に向けて、観光客の増加を予想している。ただし、中国本土からの旅行客の増加については、もう少し先になると考えている。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスやインフルエンザの感染が想定以上に広がらない限り、インバウンド客の増加を追い風に、冬物衣料や化粧品、時計、宝飾品などで、以前の水準を超える動きが予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（服飾品担当）	・外国人客の来店が更に増えることが見込まれ、新型コロナウイルス感染症の発生前のような、化粧品の動きが復活する。また今後の年末商戦でも、コロナ禍からの解放感から、ラグジュアリー関連を中心に消費が活性化すると予想されるため、クリスマスなどでの売上の伸びが期待される。物価の上昇による消費の停滞も、高額でも良い商品が欲しいというニーズが功を奏し、むしろ売上アップの要因になっていると感じる。
		コンビニ（店員）	・多くの外国人客がみられるが、国内客も増えている。年末年始に向けて多くのイベントが開催され、コンビニでも多くの企画が展開されるとみられ、少しずつ景気が良くなっていくと感じる。
		高級レストラン（企画）	・インバウンド客の回復で宿泊収入が増えている。宿泊稼働率や客単価が上昇しているほか、企業の宴会需要が増え、宴会収入も増加している。
		都市型ホテル（管理担当）	・全国旅行支援による来客数の増加や、入国規制の緩和によるインバウンド客の増加で、宿泊稼働率が上昇しているため、増収が見込まれる。
		競輪場（職員）	・年末年始の時期であるため、今よりも客単価は伸びる。ただし、前年と比べて客単価が3000円ほど低下しているほか、原油価格の上昇や円安、物価の上昇、社会情勢の変化などで、先行きは見通せない。
		商店街（代表者）	・この調子が続けばよいが、まだまだ安心できない。
		一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・インバウンド需要がかなり見込まれる。
		一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・気候が良くなって、人の動きが活発になり、商品も動き出すことを期待している。
		百貨店（売場主任）	・高額品の売上が継続的に伸びている。
		百貨店（売場主任）	・ウクライナ情勢次第という部分もあるが、このまま緩やかな円安傾向が続けば、好調が維持できると予想される。
		百貨店（マネージャー）	・コロナ禍の影響の更なる緩和を期待するとともに、インバウンドの飛躍的な増加も予想されるが、中国からの客はまだまだ少ないため、今後の回復に期待が掛かる。
		百貨店（マネージャー）	・今後は国内外の旅行などで人流が更に活発になり、関連する需要が増えると予想される。年始のおせちの事前予約は、数量ベースで前年よりも40%増えるなど、好調な足出となっており、帰省や年末年始の会合の活発さが感じられる。また、海外からのインバウンド需要も期待できるなか、懸念材料としては光熱費を含めた調達コストの上昇である。
		百貨店（サービス担当）	・来月からは、新たな高級ブランドショップや新店舗を導入することで、来客数の増加につながる。また、入国制限の緩和により、インバウンド客の増加が予想され、売上の拡大が期待される。
		スーパー（店員）	・年末年始に向けた買い出しにより、今よりも売上の増加が見込めるが、売上目標や前年の水準を上回るためには努力が必要となる。
		スーパー（企画担当）	・値上げの影響による、買上点数や客単価の悪化が落ち着いてきたと感じる。エブリデーロープライスの施策がうまく機能しており、年末商戦に向けて徐々に回復が進むと予想される。
		コンビニ（経営者）	・周辺ホテルへの出張客や観光客、さらには外国人観光客がかなり増えそうで、来客数の大幅な増加が期待できる。値上げによる来客数の変化は余りなく、客単価の上昇による売上の増加も同時に期待される。
		衣料品専門店（店長）	・コロナ禍に伴う制限がなくなりつつあるなか、人流や客の行動をみても、日常生活を取り戻しつつある。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	・そろそろ良くなってもらわないと困る。
		家電量販店（経営者）	・商品の供給が改善すれば、販売量が伸び、景気の回復につながる。
		家電量販店（人事担当）	・ネガティブな要素が多いなかで、やはり年末年始の需要に期待が高まる。今年は厳冬となる予測もあり、暖房器具などの季節商材や、省エネにつながる商品のほか、リフォームなどの動きに期待している。
		乗用車販売店（販売担当）	・物価上昇の影響は続くものの、半導体不足の影響自体は徐々に回復すると予想される。少しでも回復することを期待している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（販売担当）	・メーカーの生産台数が回復すると聞いている。急激な回復は望めないが、ある程度の回復は期待している。
		その他専門店〔食品〕（経営者）	・今年では忘年会などの再開に期待しているが、以前の動きに戻ることはない。当地域については、中国人観光者が戻ってきて、初めて以前のにぎわいが戻ると予想される。
		高級レストラン（スタッフ）	・人出は増加傾向にあるが、新型コロナウイルスの感染がまた拡大すれば、どうなるか分からない。
		一般レストラン（企画）	・ウクライナ問題や円安などによる原材料、エネルギー価格の高騰はマイナス要因であるが、販売量の回復が続くと予想している。
		一般レストラン（店員）	・年末にかけて、飲み会や宴会など、人の集まる機会が増えるため、今まで以上に良くなることを期待している。
		一般レストラン（店主）	・全国的に人が動き出し、外国人客も増えつつあるため、地元の客も少し動き出すと予想される。
		その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・全国旅行支援が始まったため、旅行に行く動きが増えている。それに伴い、景気全体については、今後2～3か月は安定していく。
		観光型ホテル（経営者）	・この3年間、観光業は壊滅的な打撃を受けた。コロナ禍の収束とまではいかないが、落ち着きが見られると同時に、観光の動きが出てきている。
		観光型旅館（経営者）	・年明けも全国旅行支援が続くことを見込んでいる。
		観光型旅館（経営者）	・以前のGo To Travelほどではないが、これまで旅行を我慢していた反動が出ている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・忘年会や新年会、賀詞交換会の予約が順調に入っているが、立食パーティーを開催できないことが、ホテル、利用客とともに厳しいところである。この業界で問題になっているのが、配膳のアルバイトの人手不足であり、コロナ禍で職を失ったアルバイトが他業種に移ったこともあり、全く人が集まらない。賃金も高騰している。宿泊は全国旅行支援で忙しくなっているが、やはり高級ホテルに需要が偏っている。ホテルごとに予算枠があれば、満遍なく回復できると感じる。一方、レストランは満席の日が続くなど、需要の高さが目立っている。
		都市型ホテル（販促担当）	・全国旅行支援の効果には限りがあるが、訪日旅行は今後も増え続け、円安の好影響も期待できる。
		都市型ホテル（客室担当）	・旅行は自粛傾向にあったが、全国旅行支援のお陰で来客数が増えている。秋の観光シーズンの予約も前年の8割ほど受注している。
		都市型ホテル（総務担当）	・全国旅行支援に加え、海外からの宿泊客も増えることが期待されるが、飲食関係の利用の回復は緩やかなものにとどまる。
		都市型ホテル（販売促進担当）	・宿泊部門は全国旅行支援の影響もあり、12月までは好調が続く。レストランや宴会部門が急激に良くなったとは感じられないが、レストランでの20人前後の団体客の問合せなどが増えている。
		旅行代理店（店長）	・全国旅行支援が終了しても、コロナ禍が落ち着けば、海外需要も徐々に回復すると予想される。
		旅行代理店（役員）	・海外旅行の復活が期待される。
		タクシー運転手	・新聞でも全国旅行支援のチラシが多く、百貨店や駅周辺では人でにぎわっている雰囲気を感じる。
		タクシー運転手	・入国規制の緩和に伴い、少しずつインバウンド効果が出てくる気配がある。今後は、中年層以上が安心して外出できる環境に変わってほしい。
		タクシー運転手	・駅や街が観光客でにぎわっている。
		通信会社（社員）	・冬商戦に期待している。今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況にもよるが、出張販売でイベント感を醸成して客との接点を増やし、販売の増加につなげていきたい。
		観光名所（企画担当）	・今の状態が続けば、通常期には届かなくとも、緩やかな回復によって一息つけそうである。新型コロナウイルスの感染第8波が来ないことを祈るばかりである。
		遊園地（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の推移に反比例して、業績が変動する傾向は変わらず、新規感染者数が落ち着いている今は、業績が回復している。年末年始に向けて、新型コロナウイルスの感染が拡大する懸念は拭えず、楽観視はできないが、客の様子をみる限り、コロナ禍でも極端に消費活動を抑制する傾向は弱まっているように感じる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他レジャー施設 [ 飲食・物販系滞在型 施設 ] (企画担当)	・新型コロナウイルスの感染第8波が発生するかどうか、それに対してどのような対策が採られるか次第であるが、このまま対策の緩和傾向が続けば、インバウンドも含めた観光客は増加傾向が続くと予想される。
		住宅販売会社 (経営者)	・コロナ禍の収束により、短期的には改善する方向に向かっている。
		住宅販売会社 (総務担当)	・新型コロナウイルスの新規感染者数は減少傾向で収束気味となっており、徐々に来客数も増えてきている。
		その他住宅 [ 住宅設備 ] (営業担当)	・当社は8月の決算でまずまずの業績となったため、例年にはない決算ボーナスが出ている。
		一般小売店 [ 珈琲 ] (経営者)	・国内消費は物価の上昇によって減退すると予想されるが、海外からの観光客による消費には期待できる。
		一般小売店 [ 時計 ] (経営者)	・全国旅行支援が始まり、観光地がにぎわっていると聞く。時間や財布に余裕のある人は、旅行をしないと損といった話をするが、いくら支援策があっても、お金も時間もないという現実的な話も聞く。年末に向けて、生活の格差がはっきりと感じられ、景気が安定的に良くなるという実感が持てない。
		一般小売店 [ 呉服 ] (店員)	・生活必需品ではなく、高額品を扱っているため、買い控えが発生している。
		百貨店 (売場主任)	・インバウンド需要の増加やコロナ禍の鎮静化による消費の増加など、良くなる要素もあるが、世界情勢の不安定化や、急激な円安による物価の上昇といったマイナス要素もある。所得が増加せず、物価の上昇に歯止めが掛からないのであれば、消費の大きな増加は期待できない。
		百貨店 (企画担当)	・新型コロナウイルス感染症の影響はほぼないように感じるが、来客数は減少したままである。もう今の状態が普通と考えざるを得ず、今後は物価の上昇による買い控えが懸念される。
		百貨店 (マネージャー)	・新型コロナウイルスの感染第7波は収束したものの、冬場に差し掛かり、インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行による外出の敬遠や、物価の上昇による余波で、景気の大規模な回復は見込めない。
		百貨店 (売場マネージャー)	・コロナ禍の沈静化で、来客数や周囲の人流は増加傾向にあるが、円安や原料価格の上昇などで、食料品や雑貨などの日用品の価格は上昇傾向にある。消費者の生活防衛意識が強まっていると感じられ、消費動向は厳しさを増すと予想される。
		百貨店 (販売推進担当)	・物価上昇の問題もあり、必要な物しか買わない状況が続く。
		百貨店 (店長)	・新型コロナウイルスの感染第8波への懸念もあるが、更に根本的な郊外百貨店の存続問題は、以前から解決されていない。業態変換などの対応が進まないうちは、良くなることはない。
		百貨店 (外商担当)	・インバウンド売上の増加や、高額品の堅調な売上が続くが、またもや新型コロナウイルスの感染第8波の発生が予想され、消費マインドが冷え込む可能性がある。
		百貨店 (営業推進担当)	・全国旅行支援によって人の動きが活発化し、それに伴う需要は喚起されるが、物価の上昇による不調も続くため、結果的にやや悪化の動きが続くと予想される。
		スーパー (経営者)	・経済対策の効果で、どのようになるか不透明である。
		スーパー (経営者)	・ここ1~2か月は、各自治体でプレミアム付商品券の販売といった、消費喚起策が講じられる。その一方、来月以降も値上げの動きが続くほか、年末にかけて、新型コロナウイルスの感染第8波の到来やインフルエンザの流行が心配される。
		スーパー (店長)	・今の状態が続く、厳しくなると予想される。プレミアム付商品券の効果が出るかどうかは不透明である。
		スーパー (店長)	・人の動きは新型コロナウイルス感染症の発生前に戻りつつあるが、物価の上昇が厳しいため、今以上の回復は厳しい。
		スーパー (店員)	・この先も値上がりが続くと厳しい。
		スーパー (経理担当)	・最大の商戦であるクリスマスや年末年始を控え、物価上昇の影響が広がるのか、それとも久々に行動制限のない年末で消費が盛り上がるのか、今は判断が難しい。ただし、インバウンドも戻りつつあり、忘年会や新年会の需要も高まることで、盛り上がる可能性が高いと感じる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（社員）	・物価の上昇により、当面は客の節約志向が続く。そのなかで、生活必需品である食品の売上は堅調に推移すると予想される。
		コンビニ（店員）	・様々なイベントが再開され、人出が増えている。
		コンビニ（店員）	・景気が上向き要素が見当たらない。
		衣料品専門店（販売担当）	・円安ドル高で様々な物の価格が高騰している。材料の値上がりなど、商品の値段を上げねばならない状況が続くため、販売量が減る。
		家電量販店（店員）	・コロナ禍が落ち着いてきて外出が増える一方、電気やガスなどの値上げで家計が圧迫されているため、財布のひもは固い。
		乗用車販売店（経営者）	・新車の注文はあるが、納車までに時間が掛かるため、余り売上が増えない。
		乗用車販売店（営業担当）	・車両の供給不足が続くため、今後も状況は変わらない。
		乗用車販売店（営業企画）	・まだ様子見の動きが続くと感じる。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	・政府の経済対策や行動の決定が余りにも遅く、国民全てが苦しい思いをしているため、早く手を打ってほしい。
		その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	・来客数は増加傾向にあるが、当社は食品や日用品などの生活必需品の売上が中心である。化粧品の売上も堅調であるが、大きなプラス要因はなく、しばらくは現状の動きが続く。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・全国旅行支援などで、週末を中心にガソリンの販売量は前年比で増えている。12月の終了までは堅調に推移する見込みであるが、社会全体の景況感が変わらなると予想される。
		その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いてくるとともに、消毒液やマスク、パルスオキシメーターなどの受注が減り、衣類などの通常注文が増えてくる。
		一般レストラン（経営者）	・物価上昇の一方、給料の上げられない状態が続いているため、消費者の購買意欲が高まらないことは間違いない。割引やキャンペーンが終了した後の不安が高まる一方、今後も物価やエネルギー価格の上昇や円安傾向が続く、仕入面や経営に甚大な影響が出る。販売価格を上げざるを得ないなど、先の見えない不安から、いつまでも悩みが尽きない。
		観光型ホテル（経営者）	・年内は全国旅行支援があるため、新型コロナウイルスの感染が拡大しない限り、今の客の動きが続く。既に11月は、大半の日で予約をストップせざるを得ない状況である。
		ゴルフ場（支配人）	・予約状況や売上単価は上向きの傾向であり、今後も同様の動きが続くと予想される。
		競艇場（職員）	・SGやG1などの全国発売の競走も、売上はほぼ前年並みであり、高い水準で推移している。特に、電話投票やインターネット投票の売上は安定しているため、しばらくは今の状況が続くと予想される。
		その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	・コロナ禍に伴う規制が緩和され、人の動きは活発化している。今後はインバウンド効果が期待できるが、原材料価格や物価の上昇、賃金の低下で消費者の負担感が増しており、当分は景気の回復が見込めない。
		その他レジャー施設〔複合商業施設〕（職員）	・急激な円安や資源相場の上昇によるインフレで、消費マインドが悪化する。
		その他レジャー施設〔球場〕（経理担当）	・コロナ禍はまだ収束していないが、プロ野球は今年も人気試合が開催され、来場客は前年以上となった。なお、3か月後の状況は不透明であるため、現状と変わらないと予想している。
		美容室（店員）	・年末に向けての予約状況から、客は確保できそうであるが、物価の上昇に伴い、店の商品も少しずつ値上がりしているため、客単価のアップが見込みにくい。
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・住宅市場は約3年間の好調からの転換が始まっている。物価の上昇により、経済環境の改善は見込みにくい。
		商店街（経営者）	・生活必需品の値上げが、年末年始にかけて続く。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	・今後はインフルエンザと新型コロナウイルスが同時に流行する懸念が大きいほか、物価の上昇による買い控えも増えると予想される。先行きが不透明ななか、景気が良くなるとは決して思えない。
		一般小売店〔花〕（店長）	・電気、ガス料金の値上げで買い控えがみられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（売場マネージャー）	・円安傾向の継続や、物価やエネルギー価格の高騰により、消費の冷え込みが予想される。
		百貨店（商品担当）	・物価の上昇や世界情勢の変化、円安の動きにより、客の心理的、金銭的な不安が更に高まると予想される。
		百貨店（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大が懸念されるほか、食品を始めとする値上げが続く可能性もあり、厳しい状況が続く。
		スーパー（店長）	・原価の高騰による価格上昇の影響で、単価の高い商品の買い控えが起きる。
		スーパー（企画担当）	・賃金が上がらないなかで、円安やインフレが続き、消費マインドの冷え込む状況が続くと予想される。
		スーパー（開発担当）	・相変わらず賃金が上がらないなかで、物価だけが上昇している。客も激安店に行く動きが増えている。
		コンビニ（経営者）	・割引クーポン券の使用期限が迫っているため、これまでの好調の反動で、売上は5%ほど減少すると予想される。
		コンビニ（経営者）	・10月から酒類の値段が上がり、ディスカウントストアに行く客が増えたため、小売店は厳しい状況にある。
		コンビニ（店長）	・広範囲にわたる値上げは、家計に相応なダメージを与えている。今後は買い控えなどが目立ってくると予想される。
		コンビニ（店員）	・客には高齢者が多く、年金生活者は決まった金額を受け取っているため、景気に余り左右されない。ただ、いろいろな物が値上がりして厳しいという話が増えており、買物の量も少し減っている。
		衣料品専門店（店員）	・時給は上がっても、年間の給料に大きな変化はない一方、物価は変わらず上がっているため、悪くなると予想される。
		家電量販店（店員）	・量販店の良さは、客への提案ができるという強みがあることである。今まで買い控えていた客が、ボーナス支給などのタイミングで、必要な物は購入に向かうと考えている。厳しい状況は12月が山場であってほしい。
		家電量販店（店員）	・現在は値上げのニュースが多く、慌てて来店する客が多いが、売上の先食いをしているだけであり、数か月後に苦しくなるだけである。
		乗用車販売店（経営者）	・円安や物価の上昇で、消費者心理が冷え込んでいる。
		乗用車販売店（経営者）	・仕入価格の乱高下が始まっており、安心して販売価格が決められない。直近もたった半月で値崩れを起こしている。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・全体的な値上げによる影響で、買い控えがみられる。これまで余り感じられなかった値上げが、身近に迫っている危機感がある。
		その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・日々の生活のなかで、あらゆる物が値上がりしており、ついでの買物に対しても価格への意識が厳しくなる。目的買いの客も徐々に減りつつある。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（総括）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減ってきているが、来客数や販売数は伸びていない。物価や水道、光熱費の上昇を受けて、財布のひもが固くなっている。旅行や外出の機会は増えているが、ファッションテナントに先物買いの動きは見られない。
		その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・必ず新型コロナウイルスの感染第8波は到来するほか、値上げの痛みが徐々に積み重なるため、景気は悪化する。
		都市型ホテル（管理担当）	・冬場の新型コロナウイルス変異株の発生や、インフルエンザの感染拡大が懸念されるため、来客数が減少に転じる。
		旅行代理店（支店長）	・全国旅行支援が12月に終了した後も、この需要が続くとは思えず、減退していくと予想される。
		通信会社（経営者）	・円安による原材料価格の変動で、やや悪くなる。
		通信会社（営業担当）	・円安傾向が改善する気配はない。
		テーマパーク（職員）	・効果的な景気対策を打てない政府が、事態を好転させられるとは思えない。
		その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・外部からの体験の問合せがほとんどなく、会員の増加が見込めない。
		住宅販売会社（経営者）	・エネルギー関連の価格上昇により、製品の値上げが予想されるため、利益の圧迫は避けられない。
		住宅販売会社（従業員）	・郊外の中古住宅の取引が鈍ってきており、住宅ローン金利が一部で上昇しているため、好調な新築マンションの販売は先行き不透明な状況にある。
		住宅販売会社（従業員）	・少しずつではあるが、任意売却案件や破産案件が出始めている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・円安傾向はまだ続くため、物価の上昇が続き、消費は減少する。
	×	一般小売店〔貴金属製品〕（従業員）	・インフレによる悪影響が懸念される。
	×	百貨店（宣伝担当）	・入国制限が緩和されたが、当地のインバウンド客は圧倒的に中国人が多いため、ほとんど影響がないのが現状である。原材料価格の高騰など、今のところは好材料がなく、今後は苦戦が予想される。
	×	スーパー（店長）	・円安や原材料価格の上昇で、今後も食品を中心に値上げが続く傾向にあるため、客が日々の買物に対して慎重になっている。個人消費が伸び悩み、景気が後退することも予想される。ただし、全国旅行支援の発表を受けて、旅行関連商品に限っては売れている。
	×	コンビニ（経営者）	・ガス料金の異常な上昇で、業種によっては死活問題となっており、企業努力だけでは対応できない。労働者への手厚い支援は良いが、企業側へのサポートも半端な助成金でなく、しっかりと考えてもらいたい。
	×	衣料品専門店（経営者）	・円安の更なる進行が予想される。1ドル180円といった水準になると、購買力が更に下がり、食べるのに精一杯の発展途上国のようになる。
	×	衣料品専門店（経営者）	・円安の影響で中国や韓国から商品が余り入ってこず、今後は冬物商材が不足する。
	×	家電量販店（店員）	・円安傾向が続き、景気の悪化が続いている。物価の上昇が続くと購買意欲が下がり、景気は悪化すると予想される。
	×	家電量販店（企画担当）	・過去に例のない円安のほか、半導体不足による家電や設備機器の在庫不足に加え、各商品の値上げが大きく影響し、耐久消費財の買い控えがしばらく続く。
	×	住関連専門店（店長）	・原価や必要経費の上昇が止まらない。月々の支出がウクライナ危機以前の約2割アップとなっている。景気が回復する兆しは全くみられない。
	×	住関連専門店（店員）	・円安の動きが止まらず、いろいろな物が値上がりしているなかで、景気が良くなることはない。
	×	観光型ホテル（客室担当）	・恐らく全国旅行支援が終了している時期であり、反動が出ることを懸念している。
	×	通信会社（社員）	・円安に伴う消費者物価の上昇による影響は、賃金上昇が望めない状態では、すぐには改善されない。
	×	通信会社（役員）	・通信事業者による店舗のリストラ方針が続いているため、先行きの見通しは厳しい。
	×	その他住宅〔展示場〕（従業員）	・住宅展示場への来場者数は回復傾向にあるが、建築資材価格の高騰に伴う出展各社の値上げにより、様子見の客が増えている。各社の契約件数は減少している状況で、政府の思い切った購入支援策がない限り、今後も減少傾向が続くと予想される。
企業 動向 関連  (近畿)		通信業（管理担当）	・コロナ禍に関する規制の緩和で、若干上向いている。
		広告代理店（営業担当）	・今年に入って、Web媒体、紙媒体共に、広告売上は前年を上回る状態が続いている。
		木材木製品製造業（経営者）	・今の時点で円ドルレートは150円を上回っている。今年に入って単価を2度値上げしたが、それでも利益の出ない状態になってきた。160円も視野に入れなければならないとなると、基本の計画が全て崩れてしまう。
		化学工業（管理担当）	・部品の供給不足の解消により、自動車やガス器具、家電向け関連の生産量が増えると予想される。ただし、化学品原材料の値上がり分を、製品価格に転嫁しきれておらず、利益は厳しい状況が続くと予想される。
		化学工業（企画担当）	・油脂価格が高騰し続けていたが、高止まりの状況ではあるものの安定してきている。販売価格への反映が浸透すれば、収益の改善につながると予想される。
		金属製品製造業（経営者）	・コロナ禍が落ち着き、不足していた海外からの部品の入荷遅れも徐々に回復している。年末にかけての、組立てメーカーによる部品の発注内示も増加傾向にある。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・リードタイムを長く設定し、受注した案件が軌道に乗ってきている。
		輸送業（営業担当）	・通販商品が中国から直接個人宅へ届くようになった。国産よりも安く買えるといわれている。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		食料品製造業（従業員）	・全国旅行支援で人の往来は増えているように感じるが、新型コロナウイルスの新規感染者数が増え、年末商戦に入る前に以前のような状態にならないことを願う。外食関係の売上も少しずつ回復しているが、予断を許さない状況である。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・受注が増えるような情報がない。
		出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・新型コロナウイルスの感染が拡大しても、以前のような自粛ムードにはならないと感ずるため、年度末に向けて受注量が増える予想している。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・余り良くない状況が続く。新規の問合せが減っているため対応が必要であるが、現在使える手は限られており、対策には1～2か月を要する。
		一般機械器具製造業（経営者）	・最悪の状況は変わらず、しばらくは改善が見込めない。当社は輸入部品を多く使い、欧州からの部品はユーロで決済している。注文時よりも20%程度円安になっているため、赤字で完成品を出荷する事態となっている。
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	・物価の上昇傾向は今後も変わらない。
		建設業（経営者）	・今の状況がしばらく続くと予想しており、自社のコスト削減を進めなければ、受注の増加は見込めない。
		建設業（経営者）	・建設工事価格の上昇だけではなく、建設資材の納期が不確定であるため、工期が確定できずに苦労している。今後も、建設価格の高騰や建設資材の不確定な納期が問題になる。
		輸送業（商品管理担当）	・11月1日から酒類などが値上げとなる。値上げ前に注文が増えた関係で、2～3か月は売上が低迷する。
		金融業 [投資運用業]（代表）	・インバウンド頼みの企業は回復に向かい、コロナ禍の影響を受ける企業も徐々に上向くと予想される。それにしても旅行関連ばかりに補助金が出されるのは、余りに不十分であると感じる。それに対して指摘がないことが不思議でならない。
		金融業（営業担当）	・円安の継続で厳しい状況が続く。
		広告代理店（営業担当）	・年内は今月のような動きが続きそうである。
		司法書士	・様々な催しが3年ぶりに開催され、明るい兆しを感じる反面、新型コロナウイルス変異株の発生や、季節的な感染拡大への不安、急激な物価の上昇などで、良くなると判断するのは難しい。
		その他サービス業 [店舗開発]（従業員）	・全国旅行支援の効果や、海外からの観光客の増加でにぎわいが期待できる一方、円安や物価の上昇は深刻な問題であり、消費者の財布のひもはますます固くなる。
		その他非製造業 [機械器具卸]（経営者）	・円安が進み、輸入商材が値上がりしているが、販売価格には転嫁できていない。来年以降であれば値上げ要請が認められるが、現状は利益がないまま売らざるを得ない状態となっている。
		その他非製造業 [商社]（営業担当）	・3か月程度では変化はなく、年度末頃にどう変化するかが注目される。
		繊維工業（団体職員）	・年明けからは閑散期に入るほか、円安やエネルギー価格、原材料価格の上昇により、受注量が減少すると予想される。
		繊維工業（総務担当）	・昨今の急激な円安によって、海外からの輸入に頼っている一般の靴下には、採算割れとなる物もある。値上げ交渉は円安のスピードに全く追いついていない。
		繊維工業（総務担当）	・経費の増加分を販売価格に転嫁できない状況では、利益の減少が避けられない。
		窯業・土石製品製造業（管理担当）	・10月からの生活必需品の更なる値上げで、消費者の財布のひもは固くなり、買い控えが進んでいる。ロシアによるウクライナ侵攻もこう着状態が続くなか、景気はやや悪くなる。
		金属製品製造業（営業担当）	・秋以降、年度末に向けた建築関連の出荷の増加が期待されたが、盛り上がり欠ける。
		電気機械器具製造業（経営者）	・為替の変動に対し、日本銀行は余りにも無策過ぎると感じている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・円安の進行やコロナ禍の影響で、材料が入りにくくなっている。
		輸送業（経営者）	・前月の値上げの前に、どの業者も在庫を十分に確保したため、新たな在庫量は限られる。これから先、急に大量に売れるきっかけがあるとは思えないため、荷動きは低迷が続く。
		輸送業（営業担当）	・利益を出すために、商品代金や送料の値上げを行ったため、客が減少する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（副支店長）	・このままの円安トレンドが続くようであれば、今後2～3か月も景気の改善は見込めない。
		経営コンサルタント	・良くなる見通しが立たない。新型コロナウイルス感染症や円安の影響で、消費者やメーカーの動きは盛り上がらない。
		その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・物価が上昇する一方、賃金は上がらないため、景気は良くならない。
	×	化学工業（経営者）	・原材料価格の高騰が止まらず、値上げが追い付かない。また原価の高騰によって取引先の業況が悪化し始めている。
	×	その他製造業〔履物〕（団体職員）	・海外から原材料を輸入しているため、現在の円安が重荷になっている。急激な円安のため、コスト増加分を全て価格転嫁するのは至難の業である。今後、更にインフレが加速することになれば、消費不況が続くと予想される。
	×	不動産業（営業担当）	・これから年末にかけて、ますます賃貸の解約が増えてくる。年を越せないという事情から、年内に閉店する動きが増えるため、景気は悪くなる。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・ウクライナ危機や円安の進行、物価の上昇などにより、ますます悪くなる。
雇用 関連 (近畿)		人材派遣会社（支店長）	・年度末に向けて、売手市場の傾向が更に加速しそうである。
		人材派遣会社（役員）	・円安は企業業績全体にはプラスであり、採用意欲が衰えるとは思えない。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・秋冬のインターンシップや1 Dayセミナーが、実質的に会社説明会を兼ねていることもあり、ここ2～3か月で広報が過熱しそうである。就職情報会社としては、イベントの出版やメディア広告の掲載の増加が見込まれる。
		人材派遣会社（経営者）	・一時に比べてコロナ禍の影響は少なくなっており、これから年末にかけて、全業種で人材獲得の動きがかなり出てくる。今までは1か月から3か月の短期のオーダーであったが、年度末までのオーダーが出てきている。
		人材派遣会社（営業担当）	・円安の影響で利益がひっ迫している企業の間にも、利益の確保のために求人条件を変える様子はみられない。
		人材派遣会社（営業担当）	・全国旅行支援の開始で活気が戻りつつある点は良いが、これから冬場に向けて、コロナ禍の状況が気になる。また、円安の動きがもたらす日常生活への影響も気掛かりである。
		職業安定所（職員）	・景気は確実に上向いているが、今後2～3か月は、物価の上昇や円安、原油価格の高騰で様子が変わってくる。
		職業安定所（職員）	・全国旅行支援が始まり、先行きには期待できるが、物価の上昇や円安の影響が心配である。
		民間職業紹介機関（支社長）	・世界経済の動向は依然として厳しいが、当地では観光需要の復活などもあり、宿泊や飲食業界などでの需要の回復が見込まれる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・観光業は少し回復すると予想される。近隣県の観光客は目に見えて増えている。
		その他雇用の動向を把握できる者	・原材料費や燃料費といったコスト上昇分の価格転嫁が進まない。供給制約といった以前からの懸念事項に加え、急速に進む円安や最低賃金の引上げによる人件費の増加など、企業からの厳しい声は少なくない。全国旅行支援や入国規制緩和といった明るい材料はあるが、新型コロナウイルスの感染第8波の到来も予想されるなか、雇用市場の活発化が大きく進むとは考えにくい。
		新聞社〔求人広告〕（管理担当）	・インバウンドの復活は明るい材料であるが、以前のような迫力は感じられない。一方、少なくとも来春までは円安基調が続くとみられ、大手企業の下請が多い関西では、円安の恩恵よりも悪影響を受ける企業が圧倒的に多い。それに伴い、景気全体はやや悪化すると予想される。
		職業安定所（職員）	・円安や物価上昇の影響で経済が低迷するなど、楽観できない状況が続くと予想される。
		民間職業紹介機関（職員）	・建設関連では、原油価格や原材料価格の高止まりのほか、円安による輸入材料の価格高騰が影響し、新規建設計画の縮小や見直しが進んでいる。そういったなかで給与、待遇面での改善が遅れ、慢性的な人手不足が続いている。今後も求人と求職のバランスが不安定になると予想される。
	学校〔大学〕（就職担当）	・地政学的な課題、日本の国力低下に伴う円安など、将来への不安要素が多いため、景気は後退すると予想される。	
	学校〔大学〕（就職担当）	・円安とインフレが企業業績に悪影響を及ぼし、景気の悪化が進む。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・インバウンドが増える見込みであるが、それ以上に円安傾向や物価の上昇による影響で、企業の業績見込みが悪化している。特に関西企業の収益見込みが悪く、新聞への広告出稿の見通しも良くない。

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (中国)		一般小売店〔眼鏡〕 (経営者)	・消費は年末に向け増加すると期待している。
		バー(経営者)	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば景気は良くなる。
		テーマパーク(業務担当)	・物価上昇の推移がどうなるかが関係してくるものの、新型コロナウイルス感染症がインフルエンザ同様の扱いとなり、行動規制がなくなることによって消費が増加すると、景気は良くなる。
		商店街(理事)	・年末年始を控え、客に我慢の限界の雰囲気が出ており、景気を押し上げる要素になる可能性がある。
		一般小売店〔靴〕(経営者)	・新商品を百貨店へ卸販売することになり、販売数の増加が期待される。
		百貨店(営業担当)	・新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きと全国旅行支援により、客の外出機会が増え、外出のための衣料品や雑貨の販売促進の後押しとなる。
		百貨店(営業担当)	・旅行や外出需要の増加に伴い、衣料品の需要も少し高まっていく。
		スーパー(店長)	・生活必需品に関しては、値上げにより1品単価が上昇するため、売上は伸びてくる。
		スーパー(販売担当)	・買上点数は減少しているが、値上げによる単価上昇が売上を押し上げている。新型コロナウイルス感染症を恐れず、客の意識が行楽に向かっている関係もある。
		コンビニ(副地域ブロック長)	・全国旅行支援やインバウンドなどの好材料があり、物価が上昇しても売上増加につながっている。今後も円安の影響で値上げが懸念されるが、コロナ禍であった前年よりは景気は良くなる。
		コンビニ(支店長)	・全国旅行支援等で人流が増える。
		家電量販店(販売担当)	・年末商戦に期待する。
		乗用車販売店(営業担当)	・客からの問合せが良い状況を維持していることから、今後、景気はやや良くなっていく。
		乗用車販売店(店長)	・価格が抑えられた新型車が発売される予定で、客の購入意欲の掘り起こしに一役買ってくれる。
		自動車備品販売店(経営者)	・年末に向けて、ある程度の冬商材は売れるが、前年比は悪いと考えられる。まだまだ、新型コロナウイルス感染症発生前の売上には戻らない。
		その他専門店〔和菓子〕(経営者)	・今以上に新型コロナウイルス感染症の影響が薄れていくと考えられる。
		その他専門店〔時計〕(経営者)	・歳末にかけて消費が伸びることを期待する。
		一般レストラン(経営者)	・新型コロナウイルスの感染状況やインフルエンザの流行といったマイナス要因で人の動きが止まるおそれがあるが、年末にかけて人出が増えれば、景気はやや良くなる。
		都市型ホテル(総支配人)	・全国旅行支援の好影響がある間は景気が良くなるが、その後は、一旦谷間に落ち込む可能性がある。
		都市型ホテル(企画担当)	・利益面では物価高騰の影響を大きく受けるものの、来客数は回復する。
	都市型ホテル(企画担当)	・新型コロナウイルス感染症の第8波到来を想定すると、先行きを楽観視できないが、秋の観光シーズン、クリスマス、年末商品の需要拡大に向けて積極的にプロモーションを展開している。エンターテインメントや各団体のイベント開催も活発になっていることから、行動制限や自粛要請がない限り、景気はやや良くなる。	
	旅行代理店(経営者)	・全国旅行支援に関し、各施設との連携がまだまだできていないため、苦慮することが多々あるが、全国旅行支援の影響で、客の動きは良くなっているため、今後、景気はやや良くなる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少している状況で、客の行動を支援する様々なクーポン券などが発行されると、街中ににぎわいが戻ってくるため、景気はやや良くなる。
		タクシー運転手	・昼間の乗客数が回復し、夜の街がにぎわえば、新型コロナウイルス感染症発生前の売上に戻る。
		タクシー運転手	・夜の繁華街はまだ人出が少なく、新型コロナウイルス感染症発生前の状況に戻っていないが、今後、繁忙期に入り、観光客も増加するため景気はやや良くなる。
		通信会社（企画担当）	・オンラインサービス化、インターネット利用度は高まりこそすれ低くなることはない。年末年始においてサービス需要が高まることで、景気はやや良くなる。
		テーマパーク（営業担当）	・全国旅行支援の影響が間もなく出てくる。
		観光名所（管理担当）	・施設の料飲部門が復活すると、景気はやや良くなる。
		美容室（経営者）	・少しずつではあるが、人の流れが良くなっているため、景気はやや良くなる。
		商店街（代表者）	・客が必要以上に買物をしないなど、財布のひもが固い。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症の第8波が発生するという予測があり、それを危惧している客が少なからずいるため、景気は良くならない。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向であり、食品を中心として値上げも進んでおり、中小企業にとって給与を上げることは難しく、今後が心配である。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きつつあったが、感染再拡大の様相も見せており、客の購買意欲が低下したままであるため、人通りが増えても景気は良くならない。
		一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	・今後、客の動きが少しずつ良くなるが、景気は変わらない。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・年末にかけて新型コロナウイルス感染症の第8波が発生すると、景気は良くならない。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	・景気に関してぬか喜びはできないため、慎重に見守っているが、それでも景気が良くなることを期待する。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	・円安、原油価格の動きによって景気は変わってくるため、先行きは不透明である。
		百貨店（経理担当）	・商品の値上げが続き、客の節約志向が高まり、景気は停滞する。
		百貨店（営業担当）	・前年と比べ、来客数や販売量が増加しているが、商品供給量も含め、新型コロナウイルス感染症発生前の水準には戻っていないため、景気は良くならない。
		百貨店（売場担当）	・今まで抑制されていた旅行関連の動きが一気に活発化し、客の旅行支出が増加するなど、金の使い道に変化が出てくると、当店の状況が厳しくなる。
		百貨店（売場担当）	・円安、値上げなどの悪い印象の報道があるが、客の購買行動、客単価に余り変化はない。客は節約していても必要な商品であれば、購入するため、景気は変わらない。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルス感染症に加え、円安といった消費者心理への不安要素もあるため、今後も客の購買意欲が向上するとは考えにくい。
		スーパー（店長）	・クリスマス、年末年始商戦に入るが、前年と比べて今年が良くなる要素が少ない。今後、更なる値上げが進むと、客の割引デーに集中する傾向は変わらない。帰省等は前年より増加するが、食料品への消費の節約傾向は強まる。
		スーパー（店長）	・来客数が前年を上回り、3か月前よりも景気は上向いているが、物価の上昇など厳しい状況が続くので、3か月後も景気は変わらない。
		スーパー（店長）	・商品の価格上昇が続き、販売数量が増えない状況が続く。
		スーパー（総務担当）	・必需品の購買はさほど変わらないが、購買量が段々と減少していく可能性がある。
		スーパー（販売担当）	・円安が更に進むという予測があるが、景気が安定しない限り、現状は余り変わらない。
		スーパー（営業システム担当）	・円安の影響が続くため、国産牛等の需要が伸びると思われる。全国旅行支援や外食支援等があるため、内食の需要が低下していくものの、年末年始の帰省は増加すると思われるため、そこでの売上に期待したい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、全国旅行支援の活用で観光客が増えている。この状況が続けば景気は回復してくる。
		衣料品専門店（代表）	・ステイホームの習慣がついたため、購買意欲が戻らない客が多数いる。
		家電量販店（企画担当）	・原油価格の高騰などで景気が悪いため、政府が動かないと何も変化はない。
		乗用車販売店（統括）	・新車の供給量に限りがある。
		乗用車販売店（営業担当）	・半導体不足による物の供給の減少や物価上昇が収まらない限り景気は変わらない。
		乗用車販売店（業務担当）	・生産工場の停止が相次ぎ、今後の見通しがまるで立たない。
		乗用車販売店（営業担当）	・相変わらず新車の納期遅れがばん回できず、売上は厳しい状況である。納期が掛かるのを理解した上で早めに注文する客が増えている。客が新型コロナウイルス感染症に慣れてきて、警戒感が薄れてきている印象はあるが、景気は変わらない。
		その他専門店〔土産物〕（経営者）	・現状を打開する策が見当たらないため、景気は当分今のまま推移する。
		高級レストラン（事業戦略担当）	・全国旅行支援が開始されたが、当県の各宿泊事業者への予算配分額では効果が限定的となるため、景気は変わらない。
		一般レストラン（経営者）	・円安に伴う生活必需品の度重なる値上げや光熱費の上昇により節約志向がますます強まり、客が生活防衛として支出を抑える。また、新型コロナウイルス感染症の第8波やインフルエンザの流行に対する心配が重なり、客の巣籠り現象が増加し、シニア層とファミリー層の外出機会が減少する。忘年会の利用件数が増加し、売上が大幅に上昇することが期待できないため、平月とさほど変わらない状況となる。
		一般レストラン（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は高止まりしているが、客もそれほど気にしなくなったので、ある程度の景気回復は見込める。ただし、ここ最近の値上げの影響により、当店も価格の値上げをせざるを得ない状況にあり、それがどれだけ影響するかが分からないため、大きく回復するとの希望は持ちにくい。
		観光型ホテル（営業担当）	・全国旅行支援の予算がなくなり、追加予算が導入されたら景気は良くなる。
		旅行代理店（支店長）	・全国旅行支援開始ということで期待していたものの、それほど大きな影響はない。今後、新型コロナウイルス感染症の第8波が到来し、インフルエンザが流行するという予想が大きく報道され、また、円安が海外旅行の回復に水を差す形になっていることから、業界全体に明るい兆しが無い。
		通信会社（経理担当）	・景気が変わる要因は見当たらない。
		通信会社（工事担当）	・客の様子から景気に変化はない。
		ゴルフ場（営業担当）	・現在の予約状況は例年と変わらない。冬季は天候により来客数が増減する。
		競艇場（企画営業担当）	・来年の2月末くらいまで西日対策が続くため、売上は増加しない。
		美容室（経営者）	・人材不足が深刻化している。最低賃金の上昇が進むものの業績は伸びないため、財務的な圧迫から逃れられない。
		設計事務所（経営者）	・円安の状況がしばらく続く見込みで、建築物価を含む物価上昇の傾向に変化はないため、客に住まいを考えるゆとりは生まれにくい。
		設計事務所（経営者）	・年内及び年度末に向けて建材の値上げ通達があり、今後コストの見通しが立つまでの間、先行きは厳しいままの状況が続く。
		設計事務所（経営者）	・中古市場は活性化すると思われるが、新築受注は客の消費金額の頭打ち感があるため伸びない。
		住宅販売会社（従業員）	・外国人の入国制限緩和など観光業等では明るい兆しがみえてきたが、全体へ波及するにはまだまだ時間が掛かる。
		商店街（代表者）	・来客数が少なく、客の購買意欲も低いいため、今後、景気はやや悪くなる。
		スーパー（店長）	・ここ2、3か月、年末商戦の対象商品の値上げの話が進んでいるため、客の消費が減少し、景気はやや悪くなる。
		スーパー（店長）	・様々な商品の値上げが続く、家計を圧迫していくので、客の財布のひもが固くなり、今後は景気が後退する。
		スーパー（業務開発担当）	・商品価格や電気料金などの高騰が家計を圧迫し続けるため、客の節約意識が一層強まる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（エリア担当）	・ 乗年にかけて多くの商品が値上げするので、景気は悪いまま推移していく。
		コンビニ（エリア担当）	・ 商品価格の値上げが続くなか、電気料金の高騰は想像以上に家庭を圧迫する。給与が上がらず、客の節約が続く、自社商品の販売にも影響が出てくる。
		衣料品専門店（経営者）	・ 円安の影響で景気はやや悪くなる。
		家電量販店（店長）	・ 物価上昇の影響で景気はやや悪くなる。
		家電量販店（店長）	・ 売上が減少傾向であり、回復の兆しはない。
		自動車備品販売店（経営者）	・ 小売店にとって円安や物価高は仕入価格の高騰を招くが、価格が高騰しても、販売価格にそこまで転嫁できない。また、物価の上昇の影響で、今後、客の購買意欲がなくなるため、ますます利益が減少し、苦しい状態が続く。
		その他専門店〔布地〕（経営者）	・ 景気は回復してきているが、12月には新型コロナウイルス感染症が再拡大し、景気はやや悪くなる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・ 物価上昇に賃金の上昇が追い付いていない。エネルギー価格の高騰、高止まりが続くため、景気はやや悪くなる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	・ 政府の全国旅行支援や補助金事業などがあり、一部の業態は恩恵を受けるが、円安による物価上昇など、家計の圧迫感が払拭できない状況は今後も続く。年末に向け買物の機会が増える時期であるが、値上げによる客の買い控えといった不安要素は多く、景気はやや悪くなる。
		観光型ホテル（副支配人）	・ 全国旅行支援が終われば一気に問合せが減少する。全国旅行支援の延長や予算の追加がないと、景気はやや悪くなる。
		観光型ホテル（宿泊担当）	・ 全国旅行支援で一時的に景気が上向いているだけであるため、今後、景気はやや悪くなる。
		都市型ホテル（総支配人）	・ 国による新たな支援策など需要を喚起する動きに期待するが、例年、12月中旬以降から2月まではオフ期となるため、景気はやや悪くなる。
		通信会社（営業担当）	・ 暖房で光熱費が上昇する季節に入るが、これ以上エネルギー関連の値上げが続けば、消費が冷え込み、景気はやや悪くなる。
		放送通信サービス（総務経理担当）	・ 新型コロナウイルス感染症の影響に加え、物価高も続いており、家計の圧迫が進むため、景気はやや悪くなる。
		美容室（経営者）	・ 客は毎月の家計のやりくりを見直している段階で、今後、景気は徐々に悪くなる。
		住宅販売会社（営業担当）	・ 冬に新型コロナウイルスの新規感染者数が増加する懸念がある。
		住宅販売会社（営業所長）	・ 今後の金利高傾向の機運が高まり、客に浸透することが懸念材料となっている。これまでの変動金利主導と長期借入期間に不安を抱く客も増加している。目に見える賃金上昇が必要と考える。
	×	百貨店（販売計画担当）	・ 個人所得が伸びないなかでの生活コストの上昇が景気に悪影響を及ぼす。
	×	スーパー（財務担当）	・ 物価の上昇よりも、賃金の上昇が遅れることで、客の節約志向がますます強まり、肉食需要が減少するため、既存店売上が前年割れとなる。
	×	コンビニ（エリア担当）	・ 今月中旬に競合店の営業が再開して以降、来客数が減少し、客単価が低下している。また、店舗の南側だけではなく、北側でも工事は始まりそうなので、客が来店しにくくなるため景気は悪くなる。
	×	乗用車販売店（営業担当）	・ 12月以降、当社が扱う商品を値上げするため、更に景気は悪くなる。
	×	任関連専門店（営業担当）	・ 商品の値上げや物価の上昇が落ち着かないために、消費が耐久消費財に回らない。
	×	通信会社（広報担当）	・ 自社製品を含め、その他の物価も値上がり傾向なので、客の購買行動が更に鈍くなる。
	×	テーマパーク（管理担当）	・ 現内閣の経済対策が国民に寄り添っていない。また、消費税を増税するような議論がされており、既得権益者に有利な政策を打ち出そうとしていることから、景気は悪くなる。
企業動向関連		輸送用機械器具製造業（経営者）	・ 生産繁忙が続くので景気は良くなる。
		輸送業	・ 発注量が増えているため、今後、景気は良くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
(中国)		化学工業（総務担当）	・物価高により、一定の景気減速の動きは懸念されるが、物の価値が上がることで企業の賃金等の上昇につながってくる。ただし、企業の業績については、好不調の格差が生まれることが予想される。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・最近の円安、物価高による先行き不安が残るものの、新型コロナウイルス感染症による事業活動への影響が軽微となっているので国内外への営業展開もしやすいことから景気が良くなることを期待したい。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・販売先からの内示情報が若干上向いているため、今後、景気はやや良くなる。
		農林水産業（従業員）	・新型コロナウイルス感染症関連で規制等がない限りは、景気が特に良くなる見込みはない。
		食料品製造業（経営者）	・原材料価格や物流費の上昇を販売価格に反映することが難しく、今後、一段と厳しい経営状況になるが、販売を強化するため景気は変わらない。
		繊維工業（財務担当）	・円安、原材料の値上げなど先行きが不透明である。
		化学工業（総務担当）	・当面、円安基調で進むため、景気は現状のまま推移する。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・鉄鋼業向け生産量は現状水準が継続する見込みである。
		鉄鋼業（総務担当）	・受注状況に大きな変化がないため、景気は変わらない。
		鉄鋼業（総務担当）	・今後、しばらくは受注が回復してこないため、景気に変化はない。
		非鉄金属製造業（業務担当）	・資機材やエネルギー、金属価格は高値で推移している。円安基調に変化はなく、収益も堅調に推移する。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きに変化はなく、今後も景気は変わらない。
		建設業（経営者）	・設備投資の様子見感は引き続きあるものの、次第に着手する企業が増えてきているため 景気は現状が続く。
		建設業（総務担当）	・受注価格が上昇しても協力会社への支払、経費等も増加するため、利益率の向上は見込めない。
		輸送業（総務・人事担当）	・アフターコロナを見据えて営業してきたが、物価高騰の影響で消費にブレーキが掛かり、受注量の増加が見通せない状況であるため、景気は変わらない。
		輸送業（業務推進担当）	・現状、景気に関する大きなプラス要素はなく、客の荷動きにも目立ったものはないため、景気は変わらない。
		通信業（営業企画担当）	・今後の導入に向けてのスケジュールを客からヒアリングする限りは、大きな変更は予定されていないため、取引量や引き合い量に変化はない。
		金融業（融資企画担当）	・当面、半導体不足の状態が続き、地元完成車メーカーの国内生産が低調に推移するため、系列の地元部品メーカーの受注も低水準にとどまる。
		金融業（貸付担当）	・当面、原料の価格高騰、円安、海外企業との買い負けの傾向が続き、仕入数量の確保の問題や仕入価格上昇により、収益回復は鈍くなる。
		不動産業（総務担当）	・賃貸物件の需要が落ち着いている時期であり、例年どおり変わらない。
	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かない状況で、客からの受注量の動きが変わらない。	
	会計事務所（経営者）	・資材不足、燃料費や電気料金の高騰、為替不安、ウクライナ問題の解決は見通せず、株価低迷も景気にマイナス影響を及ぼす。	
	木材木製品製造業（経理担当）	・円安がどこまで続くか定かではないが、円高に向かう可能性があれば景気回復の可能性もある。しかし、現時点ではこのままの状況が続き、景気は悪くなる。	
	金属製品製造業（総務担当）	・政府による電気料金抑制策は直接的な効果となって収益改善につながってくる。しかし、電力会社が値上げを実施すれば相殺されると見込んでおり、燃料調整費分が引き続き上昇を続ければ、採算面での悪化傾向は変わらない。	
	一般機械器具製造業（管理担当）	・原材料価格の高騰により部品調達に難しくなり、生産に支障が発生している。また、新型コロナウイルス感染症関連の需要が頭打ちで、その反動もあって減産の見込みである。	
	x	-	-
雇用 関連  (中国)		求人情報誌製作会社（HR担当）	・海外からの旅行者が増え、円安効果に伴う観光客の需要が高まる。
		職業安定所（所長）	・予想を超えた物価高騰を価格転嫁できない業種が多いものの、コロナ禍で休業していた店舗を再開するため複数の求人募集があった卸・小売業では明るい動きが出てきている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		民間職業紹介機関（人材紹介・派遣担当）	・引き続き求人数及び求職者数共に増加傾向となる。
		人材派遣会社（支社長）	・引き続き企業の採用意欲は旺盛であるが、働き手が不足しており、採用決定数の増加にはつながりにくい。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	・どこまで続くか分からない物価高を見据え、採用関係を含む広報関係の予算の削減や見直しがある。
		職業安定所（事業所担当）	・雇用調整助成金の申請件数が前年から56.3%も減少していること、求人数が全体的に増加していることから景気の回復はうかがえるものの、ウクライナ情勢などによる物価高騰や円安など、先行き不透明感はぬぐえず、本格的な景気回復はまだ先と考えられる。
		職業安定所（雇用関連担当）	・卸売業、小売業、旅館業、飲食業では求人数が増加し、改善傾向がみられるが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けやすい業界は人が集まりにくい傾向がある。
		民間職業紹介機関（職員）	・業務自体に支障はないが、働き方改革の一環もあって個人の負荷分散を目的に人員の増加を考える企業が始めている。食品など物価上昇が家計に影響を及ぼし始めており、客の財布のひもは固くなる。
		学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・製造業に限れば求人数は増加しているが、燃料費の上昇や円安の影響により、景気の回復傾向は長く続かない。
		その他雇用の動向を把握できる者	・物価の上昇により客の購買意欲が減退している。一方、各地域で実施されている全国旅行支援の影響や円安基調によりインバウンドが期待できる。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染症の再拡大の懸念、円安、物価高の傾向は続くため、企業は雇用拡大に慎重になる。
		人材派遣会社（経営戦略担当）	・円安によるマイナス影響が大きくなることを危惧する。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・海外情勢や為替が当面好転する様子が見られないため、急激ではないが景気は下降線をたどる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・物価の上昇が日常生活に影響を及ぼすため、景気はやや悪くなる。
	x	-	-

#### 10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
(四国)	家計動向関連	旅行代理店（営業担当）	・予約状況を見る限り、2か月先までは販売が拡大する。
		美容室（経営者）	・11月は厳しいが、12月は来店者が増えると思う。
		商店街（代表者）	・地元の消費者も全国旅行支援を利用すると思われることや、秋物の出足もまずまずであることから、新型コロナウイルスの新規感染者数が増えなければ景気は上向き基調になると思う。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・祝い事や集まり事の予約並びに問合せが増えてきており、新型コロナウイルス感染症への警戒感が以前より和らいできていると感じる。
		スーパー（人事）	・年末にかけて需要が増えると思う。
		コンビニ（店長）	・来客数が微増すると思う。
		衣料品専門店（経営者）	・これから相当寒くなると予想されており、天候次第ではあるものの、年末にかけて売上は良くなると期待している。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・年末にかけて、クリスマス需要やボジョレーヌーヴォーの販売等で少し売上が増え、景気は良くなると思われる。
		一般レストラン（経営者）	・例年どおりであれば、12～1月にかけて景気は良くなるはずだと期待している。
		タクシー運転手	・1年で一番の繁忙期である12月は、やや良くなると思う。新型コロナウイルスのワクチン接種者が増加すれば、更に人の動きは活発化すると思う。
		通信会社（支店長）	・物価高に伴う消費の落ち込みに改善傾向はみられないが、全国旅行支援によって景気が上向くことを期待している。
		通信会社（営業担当）	・来客数が回復傾向にあり、店舗や出張販売先への来店も増加している。
			商店街（事務局長）



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔文具店〕 (経営者)	・新型コロナウイルス感染症に対する規制は解除されつつあるが、新型コロナウイルスの新規感染者数は減少傾向にはなっていないため、まだ先が読めない。新型コロナウイルスオミكرون株対応のワクチン接種が進めば好転すると見込まれるが、今のところ来年春頃まではこの状況が続くと予想する。
		百貨店(販売促進)	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いた状態で年末年始を迎えられると、消費意欲が増すと考えられる。
		スーパー(店長)	・環境が好転したわけではなく、生活防衛感が強くなったり弱くなったりしているだけだと思う。
		スーパー(企画担当)	・11月以降も値上げが予想され、単価上昇が続く。年末に向けての前倒し購入もみえてくると推定する。
		コンビニ(店長)	・にわかには新型コロナウイルスの新規感染者数が増加している背景もあって、予断を許さない状況であるが、全国旅行支援もあり、しばらく現状のまま推移するのではないかと感じている。
		コンビニ(総務)	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、このまま推移していくと思う。
		コンビニ(商品担当)	・ウクライナ情勢と円安が好転しない限り、景気回復は難しい。
		衣料品専門店(経営者)	・3か月前までは景気は良くなると思っていたが、新型コロナウイルス感染症の長期化や円安の影響もあり、景気が良くなるのは厳しいと思う。
		衣料品専門店(営業責任者)	・全国旅行支援の効果もあって人出はあるが、売上にはつながっていない。今後の人の移動の活性化に期待する。
		家電量販店(店員)	・今後も価格上昇が予定されており、ついで買いは減ると思われる。
		家電量販店(副店長)	・新型コロナウイルス感染症に対する行動規制が緩和されつつあるが、冬に向けて光熱費の高騰や物価高の影響が続き、節約意識が高まることから、まだまだ景気回復は期待できない。
		乗用車販売業(営業担当)	・半導体不足が解消される見込みがなく、厳しい状況が続く。
		乗用車販売店(従業員)	・自動車の供給不足が解消されない限り変わらない。加えて、円安による物価上昇の影響から、客の購買意欲も停滞すると思う。
		乗用車販売店(従業員)	・生産台数より受注台数が上回っている状況は、今しばらく続くと思う。
		乗用車販売店(役員)	・前年よりは登録車の台数は増える予想するが、前々年を基準に考えれば、状況は好転していない。
		通信会社(営業部長)	・物価上昇が懸念されるものの、今のところ販売への影響はなく、現状が続くと思う。
		通信会社(社員)	・円安、新型コロナウイルス感染症、物価高のいずれかが改善しなければ状況は変わらないと思う。
		観光遊園地(職員)	・新型コロナウイルス感染症の影響は小さくなるが、円安や原油高の影響で景気回復には至らない。
		美容室(経営者)	・少し良くなったり悪くなったりを繰り返しているように思う。
		設計事務所(所長)	・建設業では円安が進行することで資材が更に高騰し、景気が悪化することを危惧している。
		商店街(代表者)	・円安やロシアによるウクライナ侵攻の影響で輸入コストが上昇し、更に材料費や燃料費等の値上げも重なり、経営への負担が増えている。年末年始にかけて客の動きが多少なりとも活発になると思うが、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行次第で動きが鈍る可能性を危惧している。
		スーパー(店長)	・相次ぐ値上げの影響で消費者の節約志向が強まり、クリスマスや年末年始商戦での高額品やぜいたく品の販売量が前年より減少すると予想する。
		スーパー(財務担当)	・1品単価が更に上昇することで買上点数が減少する。
		その他小売〔ショッピングセンター〕(総務部担当部長)	・食品等の値上げが今後も予定されており、消費の縮小は不可避と考えている。
		観光型旅館(経営者)	・全国旅行支援の効果一巡後は人手不足や原材料高の悪影響が顕在化し、景気の足を引っ張る。インバウンド需要が地方へ波及し定着するまでは、景気は安定しない。
		都市型ホテル(経営者)	・全国旅行支援終了後の客の動きが一挙に悪くなる可能性が高い。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		競輪競馬（マネージャー）	・売上は横ばいで、乗客数はやや減少傾向にある。今後更に物価高の影響がじわじわ浸透していくと予想する。
	×	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・光熱費や物価上昇の影響で、消費者の購買意欲は上がらない。
	×	衣料品専門店（経営者）	・物価高と円安が家計を圧迫し、買い控えが進む。
	×	タクシー運転手	・寒い冬には遍路の仕事がほぼ無くなる。全国旅行支援が終わると今より更に人の動きが悪くなると予想する。新型コロナウイルス感染症の終息時期も不透明であり、今より良くなることはない。
企業動向関連		*	*
(四国)		パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・円安の影響で国産の需要が高まり、キッチンペーパーの大口取引が始まる。ただし、除菌や掃除用のウェットクリーナーの売上は横ばいである。
		鉄鋼業（総務部長）	・新型コロナウイルス感染症の第8波次第だが、このままの状況が続けば、受注、生産共に上向くと予想している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・バイオマスの肥料や土壌改良剤の分野で着実に成果を上げており、今後売上は回復すると予想する。
		輸送業（営業）	・円安と物価上昇の同時進行は景気回復を阻害する要因となるが、新型コロナウイルスの感染状況が収束することで徐々に上向くことを期待している。
		通信業（総務担当）	・社外イベントやボランティア活動の参加者数の増加傾向が続けば、人の移動が増える。景気も少しずつ改善に向かう。
		金融業（副支店長）	・水際対策の緩和によるインバウンド需要の回復や全国旅行支援に伴う国内観光旅行者数の増加等により、宿泊業の宿泊者数や飲食業の来客数も増加傾向にある。また、仕入価格の値上がりを価格転嫁しやすい環境下にある。年末にかけて景気は回復していく。
		電気機械器具製造業（経理）	・国や自治体が経済対策や新型コロナウイルス感染症対策の緩和を進めつつあるが、ウクライナ情勢の影響、円安による物価高は続いている。
		建設業（経営者）	・補正予算に拠るところが大きいものの、業況並びに景況は上向く可能性が高い。ただし、新型コロナウイルスやインフルエンザの感染状況に大きく左右されると思う。
		建設業（経営者）	・最近公共工事の発注が少なく、先行きが不透明である。
		輸送業（経理）	・国内向け、海外向けの出荷予定数量に大きな増減がみられない。
		通信業（企画・売上管理）	・希望的観測の意味合いも込め、現状維持を求めたい。
		広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の影響は低減し、一部のイベント等は復活予定である。しかし、エネルギー等原材料価格高騰の影響で客先から例年受注していた販促広告関連が削減され、総合的には余り変わらないと予想する。
		農林水産業（職員）	・例年、年末需要で活況を呈する時期であるが、消費者の財布のひもは緩む気配がない。青果物は物価上昇の蚊帳の外にあり、量販店の利益商材としての扱いも変わっていない。厳しい年末になりそうである。
		木材木製品製造業（営業部長）	・大手住宅メーカーの受注速報がダウンし始めている。物価上昇や、全国旅行支援の開始により、住宅購入よりも旅行という雰囲気が高まっていることが影響していると思われる。今後の受注回復に期待したい。
		化学工業（所長）	・新型コロナウイルスの感染状況が収束する見通しは不透明である。ウクライナ情勢の長期化に加え、円安に歯止めが掛からないと思う。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・足元では世界的な金融引締めによる景気後退や新型コロナウイルスの感染急拡大の懸念もあって、先行き不透明感が強まっている。
		輸送業（経営者）	・我が国の地位などが下がっている報道が多く、景気が上向くとは思えない。
	繊維工業（経営者）	・新型コロナウイルス感染症で消費動向が大きく変化し、大規模店舗を構えた小売店は総じて厳しく、若者向けのインターネット販売等の無店舗販売が拡大している。国内景気については現在の為替相場が続くと、我々生産メーカーも原材料価格が高騰しているため卸価格を高くせざるを得ず、ますます消費が落ち込む。	
	×	税理士事務所	・物価高が続くため購買意欲は戻らない。
雇用		-	-

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
関連 (四国)		人材派遣会社（営業）	・円安によるインバウンドへの期待感や全国旅行支援による国内観光の活性化等により、年末にかけて人流が激しくなる。観光業や宿泊業、交通、公共施設等において、新型コロナウイルス感染症対策によって規制されていた環境が改善されれば景気は回復すると思う。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に薄まってきており、苦境にある観光産業にも少しずつ明るい兆しがみえてきている。
		人材派遣会社（営業担当）	・製造業での大きな求人数は少ないが、一定数の求人数があり、安定している。
		民間職業紹介機関（所長）	・円相場の影響で不安定な状況が予想される。
		求人情報誌（営業）	・輸送のコスト高騰や円安など、景気が回復する要素がなく、周辺の中小企業からは人材流出も頻出しており、景気は悪化傾向にある。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・冬休みのアルバイト募集の時期も終わり、募集の減少が予想される。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・仕入価格の高騰分を全額転嫁できないため、利益を少し減小させている。
		職業安定所（求人開発）	・宿泊業、飲食サービス業は政府の景気でこ入れ策で上向くと思われるが、製造業の体力は、半導体不足や資材の調達遅延による納品遅れで利益が削られるため低下する。輸出できる企業は売上増加が見込まれるが、輸入に関してはダメージが大きい。
	x	-	-

#### 11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (九州)		一般小売店〔精肉〕（店員）	・供給面では不安があるものの、高価格商品の需要増加が続くと予想している。
		スーパー（店長）	・インバウンドや全国旅行支援により、旅行マーケットが拡大しており、各業種で業績は向上すると考えられる。懸念材料は、インフルエンザ大流行と新型コロナウイルス感染症の感染状況である。
		コンビニ（経営者）	・出入国制限の緩和等により、経済活動がより活発になり、今より景気は良くなると予想されるが、現状の物価高騰や円安の影響が危惧される。
		住関連専門店（従業員）	・冷え込みが厳しくなることで、単価の高い秋冬寝具の需要が高まると想定される。
		一般レストラン（経営者）	・海外からの入国制限が緩和され、インバウンドも見込めるため、大変期待している。インフレではあるが、購買行動では消費を控えている状態ではないため、積極的に営業をしていくが、人手不足が課題である。
		タクシー運転手	・街中の景気は、かなり人の動きも出て良い状況ではあるが、物価高騰や新型コロナウイルスの新規感染者数の増加など懸念材料はあるものの、現況では良い方向で推移すると見込んでいる。
		商店街（代表者）	・まだまだコロナ禍の状態であるが、2年半の経験で新型コロナウイルス感染症防止対策を講じることができ、来街者及び来客は増加傾向である。少しずつ景気回復すると予想している。
		商店街（代表者）	・市長選や年賀状、年末商戦が始まり、景気は上向きを予想している。
		商店街（代表者）	・物価高の懸念はあるが、年末年始へ向けて景気は上向く。しかし、新型コロナウイルス感染症の発生前までの回復は容易ではない。
		商店街（代表者）	・12月、1月は繁忙期になるため景気が若干回復する。
	一般小売店〔青果〕（店長）	・新型コロナウイルス感染症が落ち着いており、全国的にも大きな被害はない。涼しくなれば地元の野菜が豊富に出回り、寒くなれば鍋料理が多くなるため、循環が良くなっていく。また、イベントも多くなると人の動きも良くなるため、当県に関しては良い景気になってくる。	
	一般小売店〔食料雑貨〕（店員）	・現在、新型コロナウイルス感染症が下火になっているため、観光や飲食の需要が盛り上がっており、勢いが出てくる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔生花〕 (経営者)	・年末近くになるとクリスマスには多少の客が増え、正月用品の需要も増加し、売上も上がってくる。
		百貨店(企画担当)	・年末年始の外出や集いに際して、準備やギフトの需要が増えると予想される。
		百貨店(企画担当)	・新型コロナウイルス感染症の感染状況も落ち着き、観光客も含め来客数が増加していくことに期待している。新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために自粛していたイベントや外商ツアー等が復活することで、徐々に景気が良くなると見込んでいる。
		百貨店(経理担当)	・衣料品を含め全体的に売上が良くなっている。西九州新幹線開通に伴うイベントの開催等による観光客の来客数も増加している。
		百貨店(営業担当)	・新型コロナウイルス感染症の感染警戒を行っている状態でも、店頭への来客数増加と自家需要の紳士・婦人雑貨、和洋酒に加え、スポーツ関連も堅調である。Webや通販部門はし好性の高い舶来雑貨・時計・家電、また和洋酒も好調である。官民一体の販売促進策の実施と非接触QR決済各社のキャンペーンにより、非接触QR決済利用が増加し、年末に向け来客数の回復が望める。
		百貨店(販売促進担当)	・年末年始に向け、高額商材の動きが活発化すると予測される。
		スーパー(店長)	・新型コロナウイルス感染症発生前の日常生活へ戻りつつあることが、商品の動向に現れている。
		コンビニ(経営者)	・デザートなどのし好品の商品が伸びており、今までの自粛生活から、やっと抜け出していると感じている。
		コンビニ(経営者)	・コロナ禍での行動制限が緩和され、人の動きは活発化している。インバウンド効果もみられ始めており、自店商圏の景気はやや良くなると考えられる。
		家電量販店(店長)	・相次ぐ値上げで買い控えが発生しており、来客数や成約数共に厳しい状態が続いている。しかし、来月から複数のプレミアム付商品券が利用できるため、今後3か月スパンで考えると現状よりも上向くと予想している。
		家電量販店(店員)	・この数か月底をほうような動きであったが、家電の買換えの動きが出てくるため、需要も増えてくると予想している。
		家電量販店(従業員)	・寒くなり、暖房器具の需要が増えるため、景気は徐々に良くなっていく。
		家電量販店(従業員)	・政府や自治体の需要喚起策による好影響が期待される。
		乗用車販売店(従業員)	・年末商戦へ向けた取組に期待ができる。
		乗用車販売店(総務担当)	・10月から新車供給が上向きに転じている。この傾向が続けば、自動車販売店の売上と経常利益は確保できる。
		乗用車販売店(役員)	・半導体供給不足による減産問題はあがあるが、今後予定されている新型車投入効果で販売台数増加へつなげる。
		その他専門店〔コーヒー豆〕(経営者)	・例年、年末に掛けコーヒーの消費が増加してくる。今月は、新型コロナウイルス感染症発生前と比較すると若干増えていると実感している。12月のお歳暮時期と重なるため、今後のコーヒーの売上は伸びていく。
		その他専門店〔ドラッグストア〕(企画担当)	・インバウンドにより、売上増加が期待できる。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕(統括者)	・インバウンドの戻りが加速すれば、売上回復は見込めるため期待したい。
		高級レストラン(経営者)	・11月や12月は、忘年会があるため、景気は今より良くなると期待しているが、まだ予約は少ない状態である。規制は緩和されているものの、企業関係の客の多くは、新型コロナウイルスの感染を警戒していると考えられる。
		高級レストラン(経営者)	・景気が悪い一番の要因は、新型コロナウイルス感染症の拡大である。新型コロナウイルス感染症の感染が繰り返されると人は学習している。新型コロナウイルスの感染対策を心得ており、景気は徐々に良くなっていくと予想されるが、まだ予断を許さない状況である。
		一般レストラン(スタッフ)	・全国旅行支援が実施され、また年末にもなるため、新型コロナウイルス感染症の収束で人々の動きが活発化する。一方、円安による原料等の仕入高騰に懸念がある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染症が再流行しても、影響は限定的である。
		タクシー運転手	・ゴルフシーズンとなっており、客の増加に期待をしたい。
		通信会社（企画担当）	・相談や引き合いも多くなり、受注も上昇傾向が続いているため、3か月後も続く見込みである。人手不足対策も継続して行っている。
		通信会社（社員）	・この業界では、年末年始に数字が上がる傾向がある。
		通信会社（営業担当）	・年末の消費活動が前年比で拡大することが予想される。
		観光名所（従業員）	・現在、貸しボートは条件付きでの営業再開ではあるが、遊歩道についてはまだ通行止めの状態である。また、今年は平年より寒くなる予想のため、当地への道路凍結などが原因で来町できない客も多くなる可能性がある。
		ゴルフ場（従業員）	・天候に左右される時期であるが、予約状況が前年を上回る入場者を想定している。
		ゴルフ場（営業）	・国や地方自治体が旅行等の景気対策を継続するため、旅行やイベントで消費が多くなり、景気が良くなる。
		美容室（経営者）	・年末に掛け繁忙期になるため、徐々に販売量が多くなっており、これから景気回復基調にある。新型コロナウイルス感染症が落ち着いており、人の気持ちに余裕ができることで秋のファッションへと変化し、美容業界も明るくなっている。新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しなければ、3か月先に向かい景気回復が見込まれている。
		理容室（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数も減少しており、観光など人の動きは良くなりつつある。また、近隣の不動産状況では新築マンションの入居も始まっており、3か月先はやや良くなってくる。
		美容室（店長）	・全国旅行支援などのクーポン券を利用して食事をする人が多くなっているため、徐々に景気が良くなると期待している。
		商店街（代表者）	・今月は上向きになっているが、年内はもう少し動きが良くなる。しかし、3か月先は現状と余り変化がないと予想している。
		商店街（代表者）	・全国旅行支援で、観光業や宿泊業は景気が良くなると考えられるが、全体としてはまだ新型コロナウイルス感染症が落ち着く状況ではなく、インフルエンザの流行も懸念される。例年であれば景気が良くなる12月商戦に向け期待はしているが、変わらないと予想している。
		商店街（代表者）	・これまで、寒くなると新型コロナウイルス感染症が拡大している。買物や旅行に行けるような感染状況であれば、今までの経験で対策もできるため、期待している。
		商店街（代表者）	・今から、おでんや鍋料理の季節になるが、来客数が懸念され、売上が非常に心配される。
		百貨店（経営企画担当）	・新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着きつつあり、行動範囲が拡大することに伴う衣料品や雑貨類の消費も回復傾向にある。反面、物価上昇や燃料費の高騰による買い控えも今後加速していくと予想される。
		百貨店（業務担当）	・新型コロナウイルス感染症による影響が回復すると予想されるが、一方、物価の上昇というマイナス面もあり、現状は変わらない。
		スーパー（総務担当）	・食料品の値上げは、今後もしばらく続くと予測されており、加えて、エネルギー価格を始めとして、物価が全般的に上昇している状況であるため、消費者の買い控えが続く。
		スーパー（経理担当）	・所得が増えないため、様々な商品やサービスの値上げで、家計の全ての費目で節約せざるを得ない状況である。
		コンビニ（経営者）	・物価上昇と新型コロナウイルス感染症の影響により変わらない。
		コンビニ（エリア担当・店長）	・過熱式のたばこは段階的に値上がりしており、他の商品の単価も上昇しているため、売上は若干伸びている。しかし、商品の値上げの影響で、来客数は伸びず、1日の来客数も伸びない原因になっている。そのため、今後も売上は足踏み状態になる。
		衣料品専門店（店長）	・観光など若干良くなっているが、全体的に景気は余り変わらない。
		衣料品専門店（取締役）	・1月には様々な物が値上げされており、燃料費や運送費の高騰により、需要が減少するなど懸念される。不安材料しかなく、今後も企業努力を継続していき状況を乗り切ることを考えている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（役員）	・新型車発表を控え一部期待できるが、一方、原材料価格高騰による価格上昇や受注残台数の増加、生産状況の改善と後退の繰り返しといった状況で不安要素が残る。長納期については、客に認識の浸透がみられ、販売手法で変革ができ景気は変わらないと予想している。
		住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の規制は緩和され、人の動向は回復しているが、新型コロナウイルスの新規感染者数は下げ止まり状態である。旅行や外食には金を使っているが、度重なる値上げで、耐久消費財の購入は、しばらく控える傾向が予想される。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・7月と比べると、8月以降は人気映画の影響から全館的に順調な推移となっている。全国旅行支援も始まり、当ショッピングセンターでも集客できるイベントを完全に復活させていく方針である。しかし、物価の上昇は確実に消費者心理に影響を落としており、気温が下がってもアパレル部門の売上が伸びず、新型コロナウイルス感染症が終息に向かっても決して楽観視できないと考えている。
		スナック（経営者）	・10月は、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、今まで抑えていた外食等の遊興費を使い始めているが、一方、円安や物価高の影響で支出を抑えることが予想される。そのため、11月は、10月並みの売上が予想される。
		その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・国際情勢の影響が、原価高騰につながっており、その解決が見通せない状況にあるため景気は変わらない。
		観光型ホテル（支配人）	・今月の状況が良いために、このまま横ばいで継続すると予想している。
		観光型ホテル（総務）	・年末年始は繁忙期であるが、新型コロナウイルス感染症の第8波とインフルエンザの流行を危惧している。
		タクシー運転手	・順調な景気回復の期待はあるが、一方で、新型コロナウイルス感染症の再拡大やインフルエンザの同時流行など予測され、加えて、賃金の上昇を上回る物価上昇など不安材料が多い。
		通信会社（企画担当）	・販売増加の起爆剤になるようなイベントがない。
		通信会社（統括者）	・来客数は、やや減少気味であるが、店舗でのスマートフォン教室や商業施設での出張販売等の開催により補っている。この傾向は継続しそうであり、先行きの利益面が不安である。
		学習塾（従業員）	・生徒の保護者の様子では、3か月で劇的に状況が変わるとは考えられない。
		設計事務所（所長）	・3か月先に今月の結果が出るため、景気は変わらない。
		住宅販売会社（従業員）	・ウクライナ情勢から急激に始まった燃料費の高騰や止まらない円安で、輸出関係の企業では、原材料を高く購入することになり、景気に余り影響していない。また、国内消費でも物価が上昇しているため、景気は上昇しないが、インバウンドの購買状況では、徐々に景気が良くなり景気は変わらない。
		住宅販売会社（従業員）	・分譲事業は一定数の需要があるが、注文住宅は競合他社との商談も増えており、厳しい状況が続いていく。
		商店街（代表者）	・物価上昇により、節約を迫られることになり、売上は落ちていく。また、今後電気料金の値上げが予想され、新電力会社の撤退で、小規模店舗など、倍の電気料金になっているところもあり、経営を脅かされている。企業に対しての助成金給付等対策に期待したい。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・今年は養殖物が3割近く上がり、年末商戦はとても期待が薄い。一番の稼ぎ時であるが不安が少なく、当市ではとても深刻な状況となっており、今後の懸念される。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・全国旅行支援も関係がない業種であり、原材料の仕入高騰で今後の売上が期待できない。客の買い控えもあり、今後更に厳しくなると予想される。先行き不透明であり、小規模小売店にも再度の国の支援を期待したい。
		スーパー（企画担当）	・物価上昇が常態化すれば、買い控えに拍車がかかり、景気は悪い方向になると考えられる。
		コンビニ（経営者）	・今後もこのままの状況が継続され、また、物価上昇も続くようであれば、店の経営状況は厳しくなり、閉鎖をせざるを得ない状況になるため、不安が大きい。
		コンビニ（エリア担当）	・値上げはまだまだ続くため、景気は悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（エリア担当・店長）	・円安の影響で、景気が悪くなる。
		衣料品専門店（店員）	・年明けに新型コロナウイルス感染症の第8波が襲来する話を客からよく聞くようになり、先行きが不安である。
		家電量販店（店長）	・プレミアム付商品券の効果は一時的と予想している。また、巣籠り需要によって需要を先食いした影響もあり、販売量は減少すると予想される。
		家電量販店（店員）	・家電製品は、新商品から価格が上がっている。食料品も値上がりし、また、耐久消費財の新規購入は高額であるため、安く済ませようと部品交換で性能を良くする動きが見受けられる。景気が良くなる好材料がないため、このまま悪くなるのではないかと危惧している。
		乗用車販売店（代表）	・円安やコロナ禍の影響で、ますます悪くなる。
		居酒屋（経営者）	・当地では、まだインバウンド需要が高くないが、今後のインバウンドに期待をしている。しかし、新型コロナウイルス感染症の第8波が心配である。
		都市型ホテル（スタッフ）	・旅行会社やOTAからの全国旅行支援が予算上限に達し始めているため、今後の新たな施策に期待している。
		旅行代理店（職員）	・全国旅行支援が12月後半で終了予定であるため、若干景気が悪くなる。
		通信会社（役員）	・当社のテレビプランのなかで、3000円台の多チャンネルプランから、1000円台の民放・地元情報プランへの移行が続いている。
		競馬場（職員）	・生活用品の物価上昇が、余暇支出に影響を与えるおそれがある。
		美容室（経営者）	・年明けには、インフルエンザや新型コロナウイルスの感染拡大、加えて、商品の値上がりで、財布のひもが固くなる。
		その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・ウクライナ情勢もあり、冬場を迎え原油の一層の価格上昇が予想される。また、円安基調にも歯止めが掛かるとは考えられず、更に悪化するのではないかと危惧している。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・新型コロナウイルス感染症の第8波は今まで以上の拡大が想定されるため、サービスキャンセルの増加に伴う減収とコストの増加により、更なる損益悪化が予測される。
		設計事務所（代表）	・物価高騰や金利の上昇で景気は若干悪くなる。
	×	百貨店（総務担当）	・更なるエネルギー原材料の価格高騰が予想され、懸念される。
	×	観光型ホテル（専務）	・全国旅行支援が終了するため、来客数が減少するのではないかと懸念している。
	×	設計事務所（所長）	・今後も材料や製品価格の値上げもあり、どこまで上昇していくのかわからない。一方、収入は増えず、生活必需品の価格が高騰しているため、可分所得が目減りし、家の新增築に充てる状況にない。
企業 動向 関連 (九州)		-	-
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・年度末に向けた購入が見込まれるため、やや売上が上向いていく。
		化学工業（総務担当）	・業績が改善方向に向かう見込みである。
		一般機械器具製造業（経営者）	・恐らく3か月先の間には、半導体の供給がうまくいくと予想され、そうなることで本来の状態に戻り、景気がやや戻ってくると考えられる。
		電気機械器具製造業（取締役）	・電気自動車関連は、来期以降も引き合いがある。
		金融業（従業員）	・百貨店やスーパーマーケットの販売が持ち直しており、住宅販売のほか飲食業の売上も回復基調にあり、旅行の予約等も大幅に増加していく。
		金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が爆発的に拡大しない限り、人の消費動向は今後も活発になる。特に観光業等は年末に向け盛んになり、サービス業を中心に景気が良くなると予想される。
		不動産業（従業員）	・賃貸オフィスの入居率が上昇傾向にある。
		新聞社〔広告〕（担当者）	・旅行や観光関連の広告出稿に期待したい。
		広告代理店（役員）	・年末にかけて、キャンペーン件数が増加する傾向にある。また、自治体の外部委託件数が増えており、今後大きなビジネスチャンスになる可能性もある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		経営コンサルタント (代表取締役)	・ 全般的に新型コロナウイルス感染症発生前に戻りつつあり、このまま新型コロナウイルス感染症が落ち着いていけば、間違いなく景気は上昇すると考えている。
		経営コンサルタント (代表取締役)	・ Webや資料請求の問合せが多くなり、人材投資に積極的な企業が増加している。
		農林水産業(経営者)	・ 通年11月は、年末を控えて需要が落ちる月であるが、12月に入ると繁忙期になる。前年は新型コロナウイルスの新規感染者数が少なく動きが良かったが、今年は現況が継続するとかなり期待できる。特に落ち込んでいた会食部門の景気が戻ってくると予想され、今まで控えていた忘年会等を、安全策を講じながら行われるため期待される。
		繊維工業(営業担当)	・ 景気に変化が出るような対策がないため、3か月ほどで今の状況は変わらない。
		家具製造業(従業員)	・ 中小規模の案件情報は比較的少なく、競争激化の大型案件が多い状況である。材料の価格高騰や円安における輸入経費の圧迫により、一段と利益確保が難しい状況が続いている。
		窯業・土石製品製造業 (経営者)	・ 原材料の価格高騰や受注関係が順調に運ばれるとよいが、値上げが市場へ浸透することは、なかなか難しい面があり、悪い状態が継続するのではないかと心配している。
		一般機械器具製造業 (経営者)	・ 引き合いなどの状況から、当分の間は現状の受注ベースが続くものと予想される。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・ まだまだ受注残を抱えているため、景気は変わらない。
		電気機械器具製造業 (総務担当)	・ 今後の半導体や自動車関連の見込みは変わらない。
		輸送用機械器具製造業 (営業担当)	・ 次月も当初計画より減少している。3か月後の上振れは期待できないが、当初計画台数を維持する予定である。新規投入車種への半導体供給の問題が散発的に続いているため、状況は変わらない。
		その他製造業[産業廃棄物処理業]	・ 現状では、客から将来に向けたライン増設や新規立ち上げの話はあるものの、具体的に動いてはいない。まだまだ時間が掛かる状況である。
		建設業(社員)	・ 新型コロナウイルス感染症の予算だけではなく、公共工事の大型補正予算の計上も期待している。今年前半はほとんど公共工事が発注されず苦しかったため、来年は発注時期の考慮を望んでいる。
		輸送業(従業員)	・ 円安の影響で各社厳しい状況であり、企業によっては現在より更に円安が続くと考え、厳しい輸入状況ではあるが、現時点で在庫を抱えておく対策を採り、利益を確保する手段を考えている。
		輸送業(総務担当)	・ 世界情勢、原油高、円安など不安要素は多くあるものの、インバウンド効果などプラス効果もあり、景気動向としては大きく変わらないと予測する。出荷量は消費量に比例するため、今後も注視していくが、新型コロナウイルス感染症発生前の出荷量を期待している。
		通信業(職員)	・ 材料不足の影響で携帯電話基地局工事の完工が遅びており、売上目標に対して厳しい状況となっている。
		通信業(経理担当)	・ 情報機器の調達リードタイムが長く、客への納品予定日を後倒しする状況になっているが、受注量には特に影響は出ていない。
		金融業(調査担当)	・ 製造業や非製造業共に、回復の兆しはみえるものの、双方とも先行きの不透明感が拭えない。また、都心部では、新型コロナウイルスの新規感染者数や入院患者が増加に転じているとの見方もあり、感染拡大による人流抑制が懸念される。
		金融業(調査担当)	・ 新型コロナウイルス感染症の第8波への警戒やインフルエンザの流行などが懸念され、消費マインド高揚の足かせとなる。
		広告代理店(従業員)	・ 新型コロナウイルス感染症第8波の状況と、円安による物価の上昇、ロシアのウクライナ侵攻の影響による食料やエネルギー不足、サプライチェーンの寸断等、先を見通すのが困難な状況が続く。
		経営コンサルタント (社員)	・ 業務用卸は好調に推移するが、消費者は値上げの影響で購入数が減っている。
		経営コンサルタント (社員)	・ 現在の沈滞ムードは、急速には変わらない。
		その他サービス業[物 品リース](職員)	・ 円安傾向が続き、長期金利も上昇傾向にあるため、当面の動向に変化がみられない。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	食料品製造業（経営者）	・今年も農産物原料の病害が懸念される。
		金属製品製造業（事業統括）	・材料費の値上がりが見込まれるため、販売価格への転嫁は他社との競争に悪影響を及ぼしている。現況は受注量が低下傾向であり、今後の景気は悪くなる。
		建設業（従業員）	・今回は、公共工事の受注が入り景気は良くなるが、周辺では円安や資材の高騰等の影響で、現在より悪化する。
		金融業（営業）	・円安や物価高騰が続くことになれば、家計に対するダメージが拡大し、消費が低迷すると考えられる。
		不動産業（経営者）	・現在の我が国の経済が、他国に比べて良くない状況であるため危惧される。
		その他サービス業【コンサルタント】（代表取締役）	・市町村の9月補正予算でも、新型コロナウイルス感染症対策費用の計上が多く、計画や調査、設計等の業務が予算化されていないため、受注の機会が減る状態が続くものと推測される。発注があっても、入札指名業者のダンピングにより低価格競争となり、受注が難しい状況もあるため、景気が悪い状態が続く。
雇用 関連  (九州)		-	-
		人材派遣会社（社員）	・年末年始に向けて、忘年会や新年会が増加する予定である。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染症対策の緩和からサービス業を中心に求人数が増加傾向である。求人単価も上昇傾向となっており、求職者の動きも活発化してくると予想される。
		人材派遣会社（社員）	・先付けの欠員補充などの情報も活発に動き出しており、早めの案件も多くなり、求人の反応は、少し上向き傾向になっている。
		人材派遣会社（社員）	・イベント等も増加し、単発的な注文が増えている。県外企業からの問合せも多くなり、既存の取引先から年末へ向けた注文を既に受注している。
		新聞社【求人広告】（社員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が、若干増加傾向にあるが、国内・海外旅行や、年末商戦に向けての新聞広告に大きくブレーキが掛かる状況にはなく、現況が続けば、今後の景気は良くなっていく。しかし、人の動きが活発化すると新聞広告でウエイトが高い通販広告は、既に影響が出ており、今後の懸念される。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症の影響を強く受ける宿泊業や飲食業、卸売業、小売業の新規求人数が増加傾向にある。
		職業安定所（職員）	・宿泊業から個人客、団体客の問合せが増加しており、稼働状況が高くなっている。全国旅行支援の問合せも多くなり、宴会についてもこれまでの制限が緩和されたことで、受付が増加している。今後の見通しは、新型コロナウイルス感染症の感染状況に変化がなければ、業務量増加で推移していく。また、建設業は大型の公共工事が一段落しているが、特に業務量に影響はないと考えられる。一方で、原材料の値上げによる物価上昇により、収益が悪化している企業もあり、当面は横ばいが継続される。
		民間職業紹介機関（職員）	・求人数が増加しており非常に状況が良くなっているため、今以上に良くなることは考えられない。一方で、コロナ禍で求人を絞っていたため、慢性的な人材不足もあり、これから求職者の状況が悪くなるとは考えられない。
		学校【専門学校】（就職担当）	・円安改善の兆しが全くみえない。
	学校【大学】（就職支援業務）	・政府の水際対策緩和が実施され、海外からの観光客が増えるなど新型コロナウイルス感染症の防疫と経済活動の両立が進み、日本経済には明るい兆しもみえてきた。その一方で、冬以降の新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザの流行予測が報道されるなど、まだまだ予断を許さない状況は続いている。また、依然ウクライナ情勢の長期化や円安の影響により、今後も物価高騰が続く見通しであることから、値上げなど日本経済への影響も大きくなっている。この状況は、まだしばらく続くと予想されるため、今後の景気の状況や企業の求人数にも注視し続ける必要がある。	
	求人情報誌製作会社（編集者）	・年末年始需要に備えたいところであるが、全体的に動きが鈍いため、どの企業も慎重にならざるを得ない。この時期には求人数が冷え込んでいる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・年金の減少や物価高騰、加えて各種税金も上昇するような報道が増えている。こうした状況が続けば、今後ますます心理的に不安になり、景気は一層悪くなる。
	x	-	-

## 12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (沖縄)		コンビニ（店長）	・これまで中止や延期となっていた地域の祭りも開催されるようになる。コロナ禍で自粛していた外出、消費が増えるとみている。
		コンビニ（副店長）	・国際線の再開に伴い、今後はインバウンドの回復に期待ができる。
		一般小売店〔酒〕（店長）	・観光客も増えて経済が潤っている。新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いており、ワクチン対策も進んでいる。
		百貨店（店舗企画）	・行動制限のない年末年始の集客に期待している。特に外国人観光客の動きが徐々に見え始めているのは明るい材料となっている。
		スーパー（企画担当）	・現在、国内観光客が増えており国際線も一部の定期便が再開されていることから、観光業が中心産業である沖縄においては良い傾向である。3か月前にはその他の産業にも波及し、消費者の購買意欲が改善されることが期待される。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少に伴って来客数が回復しつつある。また客単価も上昇しており、観光客も増加しているため今後の消費の拡大が期待できる。
		コンビニ（代表者）	・新型コロナウイルス感染症の第8波は懸念されるが、県経済は観光を中心に更に活発化すると考える。
		衣料品専門店（経営者）	・この全国旅行支援の期間は良いかとみている。
		家電量販店（営業担当）	・物価高への慣れと、観光客の増加などの要因で来客数が若干改善する。値上げの影響で単価が上昇する。
		その他専門店〔陶器〕（製造）	・全国旅行支援が終わったらどうなるかは不明であるが、これをきっかけにまた移動欲が高まるのではないかと考えている。陶器においては秋冬は来年の需要が高まる。
		一般レストラン（代表者）	・忘年会の間合せが増えている。
		観光型ホテル（代表取締役）	・宿泊に関しては、引き続き全国旅行支援が旅行需要を押し上げて予約が増えている。飲食は企業が若干増えつつある。
		観光名所（職員）	・インバウンド個人旅行の解禁が影響する。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・先行きの受注状況は2019年と変わらないところまで回復している。今後はインバウンドの動きも活発になると想定しており、受注増加を見込んでいる。
		衣料品専門店（経営者）	・今月はあらゆるものの値上がりの影響が、客は生活防衛の観点から買い控えがあるようにみられる。売上は上がらない状態が続く、景気は悪いままである。
		乗用車販売店（経理担当）	・長納期化が常態化するなか、耐えられずにキャンセルする客が散見され、今後の動向が懸念される。
		通信会社（営業担当）	・10月の結果だけを見ると消費は戻ってきている兆しはあるが、今後続くかは不明である。新型コロナウイルスの新規感染者数も下げ止まりの状態、またいつ第8波が来るかわからないため、今来店している客を大切に次に来店へとつなげていく。
		住宅販売会社（代表取締役）	・最近の消費者物価上昇などの景気環境を考えると、この時期の住宅取得等に関してちゅうちょする人が多いのではないかとみられる。
		住宅販売会社（役員）	・相変わらず建築費の高騰が落ち着かず、物件価格を押し上げ、賃貸アパートや分譲マンションの供給減を招いている。
		観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの10月の販売室数は前年比262%増加なのに対し、10月末時点での来年1月の予約室数は前年比84%増加と、プラス幅が小さくなっている。
	旅行代理店（マネージャー）	・全国的なキャンペーンの後には、その反動で下火になるのも経験済みである。流出した客を元に戻せるかが課題である。	
	x	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しつつあり、状況が多少は良くなっているが、また全体的には来客数も戻らず、大変な状況は続くともみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	その他飲食〔居酒屋〕 (経営者)	・店が忙しくなってきたら、暇に慣れたスタッフが耐えられず辞めていくが、幾ら採用を掛けても求人が間に合わない。そのため稼ぎ時の週末に入店規制を掛けなければならない。また少ないスタッフに既定の休みを入れるために、店休日を多く入れなければならず売上が上げられない。
企業 動向 関連  (沖縄)		食料品製造業(役員)	・今後は外国からの定期便も徐々に増え、観光客数も増加し、年末に向け売上はこれまで以上に増加するとみられる。
		輸送業(代表者)	・宮古島、石垣島の建設関連は、官需部門においては石垣島の陸上自衛隊関連工事が順調に進み、民需部門では宮古島、石垣島のホテル関係で回復してきている。新型コロナウイルスオミクロン株も沈静化し、観光関連の盛り上がりが見られる。石垣島におけるフィリピン産川砂からの変更も現状は中途半端の状態である。
		輸送業(経営企画室)	・新型コロナウイルス感染症の第8波の感染拡大がなければ良くなると期待する。
		会計事務所(所長)	・観光から関連産業への経済波及効果が見込まれると期待できる。
		建設業(経営者)	・高額な注文の相談は少し増えてきているが、社会情勢、円安で金利動向に客が不安を持ち、そのまま契約まで進めるか未定である。
		広告代理店(営業担当)	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、観光産業が活気付いている状況ではあるが、物価高騰の影響により販促費を見直す動きもあることから、景気の先行きは不透明である。
		窯業土石業(取締役)	・更なる原材料価格の値上げがあるが、価格転嫁に苦慮しており収益悪化が懸念される。
	x	-	-
雇用 関連  (沖縄)		求人情報誌製作会社 (営業担当)	・観光客の増加により、接客業やその周りの飲食業、飲食業に関わる企業の動きが活発になりそうである。
		人材派遣会社(総務担当)	・物価上昇とともに、買い渋りが増えそうである。
		求人情報誌製作会社 (営業)	・年末に向けて求人数は減少すると予測しているが、年明けに向けた採用活動計画は活性化してくる。11月から12月の減少と1月の増加でプラスマイナスゼロ程度かとみている。
		職業安定所(職員)	・人手不足で求人の条件を良くすることができる会社はうまく人材確保ができるとみられるが、現状はそれができない会社が多く、新型コロナウイルス感染症発生前の水準に観光客数が戻ったとしても、対応できないという声もある。
		学校〔専門学校〕(就職担当)	・年末年始に向けて、採用活動が鈍くなってくるため、求人数だけをみれば減少傾向になっている。ただし、現在応募がない求人を掘り起こしていけばまだ採用数としては出てくるため、相殺して変わらないと回答する。
		学校〔大学〕(就職支援担当)	・新型コロナウイルス感染症の影響はもうしばらく受けそうな雰囲気がある。
		x	-